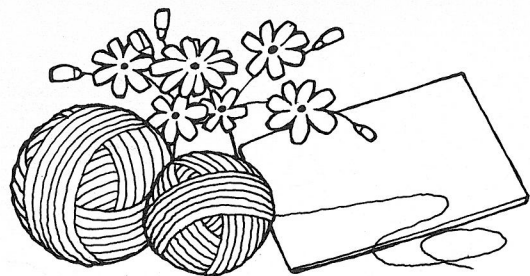


パリエイト

ブラザー編機 KH-881

取扱説明書



このたびは、ブラザー編機パリエをお買い上げくださりましてありがとうございました。
この取扱説明書は、あなたの編機で楽しく編み物をしていただくために、正しい取り扱い
と編み方について説明してあります。本書を読みながら実際に編機を操作し練習をしてく
ださい。ご理解ができましたあとは、保証書とともに必ず保存してください。

もくじ

各部のなまえとはたらき …… 2

◆キャリジ …… 2
◆ケース …… 3

◆本体 …… 3
◆付属品 …… 4

編機の組み立て方 …… 6

編機のしまい方 …… 8

はじめに …… 10

◆編針の位置 …… 10
◆段数計の使い方 …… 10
◆編目ダイヤルの使い方 …… 11

◆糸調子の合わせ方 …… 11
◆選針切替ツマミの使い方 …… 11
◆カムボタンの使い方 …… 12

実際に編んでみましょう …… 13

◆平編の編み方 …… 13

◆編地の表と裏 …… 16

模様編の編み方 …… 17

◆パンチカードの見かたと編針の関係 …… 17
◆パンチカードのセット方法 …… 18
◆模様編の準備 …… 18
タック模様 …… 20
配色タック模様 …… 22
すべり目模様 …… 22
配色すべり目模様 …… 24
スレッド模様 …… 24

同時編込模様 …… 26
ワンポイント模様 …… 29
間欠送り模様 …… 34
レース模様とタックレース模様 …… 36
レース・タックレース混合模様 …… 42
添え糸模様 …… 45
添え糸タック模様 …… 48
アーガイル模様 …… 48

作品を作るために …… 52

◆編ゲージ …… 52
◆編ゲージの作り方 …… 53
◆編ゲージの測り方 …… 54
◆編ゲージのセットのしかた …… 56

◆シートへのパターンの写し方 …… 58
◆ニットリーダーへのセット方法 …… 60
◆編目スケール目盛の読み方 …… 62

知っておきたい編物知識 …… 63

◆編目の移し方 …… 63
◆編目の増し方(増し目) …… 63
◆編目の減らし方(減らし目) …… 64
◆引返し編の編み方 …… 65
◆ゴム編 …… 68

◆なわ編(交差模様) …… 68
◆ひも編 …… 70
◆編出しを使わないで編み始める方法 …… 70
◆捨て編 …… 70
◆ガーター編 …… 71

◆編んでいる途中でキャリジが動かなくなったら …… 72
◆編んでいる途中でLキャリジが動かなくなったら …… 74
◆正しく選針されているかどうかを確認したいときは …… 74
◆編針がまちがって選針されていたら …… 75
◆キャリジを空送りしたいときは …… 76

◆レース編の編みまちがいを直すには …… 76
◆編目が落ちてしまったら(編目の拾いかた) …… 76
◆編針が曲がったとき …… 76
◆編機の手入れ …… 78
アフターサービスについて …… 79

1 編機のはたらき

2 編機操作

3 編物知識

4 こんなときには

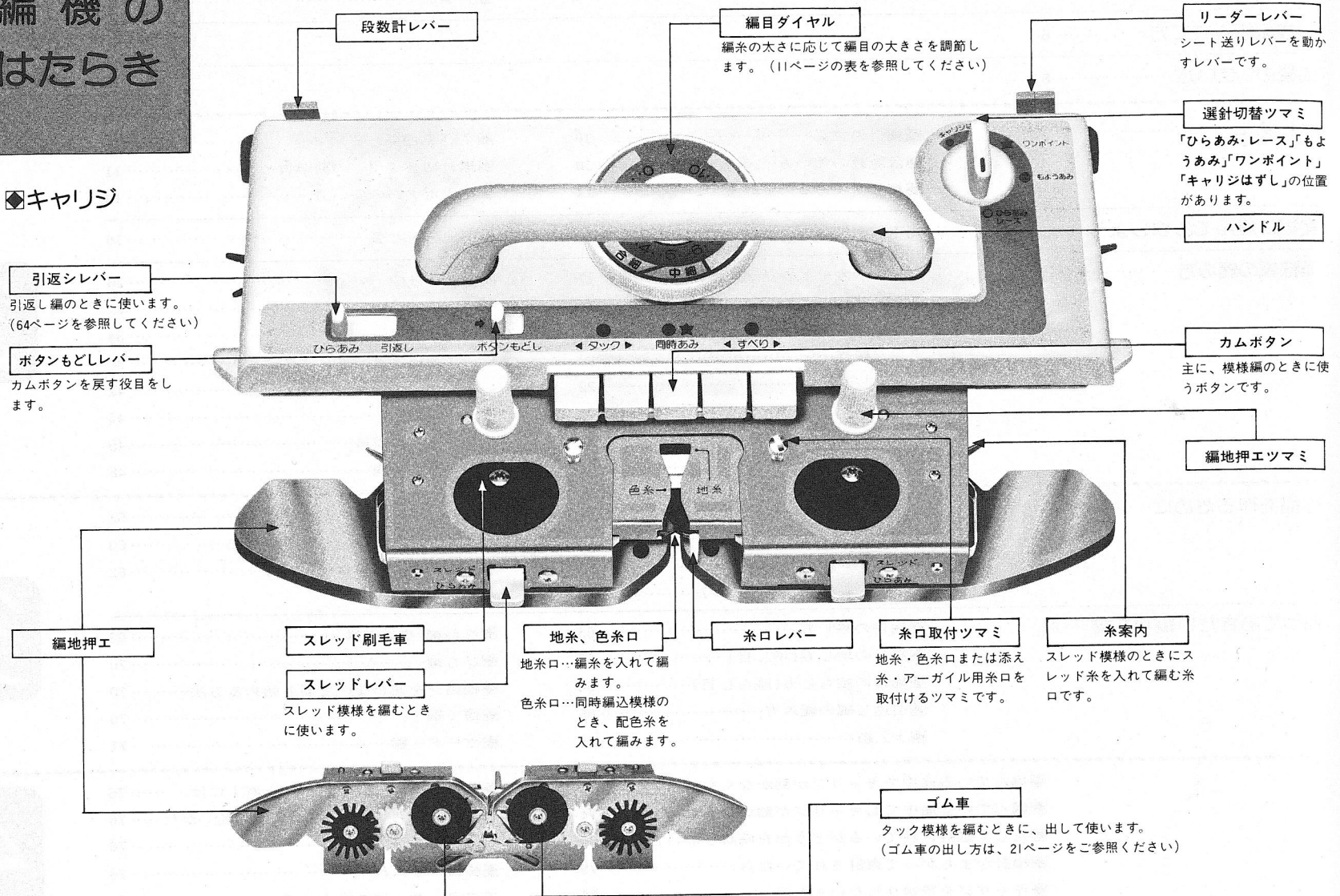
1

編機のはたらき

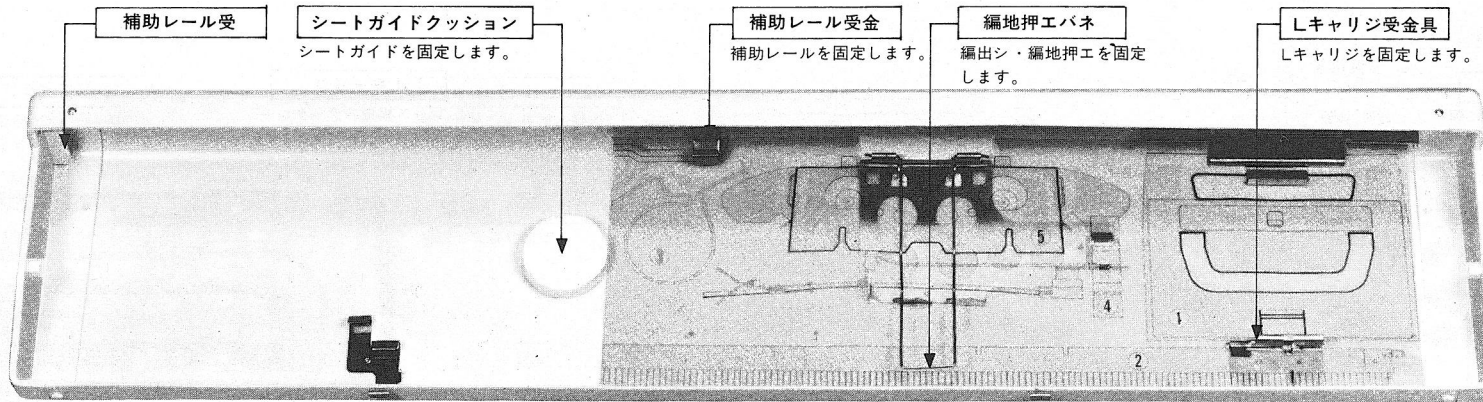
◆キャリジ

各部のなまえとはたらき

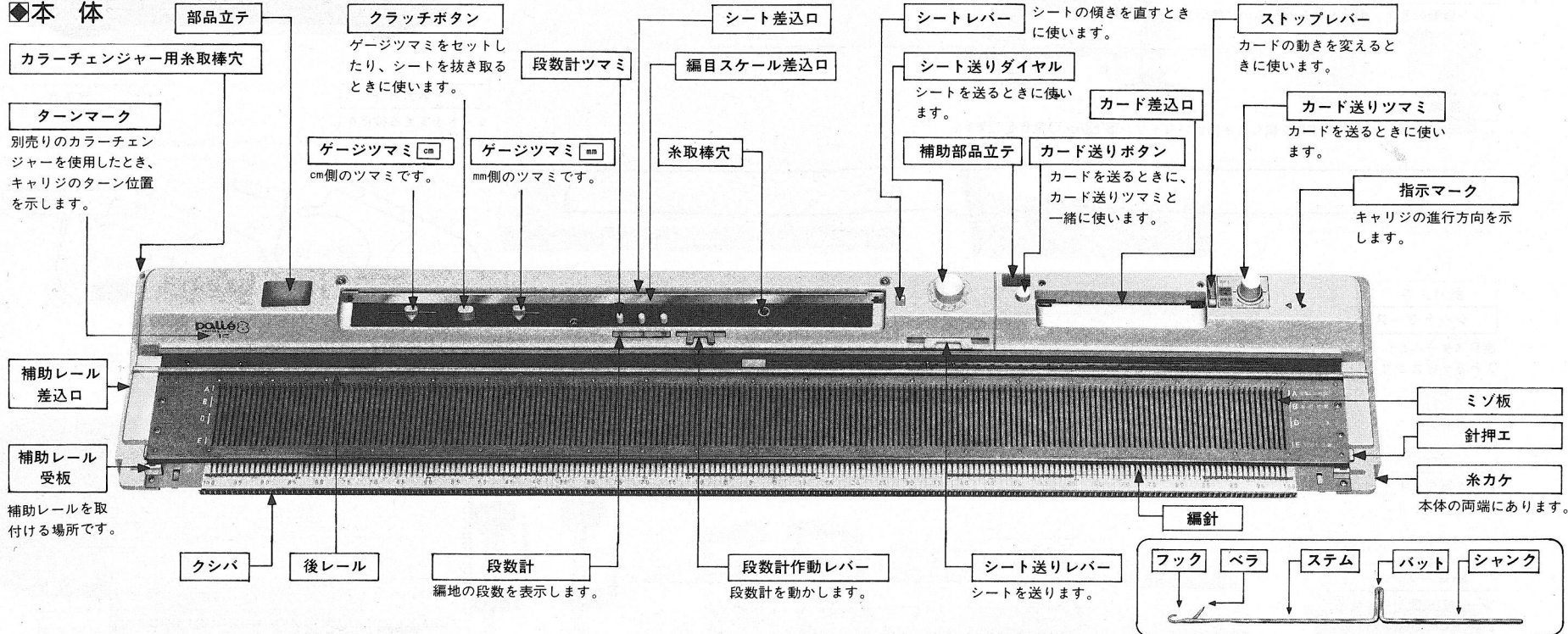
編機と付属品のなまえは、本説明書のところどころにできます。このページを参照しながら編機の操作と編み方を練習してください。



◆ケース



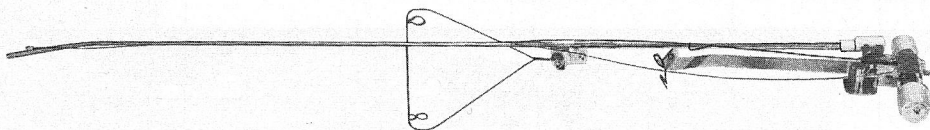
◆本体



◆付属品

糸取装置

編糸の供給を自動的に調節します。



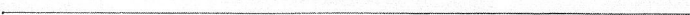
編出し

編出しを行なうときに使います。



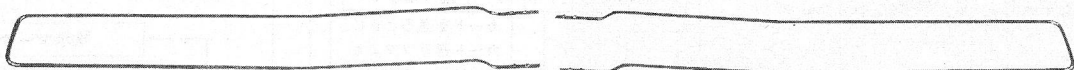
トジワイヤー

ミシン縫製のとき、編地の端をかがるのに使います。



補助レール

レース模様やタックレース模様を編むときに使いキャリッジ落下防止の役目をします。



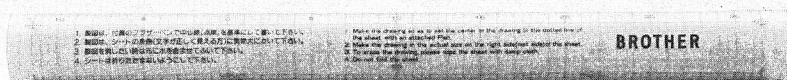
シートケース

編目スケールとシートを入れるケースです。



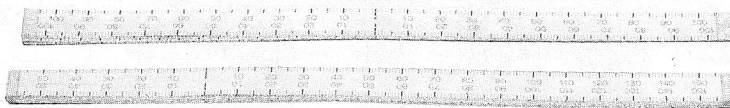
シート

製図を写します。



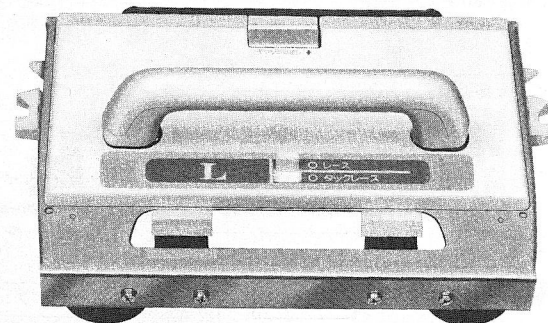
編目スケール

シートの製図から目数を読みとるときに使います。(30本)



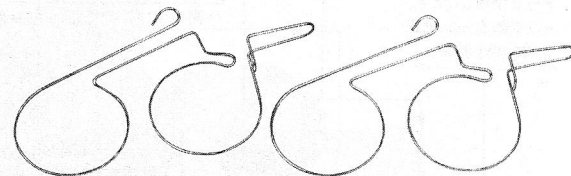
Lキャリッジ

レース模様、タックレース模様のときに使います。

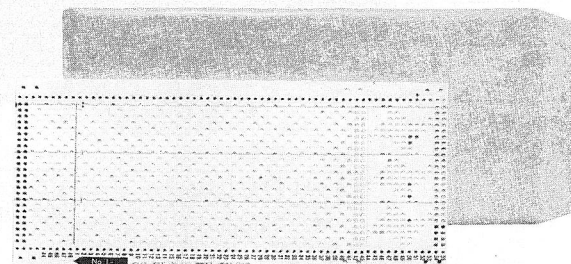


シートガイド

シートを支える役目をします。

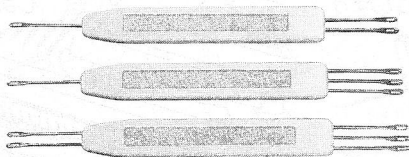


パンチカード



ウッシ(1×2、1×3、2×3)

減らし目、増し目などを
するときに使います。



タッピ

ゴム編、ガーター編など
に使います。



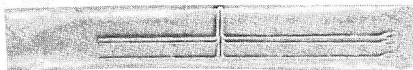
カギ針



ブラザーペン



編針(予備)



模様板(0×1/4)



ワンポイントカム24

ワンポイント模様を編む
ときに使います。

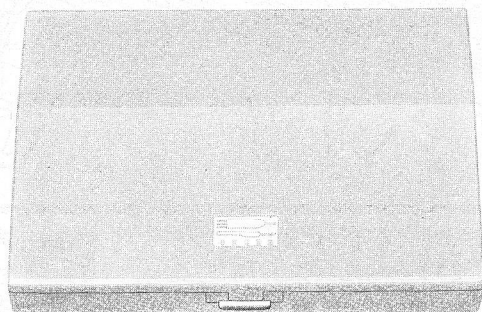


連続ポイントカム

接続して使います。



部品箱



トン針

(針袋の中に入っています)



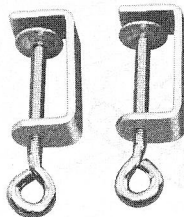
抜き糸

編出し、捨て編の区別を
するときに使います。



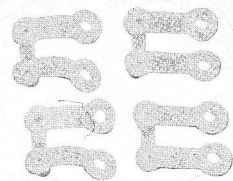
取付金具

編機をテーブルに固定する
ときに使います。



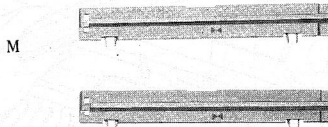
カードスナップ

パンチカードを継ぎ合わ
せるときに使います。

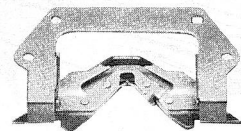


Lポイントカム

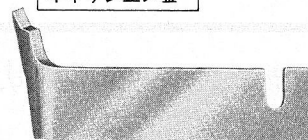
Lキャリジで、レース模
様、タックレース模様を
編むときに使います。



添え糸・アーガイル用糸口



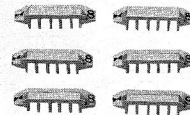
キャリジ止メ金



4針用

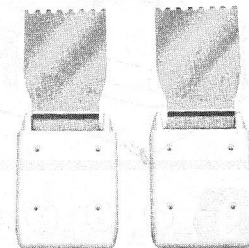


8針用



カラーウェイト

模様編を編むときに使う
オモリです。



手入れ油



パラフィンケース



パラフィン



名札



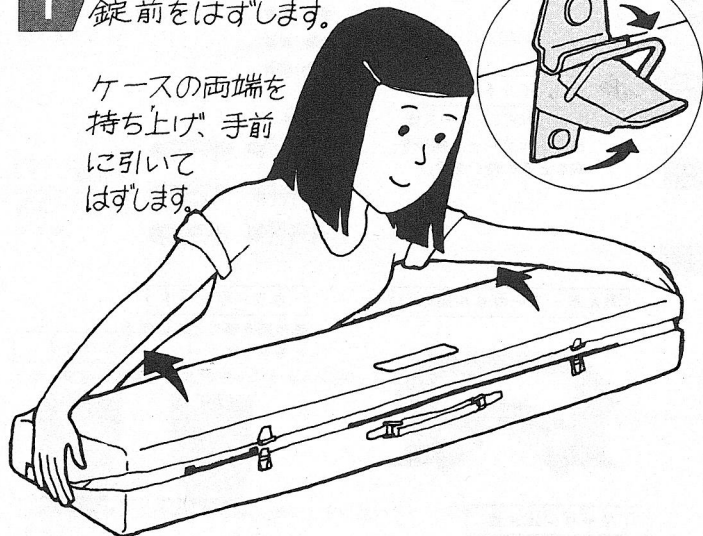
手バケ



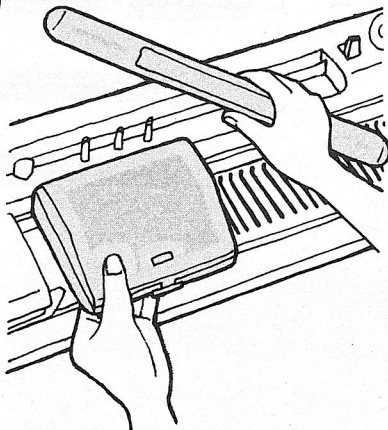
編機の組み立て方

1 取手を向こう側にして置き、
錠前をはずします。

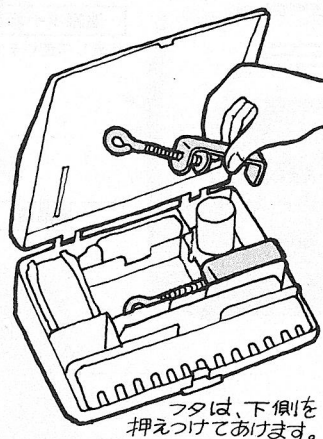
ケースの両端を
持ち上げ、手前
に引いて
はずします。



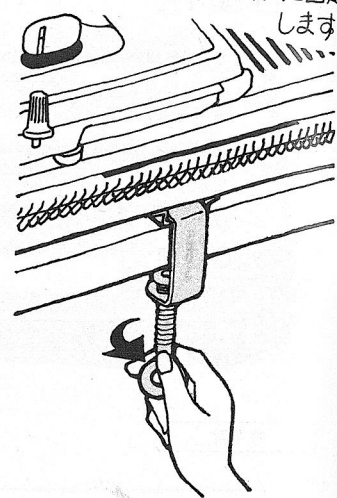
2 シートケースと、
部品箱をはずします。



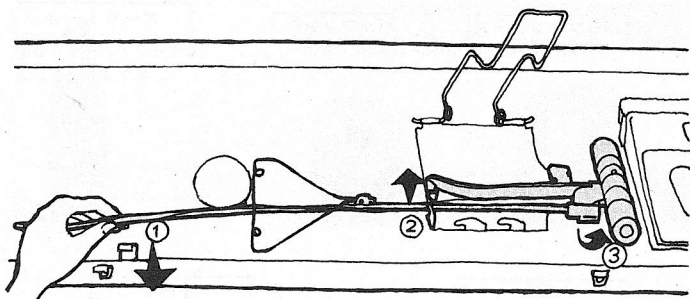
3 部品箱から、
取付金具を
2個、取り出します。



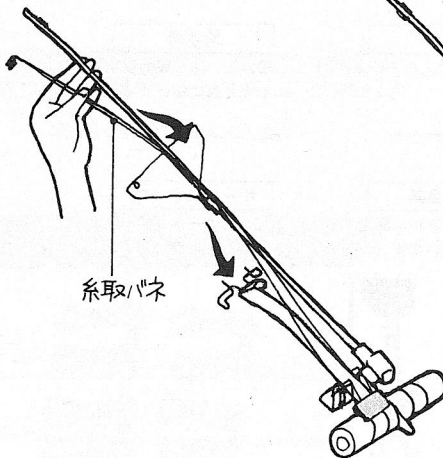
4 取付金具で、
編機をテーブルに固定
します。



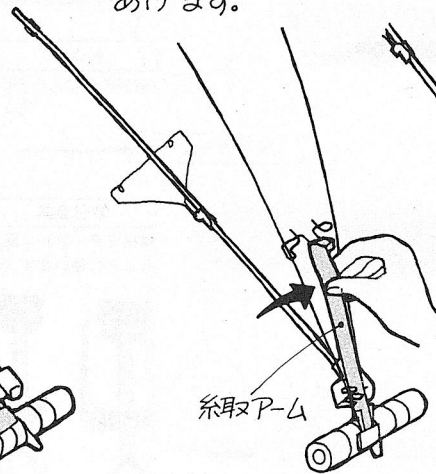
9 ①・②・③の順に、糸取装置をはずします。



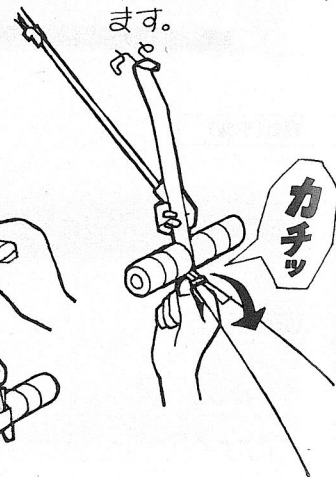
10 糸取棒から、
糸取バネをはずします。



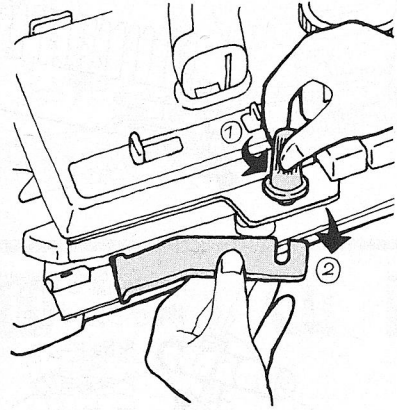
11 糸取アームを
とまるまで
あげます。



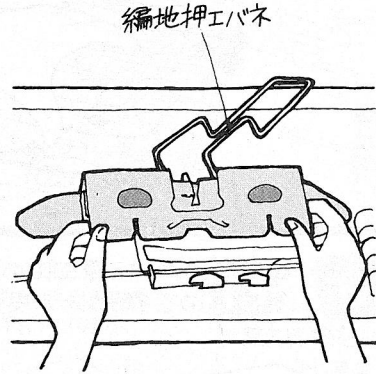
12 糸取バネの根元を
持ち、カチッと音が
するまで 持ち上げ
ます。



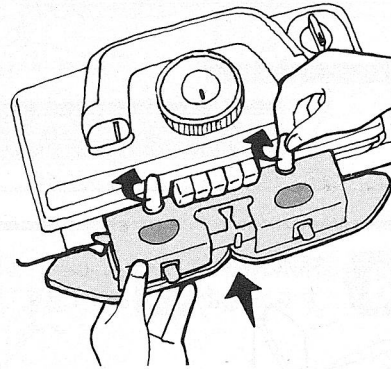
5 キャリジの編地押エツマミをゆるめキャリジ止め金はずします。



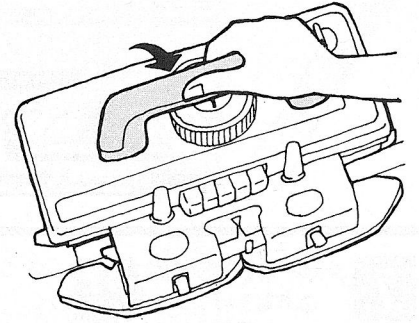
6 ケース内側の編地押エバネをひらき、編地押エを取り出します。



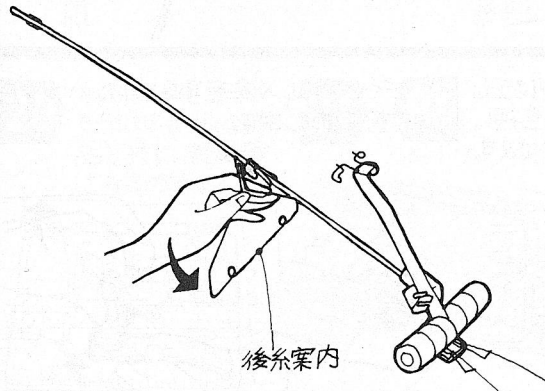
7 左右のツマミをゆるめ、編地押エをいっぱい差し込み締めつけます。



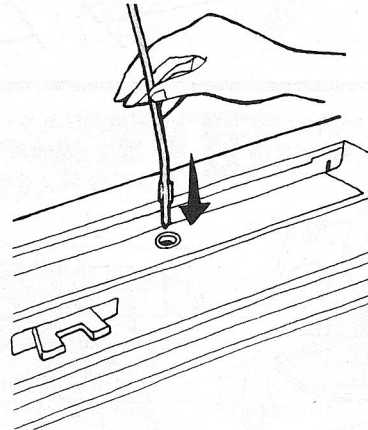
8 ハンドルをおこします。



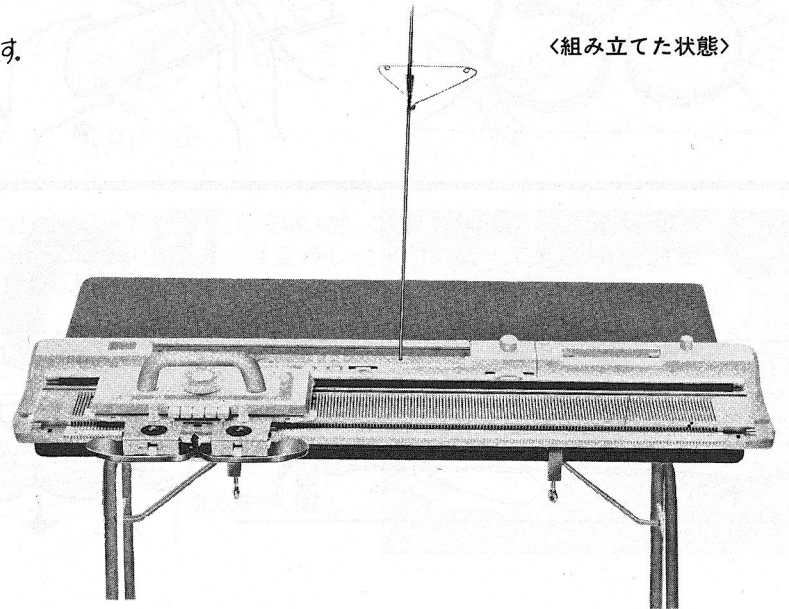
13 後糸案内を持ち上げます。



14 糸取棒を、糸取棒穴に差し込みます。

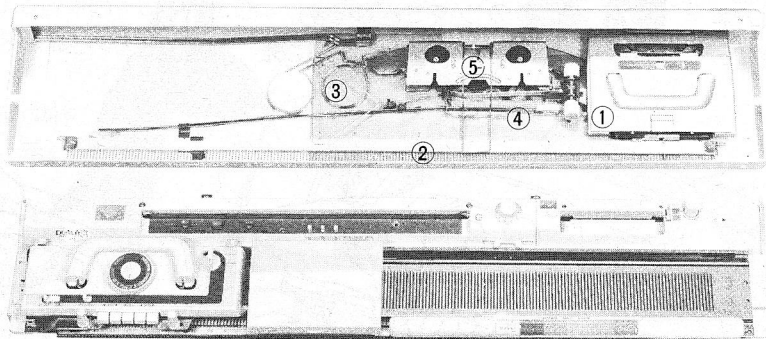


〈組み立てた状態〉



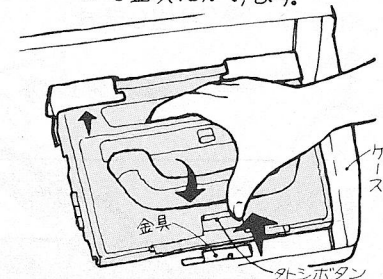
編機のしまい方

ケース内側に表示してある番号順に収めます。

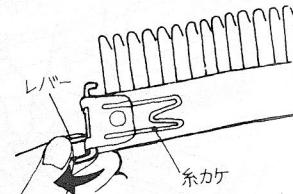


〈格納状態〉

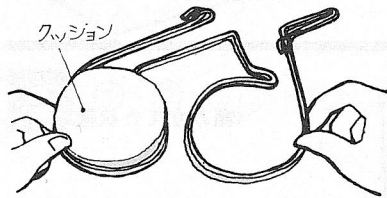
1 Lキャリジのハンドルをたおし、絵の上に正しくのせ、外シボタンを押して金具にかけます。



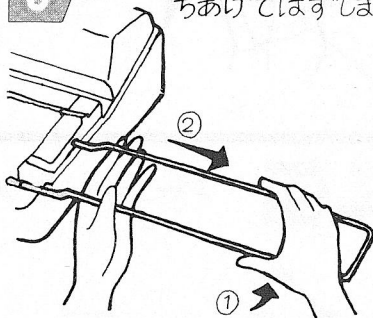
2 編出シの糸カケを手前にして持ち、両端のレバーを真横になるようにたおします。



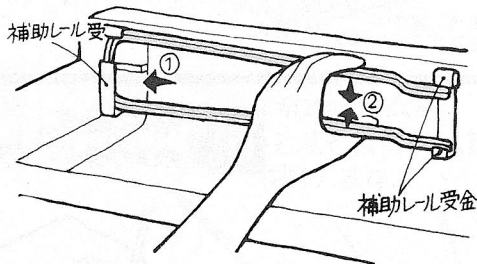
7 シートガイドをはずし、ケースのフックにはめ、正しくおきます。



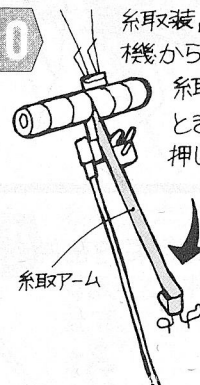
8 補助レールは端を少し持ちあげてはずします。



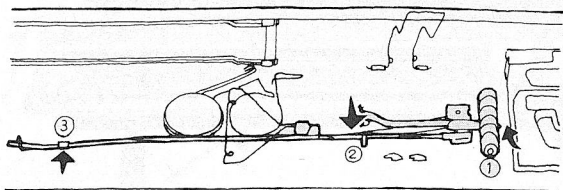
9 C側を補助レール受にはめ、先端をせばめて補助レール受金にかけます。



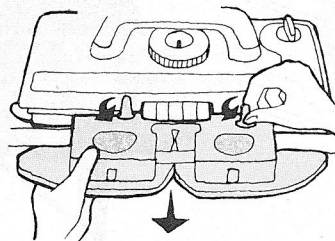
10 糸取装置を編機からはずし、糸取アームをとまるまで押し下げます。



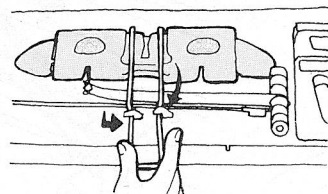
16 糸取装置を①・②・③の順に、ケースの金具にはめます。



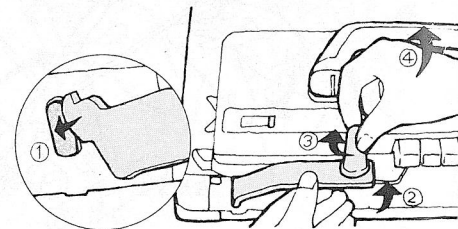
17 キャリジの左右の編地押エツマミをゆるめ、編地押エをはずします。



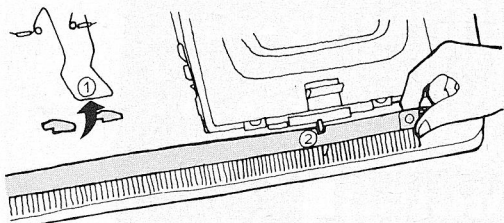
18 編地押エをケースの中に正しく置き、編地押エパネルを押しつけ金具に2ヶ所かけます。



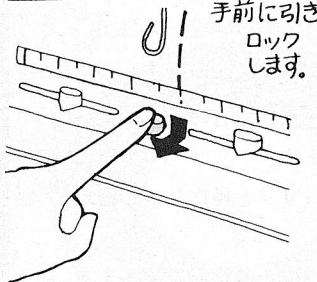
19 キャリジ止メ金を取りつけ、ハンドルをたおします。



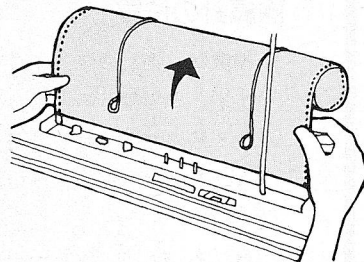
3 編地押エバネをひらき、編出シの糸カケを下にして、切り欠き部を金具にはめ、正しく置きます。(左の金具にもはめます。)



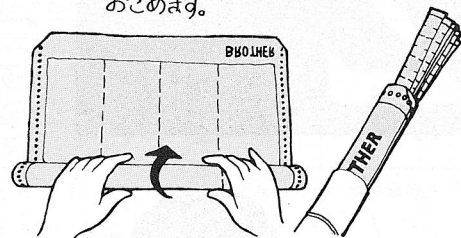
4 フラッチボタンをいっぱい押し、手前に引きロックします。



5 シートを抜き取ります。



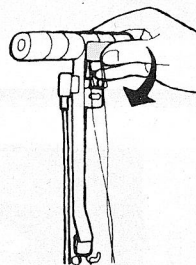
6 シートは文字が正しく読める方を外側にして、文字の書いてない方から巻きます。シートケースにはずした編目スケールと共におさめます。



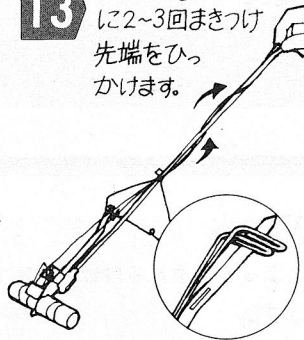
11 糸取バネを2~3回ねじりあわせます。



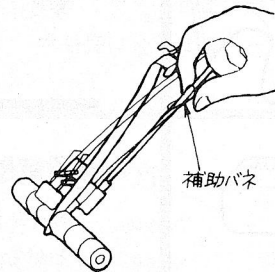
12 糸取バネの根元を持ち、とまるまで押し下げます。



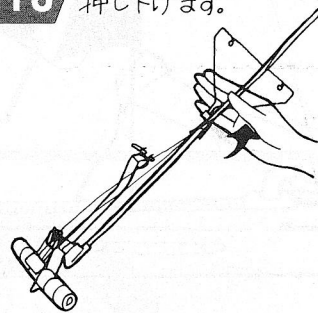
13 糸取バネを糸取棒に2~3回まきつけ先端をひっかけます。



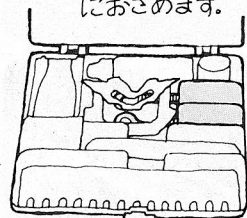
14 補助バネを糸取棒にはめます。



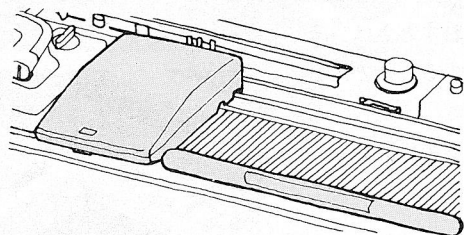
15 後糸案内をつかえるまで押し下げます。



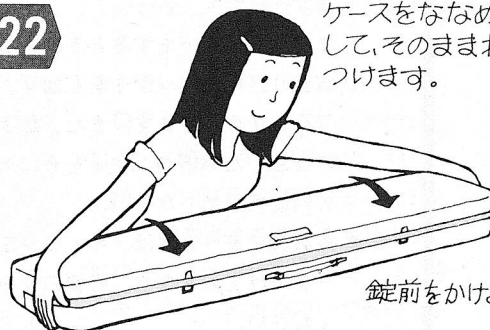
20 取付金具をテーブルからはずし、他の部品と共に、部品箱におさめます。



21 キャリジにピッタリつけるように部品箱の溝をレールにあわせておきます。シートケースをおきます。

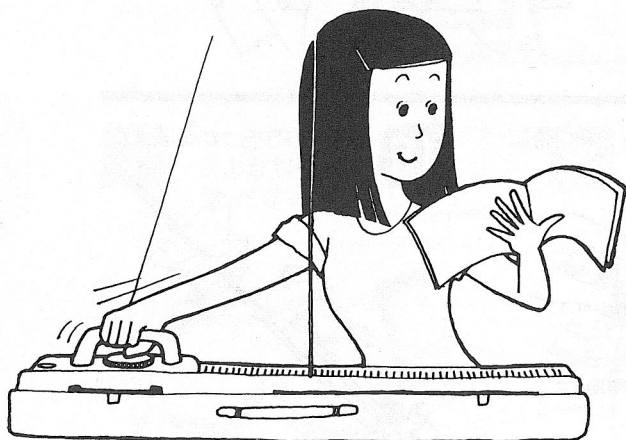


22 ケースをななめにして、そのまま押しつけます。



2

編機操作



はじめに……

まず基本操作を知っておきましょう。

◆編針の位置

編機は、編針の位置によっていろいろな編み方ができます。その編針の位置をミゾ板の左右の端に、A・B・D・Eの文字で示してあります。

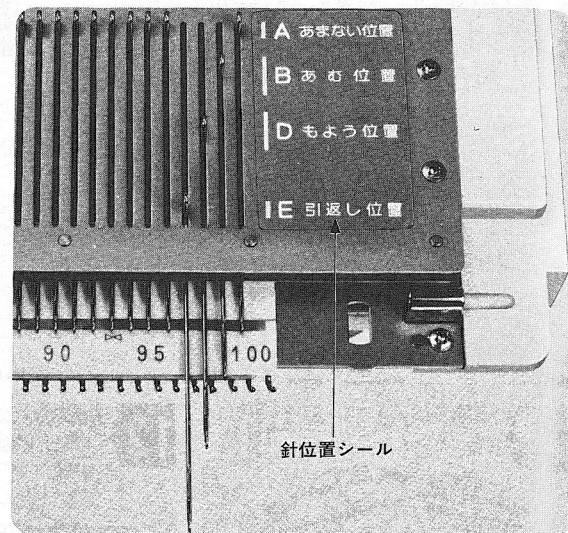
A（あまない位置）……キャリジを操作しても編めません。

B（あむ位置）……普通はこの位置で編みます。

D（もよう位置）……模様編の場合の選針位置です。

E（引返し位置）……引返し編に使う位置です。

※ミゾ板右端には、針位置シールが貼ってありますので参考にしてください。



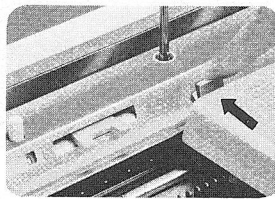
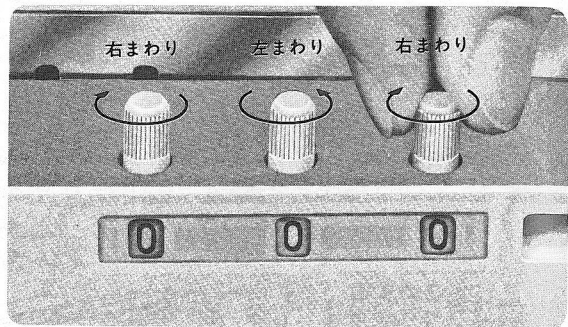
◆段数計の使い方

キャリジの操作によって編まれる段数を数字で知ることができる装置です。

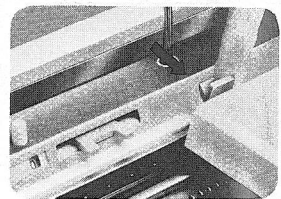
数字をセットするには、上部のつまみを回して行ないます。

まず、0にセットするときは、右側のつまみを順に右回り、中央のつまみを左回り、左側のつまみを右回りにして合わせます。また、数字をなおすときは、そのなおしたい桁のつまみを0にセットするときと同じ方向に回してください。

※段数計を使うときは、キャリジ左側後方の段数計レバーを下げおきます。必要のないときは上げておいてください。



〈使うとき〉

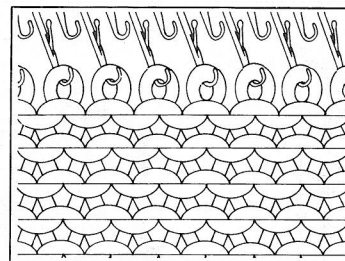
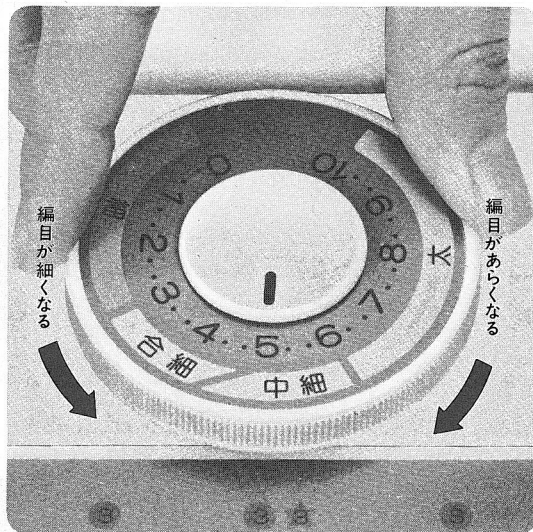


〈使わないとき〉

◆編目ダイヤルの使い方

編糸に応じて、編目の大きさを調節する役目をします。数字が大きくなるほど、編まれる編目は大きく（あらくなる）なります。

編糸に応じて、ダイヤルの数字または●印をダイヤル中央部のキャップについている●印に合わせます。



※編糸が太くなるほどキャリジの操作は重くなりますので、極太糸などを編む場合は、上図のように編針を1本おきで編みますと軽く操作できます。この場合のダイヤルの目盛は極太糸の標準目盛に合わせます。(表参照)

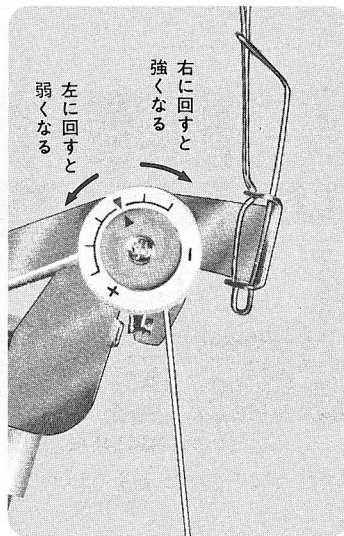
使用糸	目盛
細糸	0～3
合細	3～4
中細	4～6
並太	6～9
極太	9～10

※表は、平編のときの標準目盛を示しています。

◆糸調子の合わせ方

糸取装置についているつまみを、編糸に応じて調節します。+（プラス）側に回すと糸調子が強くなり、-（マイナス）側に回すと弱くなります。

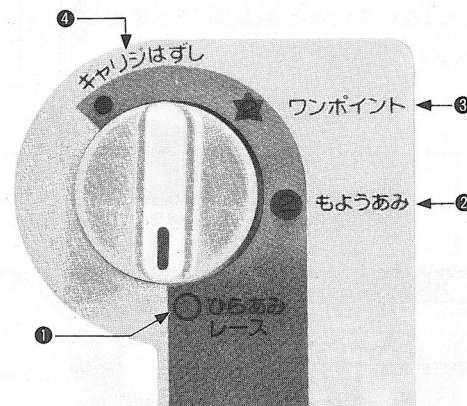
※中細糸は▼印に合わせ、太糸は▲側、細めの糸は+側にします。



◆選針切替つまみの使い方

それぞれの編み方に応じ、編針の動きを変える装置で、選針切替つまみの●印を次の4つの各位置に合わせ、そのはたらきを使い分けます。

- ① 平編、レース模様を編むときに、○ひらあみ・レースに合わせます。
- ② タック模様、すべり目模様、スレッド模様、同時編込模様などを編むときに●もようあみに合わせます。
- ③ ワンポイントカム24、または、連続ポイントカムを用いて編むときに▲ワンポイントに合わせます。



- ④ 編み間違えたときや途中でキャリジをはずしたいときに●キャリジはずしに合わせます。

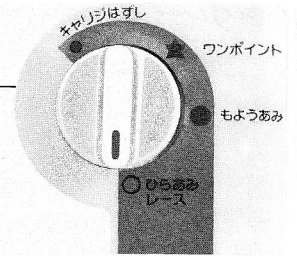
◆カムボタンの使い方

カムボタンは模様編のときに使うボタンです。いっばいに押すと、押された位置でロック(止まる)されます。

※ 2つのボタンを押すときは、2つ同時に押してください。

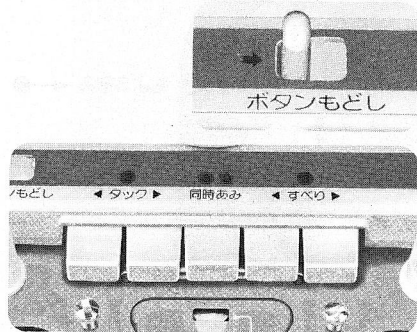
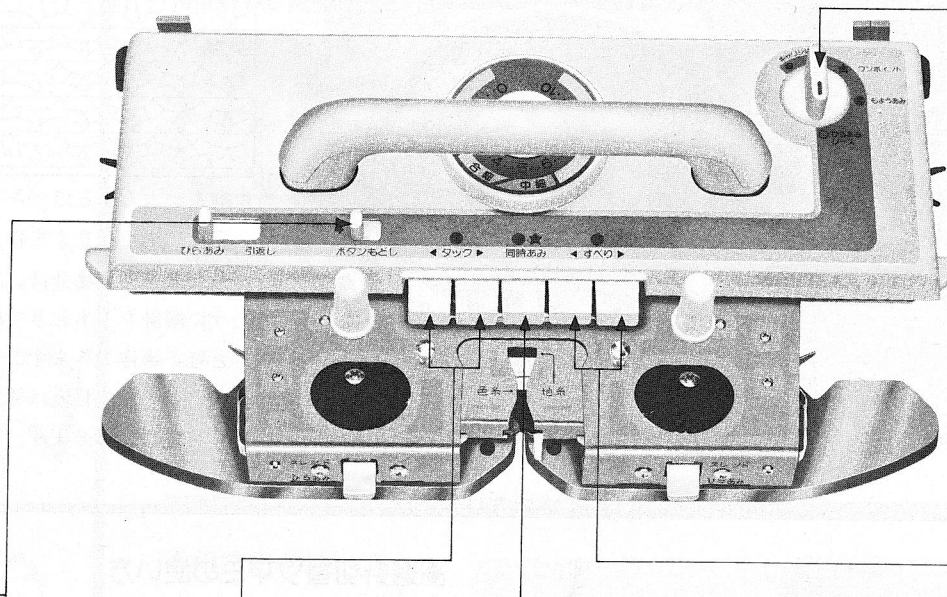
※ ロックされたカムボタンを戻すときは、キャリジのボタンもどしレバーを、右方向(➡印の方向)へ押して戻すか、または、選針切替ツマミがくもようあみ>かくワンポイント>になっているときは、選針切替ツマミをくひらあみ・レース>にセットするだけで押されているカムボタンは、自動的に戻ります。

※ 選針切替ツマミがくひらあみ・レース>になっているときは、ボタンもどしレバーで戻してください。



〈選針切替ツマミ〉

カムボタン自動戻し装置が内蔵されています。



〈ボタンもどしレバー〉

右方向へ押すと、セットされたカムボタンがもどります。



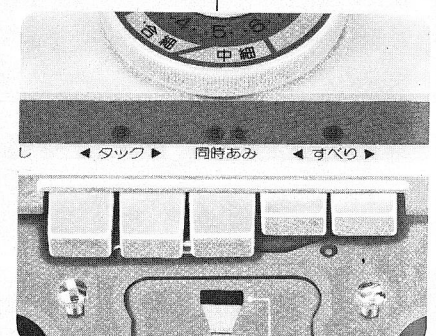
〈タック模様〉

ボタンを2つ同時に押す



〈同時編込模様〉

ボタンを1つ押す



〈すべり目模様〉

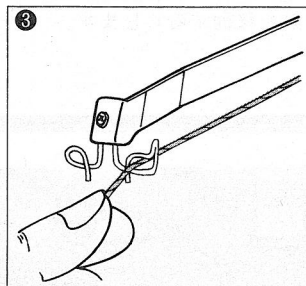
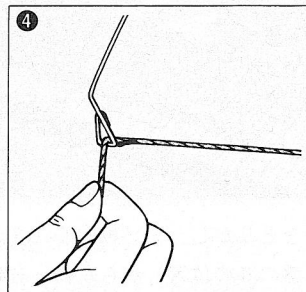
ボタンを2つ同時に押す

実際に編んでみましょう

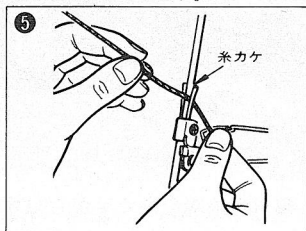
◆平編の編み方

平編を編む場合の操作は、編機を扱うときの基本操作となりますので、よくおぼえてください。

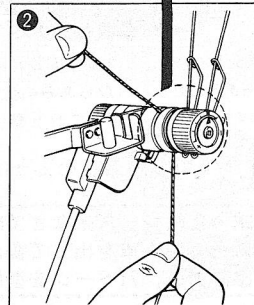
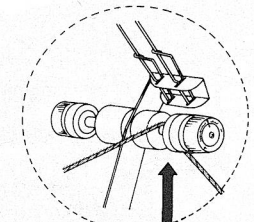
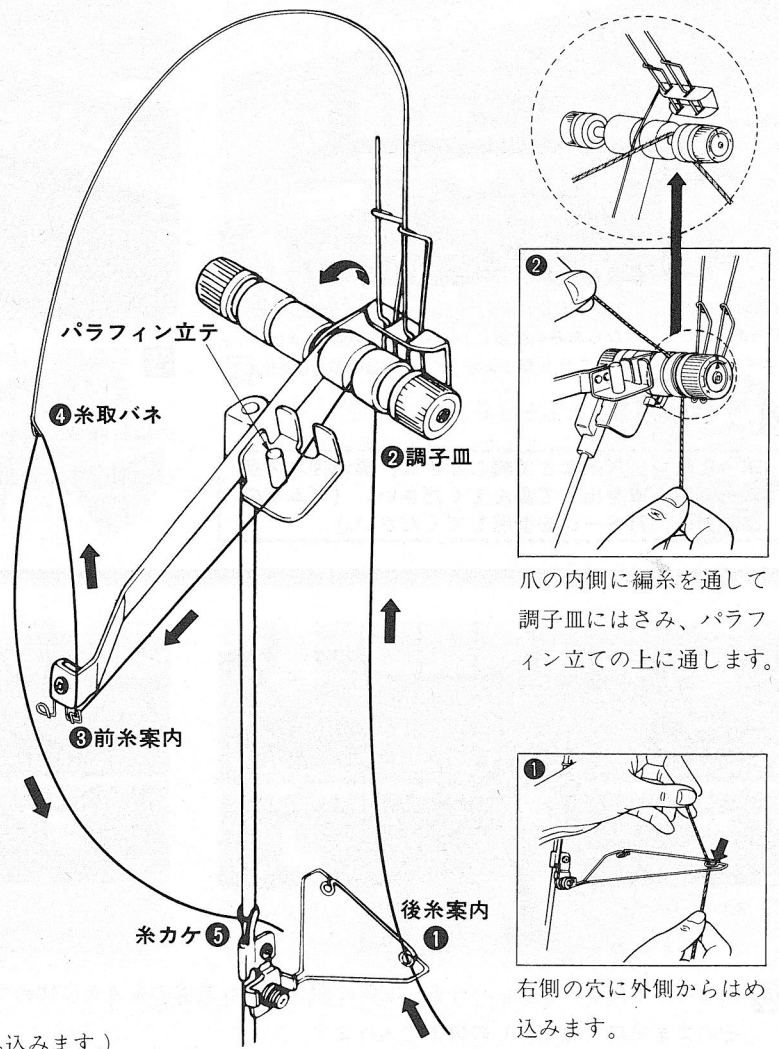
- 順をおって編みかたを説明していきます。番号順に操作してください。
- 例として、中細毛糸を使い、80目の平編を編んでみましょう。



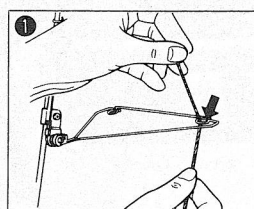
編むのを中断したとき糸ゆるみを防ぐようになっています。



糸端を糸カケに休めます。(はさみ込みます。)



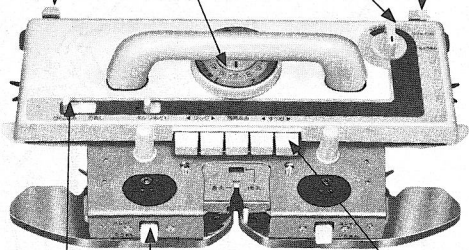
爪の内側に編糸を通して調子皿にはさみ、パラフィン立ての上に通します。



右側の穴に外側からはめ込みます。

■ 編糸を上図の順序で糸取装置に通し、糸調子を合わせます。(11ページ糸調子の合わせ方参照)

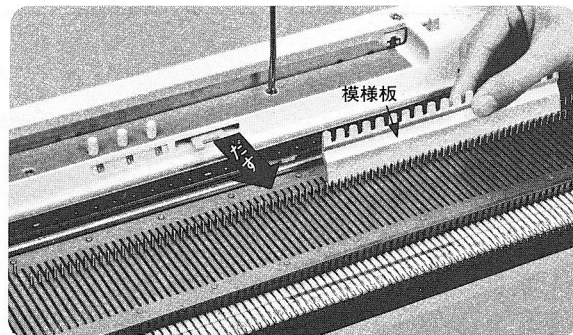
段数計レバー (上げておきます)
 編目ダイヤル (7に合わせます)
 選針切替ツマミ (ひらあみ・レースの位置にセットします)
 リーダーレバー (上げておきます)



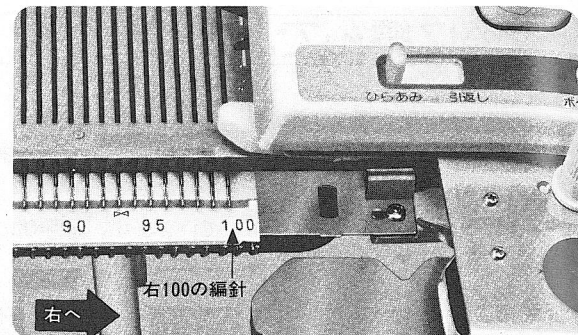
引返しレバー (ひらあみにセットします)
 スレッドレバー (ひらあみの位置にレバーを下げてセットします)
 カムボタン (平編のときはセットは必要ありません)

2 キャリジを写真のようにセットします。

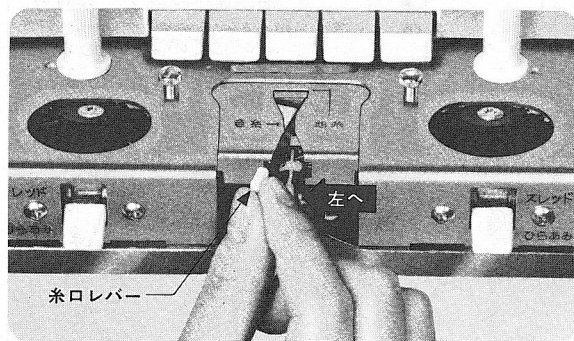
綿・化繊レース糸などで編むときは、編地押エの裏にあるゴム車を出して編んでください。(ゴム車の出し方は、21ページを参照してください。)



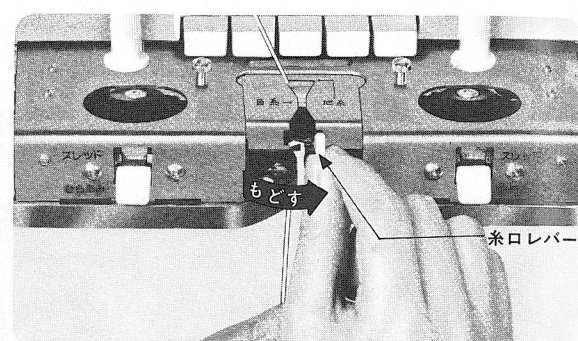
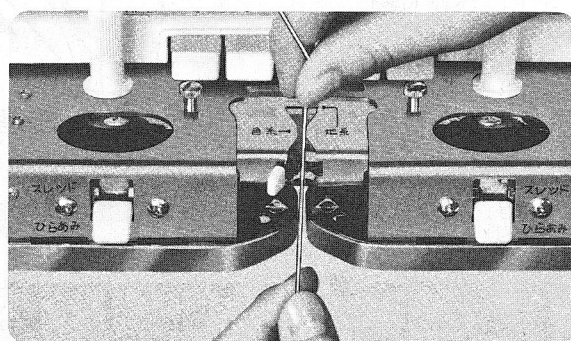
3 部品箱から模様板をとりだし、ミゾ板中心(クシバ部についている目盛の0の位置)から左40~右40間の編針80本(目数は80目)を、模様板を使ってB位置(あむ位置)まで針出し(針を移動する)します。



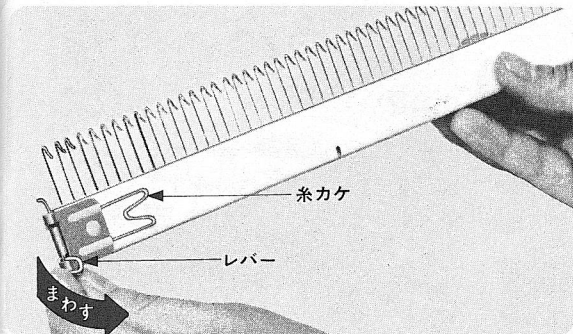
4 B位置に出した編針を揃えるため、キャリジを1回~2回左右に動かし、ミゾ板の右端(キャリジの左端が100の編針を通りすぎた位置)におきます。



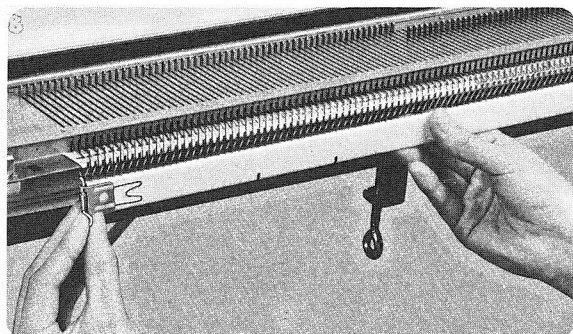
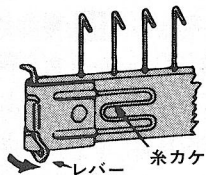
8 編地押エ中央部の糸口レバーを、左側に開き、糸取装置の糸カケに休めてある編糸の糸端を糸カケからはずして、そのまま糸口(地糸口)の奥まで入れます。



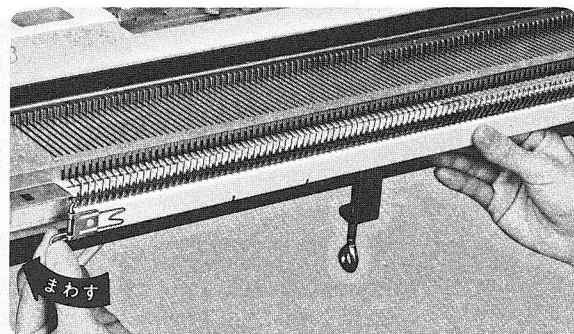
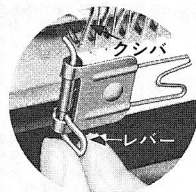
9 糸口に編糸が入りましたら、糸端を持ったまま糸口レバーを右側(もとの位置)に戻します。



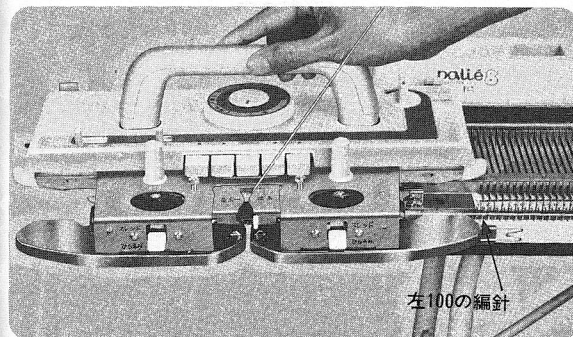
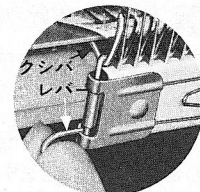
5 ケースから編出シを取り出し編出シの糸カケを手前に向けて両端のレバーを手前に回します。



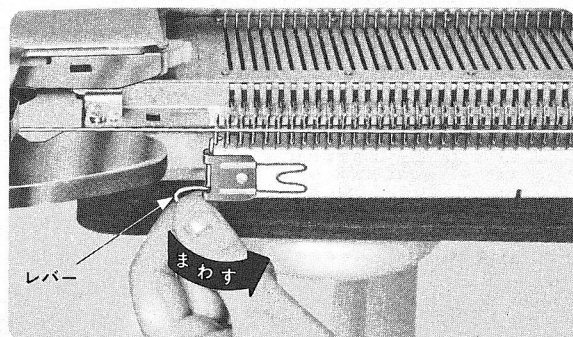
6 編出シ両端のレバーのカギ部を左右共、いちばん端のクシバに合わせます。



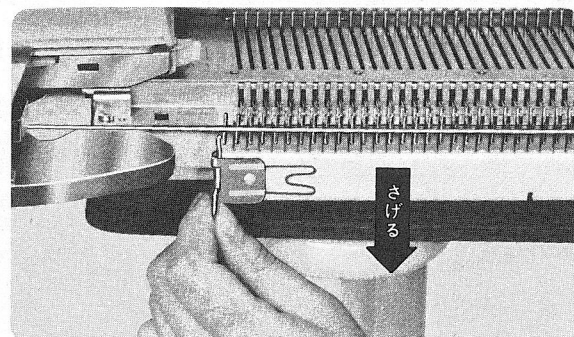
7 編出シ両端のレバーを真横(もとの位置)にもどしながらカギ部を両端のクシバ部にかけてます。

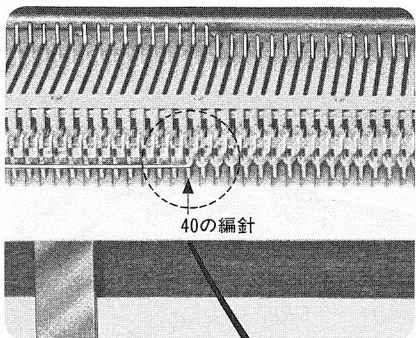


10 糸口に通した糸端を軽く真下に引くように指でつまみ、そのままの状態でキャリジをゆっくり右から左端(100の編針を通りすぎた位置)まで動かします。編糸が編針にかかります。

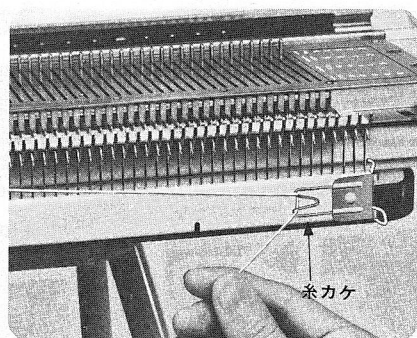
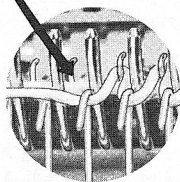


11 編出シ両端のレバーを手前に回し、クシバより編出シをはずしいっぱいに引き下げます。

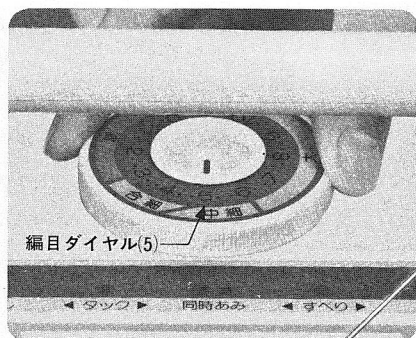




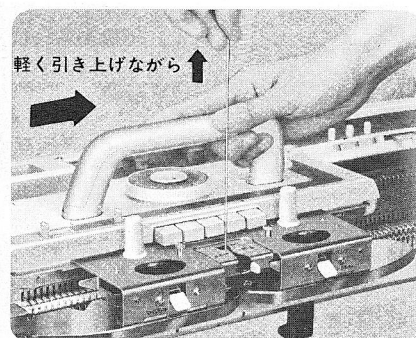
12 左側40の編針の左隣にある編出シの歯1本に、編糸をかけます。(残りの歯にはかからないようにします。)



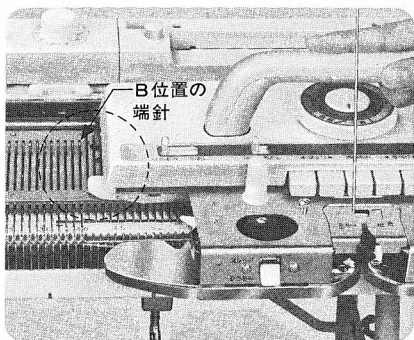
13 つぎに右側の糸端は、編出シの糸カケにかけます。



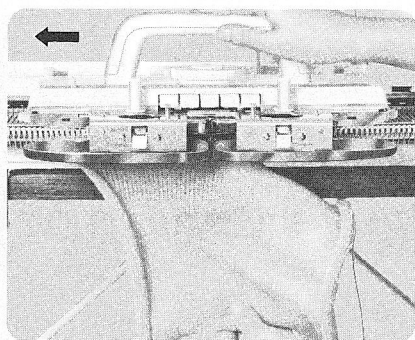
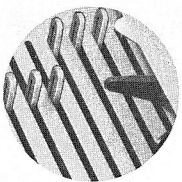
14 編目ダイヤルを5に合わせ直します。編目ダイヤルを最初7に合わせたのは、11で編出シを引き下げやすくするためです。ここで適切な目盛に合わせ直します。



15 編糸を指でつまみ、軽く上に引きながら編糸のたるみを取りキャリジを右に動かします。そのあと、キャリジを左右にくり返し操作すると平編が編めます。



※キャリジの折り返しは進行方向側のB位置の端針が、キャリジの端から完全に抜けた位置から折り返します。

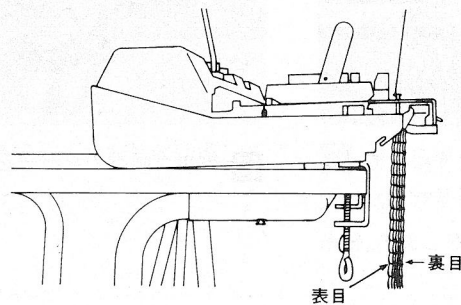


16 編み終わったら、編出シをはずして編糸をきり、糸カケに休めます。編地をはずすときは、糸口に編糸を通さずキャリジをそのまま動かせばはずれます。

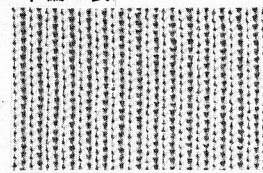
◆編地の表と裏

編地が編針にかかっているとき、手前に見える面を裏目、反対側の面を表目と言います。

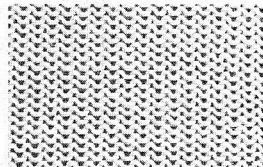
●お好みにより表目、裏目のどちらも作品として使うことができます。



〈平編の表〉



〈平編の裏〉



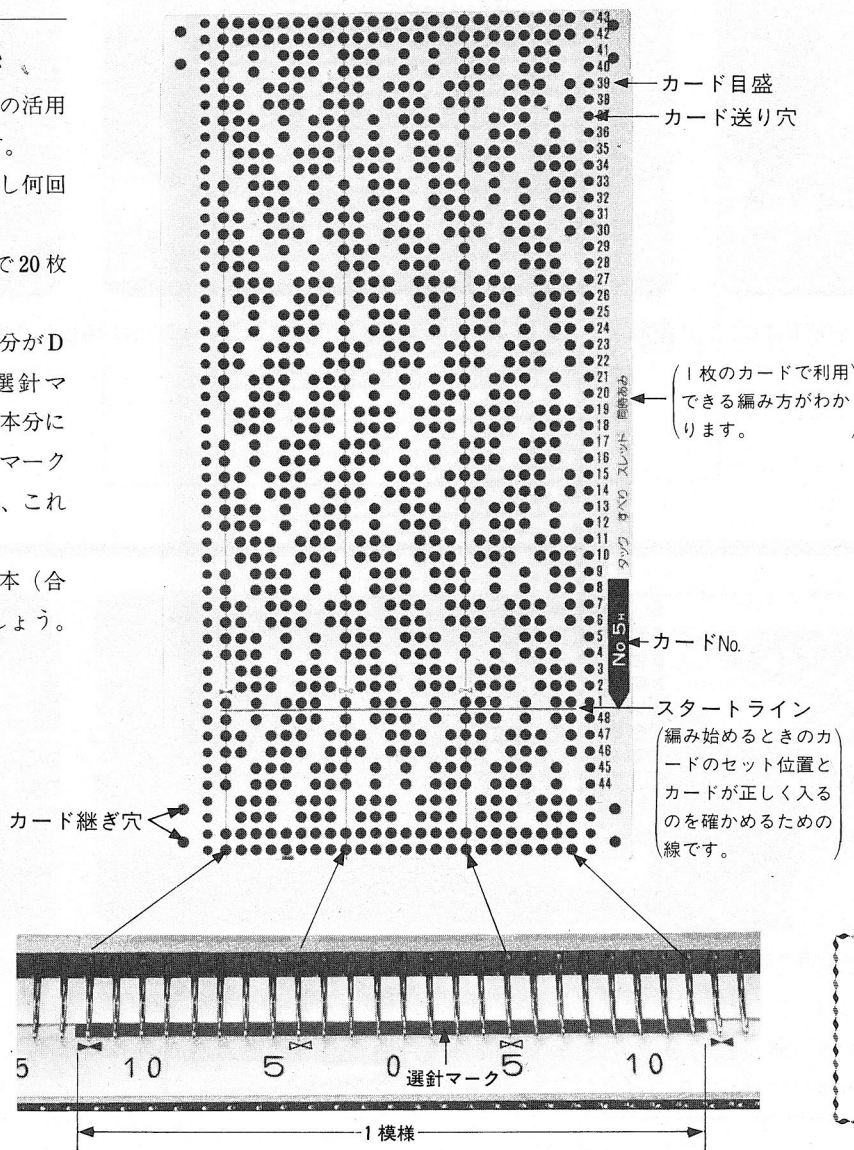
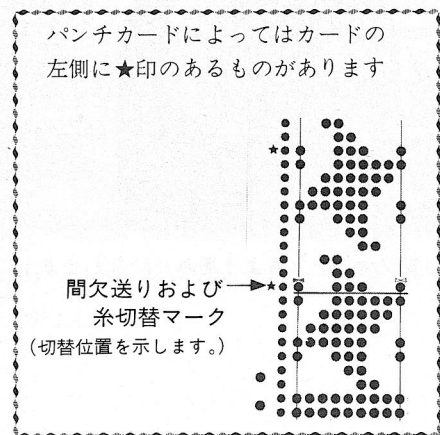
模様編の編み方

◆パンチカードの見かたと編針の関係

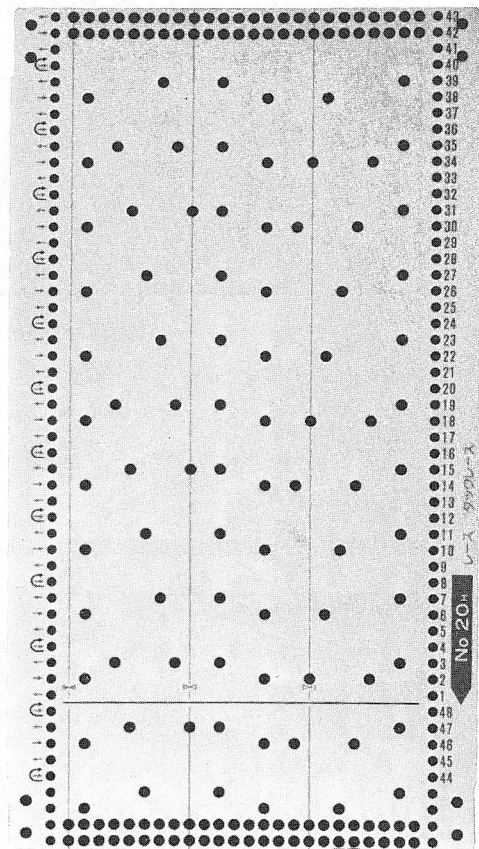
- ブラザー編機〈パリエ〉は、パンチカードの活用であらゆる模様を自由自在に編み上げます。
- パンチカードは、一度セットすれば、繰返し何回でも同じ模様を編むことができます。
- 付属のパンチカードは、No.1H～No.20Hまで20枚あります。

※パンチカードの模様穴は、穴のあいている部分がD位置に選針されます。ミゾ板目盛板の選針マーク（赤い帯および赤い線の部分）の編針24本分に相当する範囲に対応して選針されます。選針マークの部分が目数方向（横方向）の1模様となり、これがくり返されて連続模様が編まれます。

※練習する場合は、ミゾ板の0を中心に左右40本（合計80本）の編針をB位置に出して編んでみましょう。

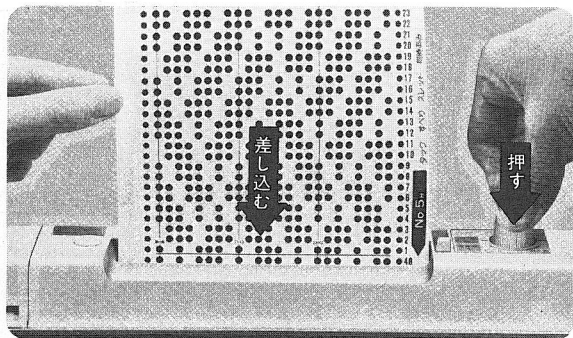


〈レース・タックレース用パンチカード〉

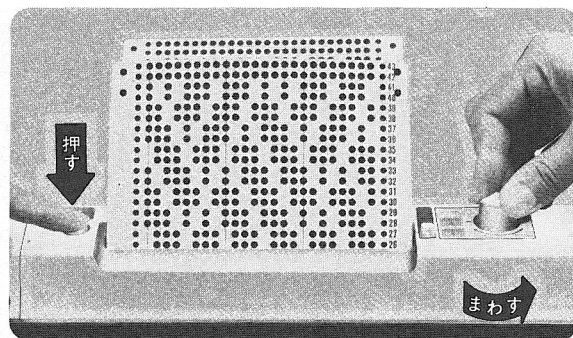


パンチカードを折りたたんだり折り目をつけないようにしてください

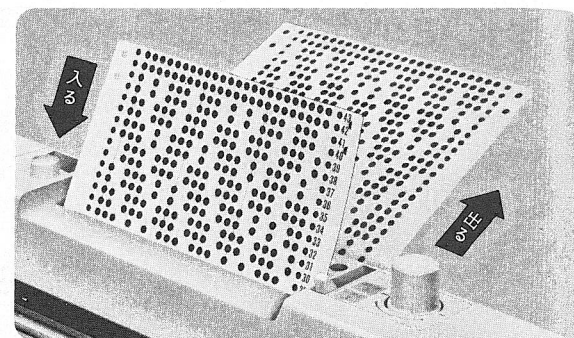
◆パンチカードのセット方法



1 パンチカードのカードNo記入部の▼印を右下にし、カード差込口へまっすぐ差し込みます。カード送りつまみを押しなまま2～3ピッチくおくる方向に回し、カードを送ります。正しく入ったか確認します。



2 カード差込口左側のカード送りボタンをいっぱい押しなまま、カード送りつまみをくおくる方向に回し、カードの端を後側の穴から15cm程度出します。



◆模様編の準備

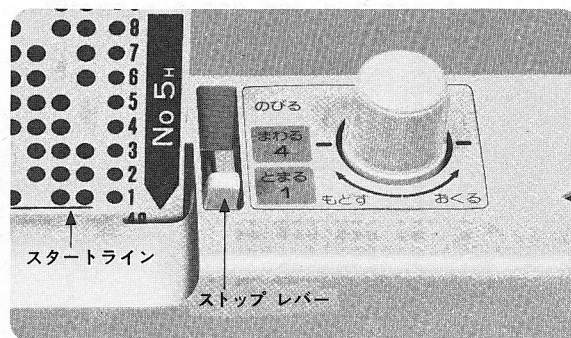
模様編は、それぞれの模様によって準備のしかたが変わりますので、よくお読みください。

●この項での説明は、

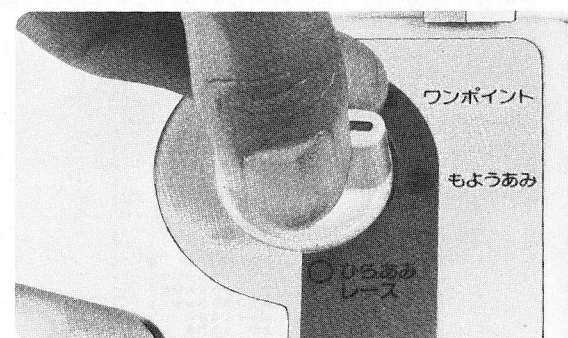
タック模様・配色タック模様・すべり目模様・配色すべり目模様・スレッド模様・同時編込模様に共通します。

※その他の模様編の場合は、それぞれの項目でご説明します。

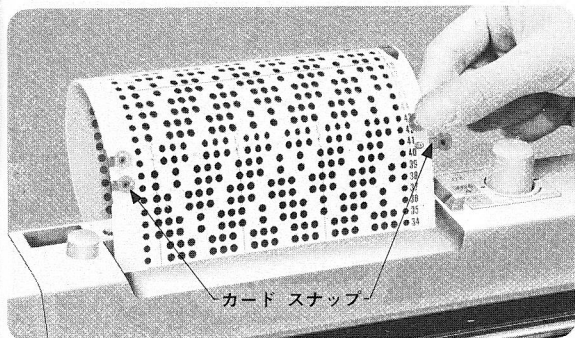
1 平編を10段ほど編んでからキャリジを左側に置きます。



2 模様編に応じたパンチカードをセットしてカード送りつまみをくおくる方向に回し、カードのスタートラインをカード差込口のスタート位置に合わせ、ストップレバーをくとまるに合わせます。



3 選針切替つまみをくもようあみに合わせます。



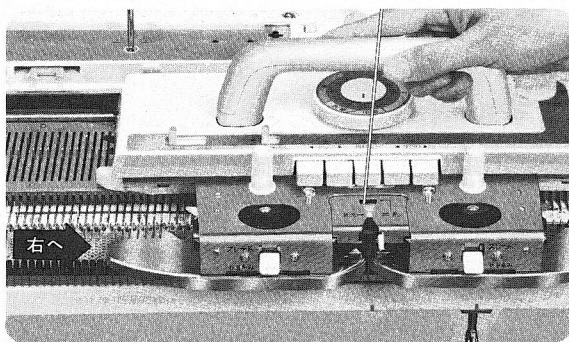
3 カード差込口側から出ているカードの端を上にして付属のカードスナップでカードの両端をつなぎます。

知識メモ

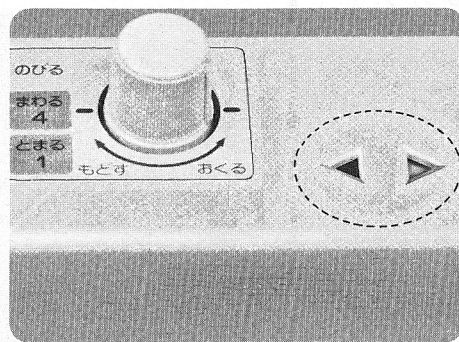
◆カード送りツマミは、模様編の途中で、編針が正しく選針されているかどうかを確認したいときにも使います。

そんなときは、74ページの〈正しく選針されているかどうかを確認したいときは…〉の項を参照してください。

※選針されている編針と対応するパンチカードの穴は、カード差込口に見えているカード目盛から7段戻った目盛の位置のものです。



4 キャリジを左から右にゆっくり操作すると編針が選針されます。



☆このときカード送りツマミ右側の指示マークが作動し、キャリジの進行方向を示す◁▷(オレンジ色)のサインが出ます。
(右へ進むとき◁▷)(左へ進むとき◁▷)



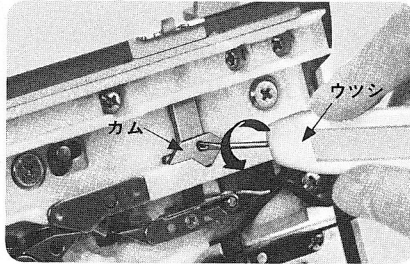
☆端目を美しく編むために、端針が自動的に選針(針がD位置まででる)されます。この装置を端針選針機構といいます。端針選針機構は、選針切替ツマミが〈もようあみ〉以外の位置でははたらきません。

◆模様編集に一部記載されている針抜き模様を編む場合

選針切替ツマミがくもようあみ の位置のときに、次の操作を行ないます。

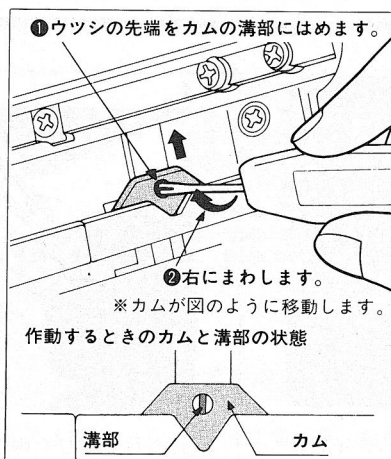
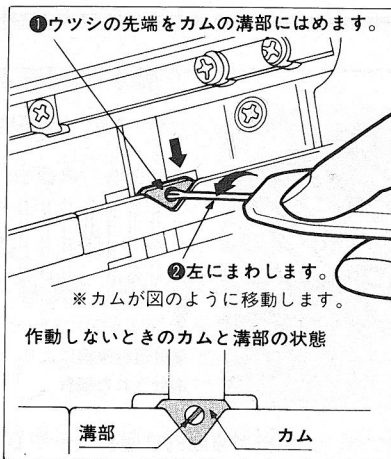
- 1 キャリジを本体からはずし、裏返しにします。
- 2 キャリジの端針選針機構を作動しないようにします。(下図参照)
- 3 キャリジを本体に戻して、編み進みます。

※針抜き模様を編み終えた後は、必ず端針選針機構を左右とも、もとのように作動するようにしておきます。



キャリジの端針選針機構を作動しないようにするには……

キャリジの端針選針機構を作動するようにするには……

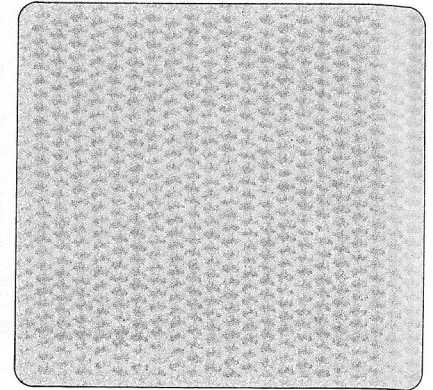


※カムは左右2箇所についていますから、2つをそれぞれ同じ要領で対称にまわして作動させたりまたは作動しないようにしてください。

タック模様

利用できるカード

No1_H, 2_H, 3_H, 5_H, 7_H, 8_H, 10_H, 11_H

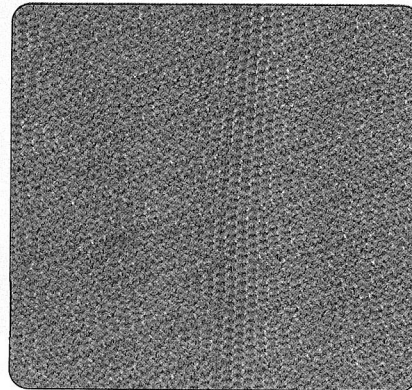


[カードNo. 1_H]

糸……中細

1 模様2目2段

編目ダイヤル……5

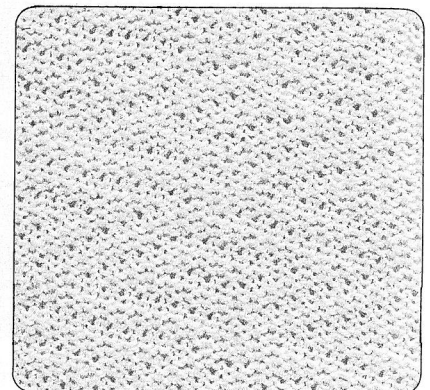


[カードNo. 8_H]

糸……中細

1 模様24目24段

編目ダイヤル……5

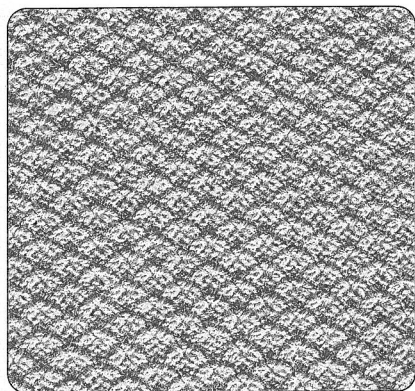


[カードNo. 10_H]

糸……中細

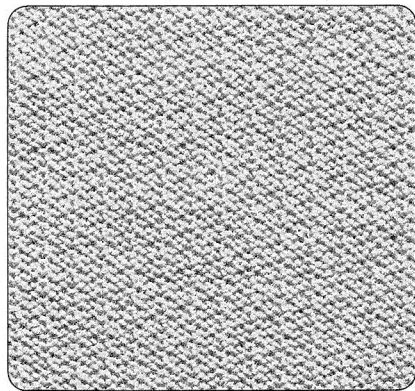
1 模様24目48段

編目ダイヤル……5



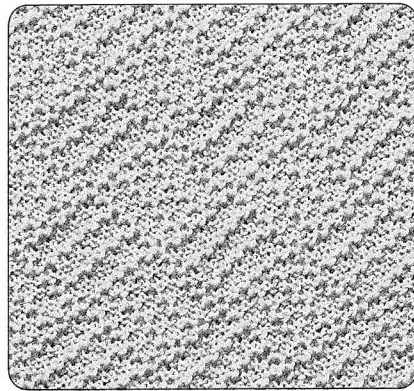
〔カードNo. 2 H〕

糸……中細
1 模様 4 目 6 段
編目ダイヤル…… 5



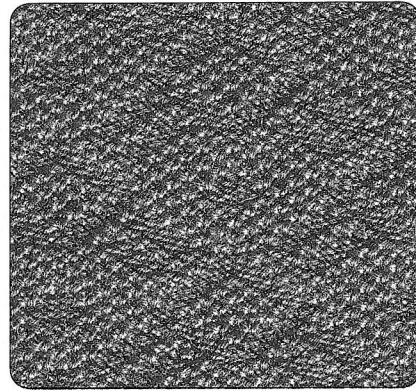
〔カードNo. 3 H〕

糸……中細
1 模様 4 目 4 段
編目ダイヤル…… 5



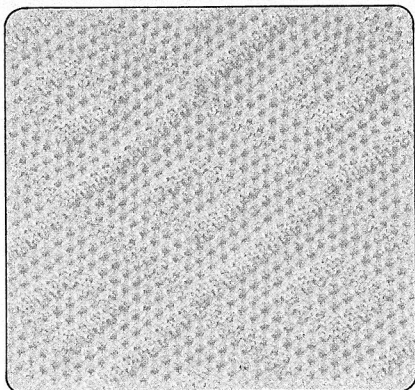
〔カードNo. 5 H〕

糸……中細
1 模様 12 目 24 段
編目ダイヤル…… 5



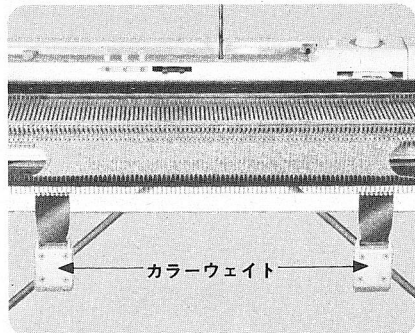
〔カードNo. 7 H〕

糸……中細
1 模様 24 目 48 段
編目ダイヤル…… 5

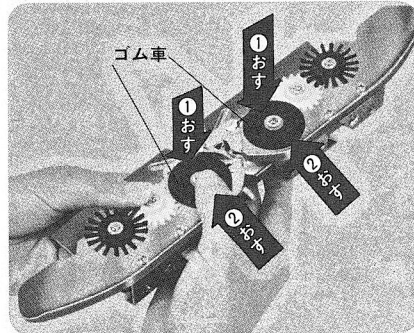


〔カードNo. 11 H〕

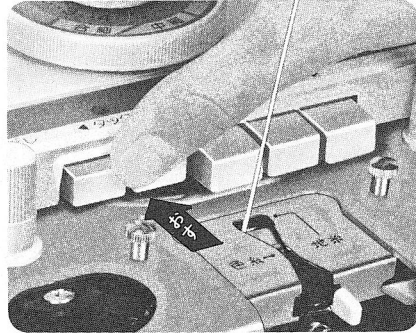
糸……中細
1 模様 24 目 48 段
編目ダイヤル…… 5



- 1** 模様編の準備をします。
※タック模様ときは、編みやすくするため、カラウエイトを編地の両端付近の編出しに平均にかけます。編地が長くなったら、編地の両端にかけ直してください。



- 2** 編地押エをキャリジからはずして①ゴム車のネジの頭を押し、②そのまま矢印方向へパチッと音がするまで押し出します。※ゴム車を戻すときは、この逆の操作をします。



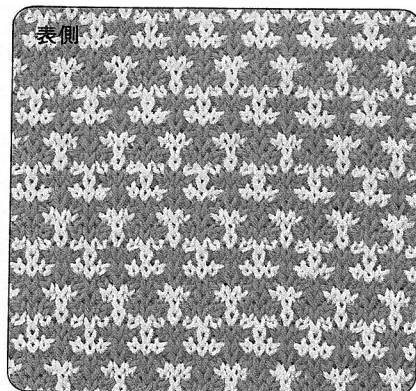
- 3** 編地押エをとりつけ、カムボタンの〈タック左右〉を押しします。(ボタンを2つ同時に)次にストップレバーを〈まわる〉に合わせて編み進みます。

配色タック模様

利用できるカード

タック模様と同じです。

タック模様と同じ操作で編みますが、2色の編糸を使い、地糸口の編糸を2段毎に切り替えながら編むところが異なります。

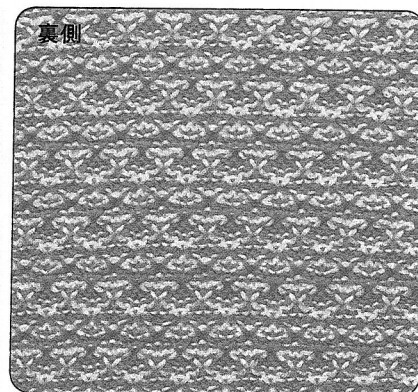


〔カードNo. 2 H〕

糸……中細

1 模様4 目6 段

編目ダイヤル……5

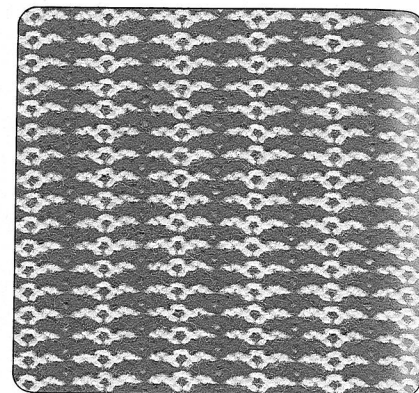


〔カードNo. 2 H〕

糸……中細

1 模様4 目6 段

編目ダイヤル……5



〔カードNo. 3 H〕

糸……中細

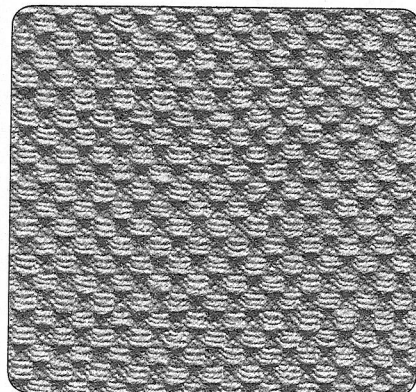
1 模様4 目4 段

編目ダイヤル……5

すべり目模様

利用できるカード

No.1_H, 2_H, 3_H, 5_H, 7_H, 8_H, 10_H,
11_H

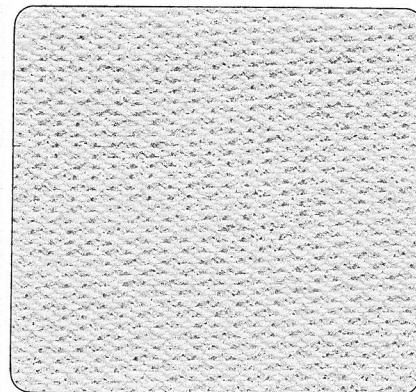


〔カードNo. 2 H〕

糸……中細

1 模様4 目6 段

編目ダイヤル……5

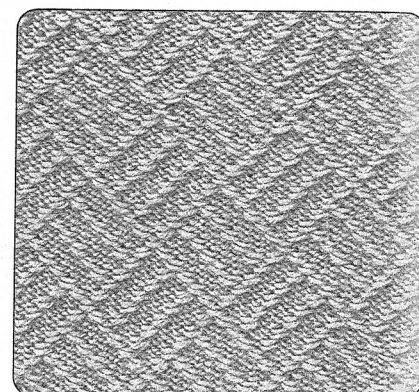


〔カードNo. 3 H〕

糸……中細

1 模様4 目4 段

編目ダイヤル……5

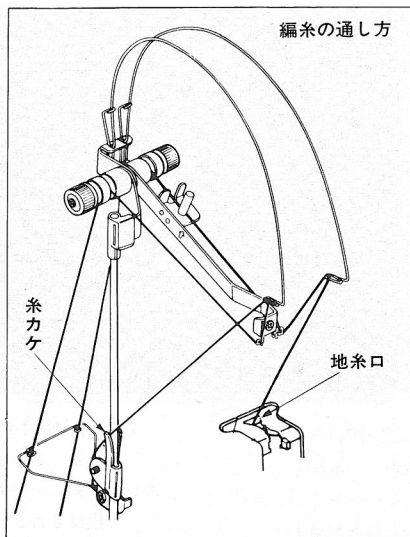


〔カードNo. 5 H〕

糸……中細

1 模様12目24段

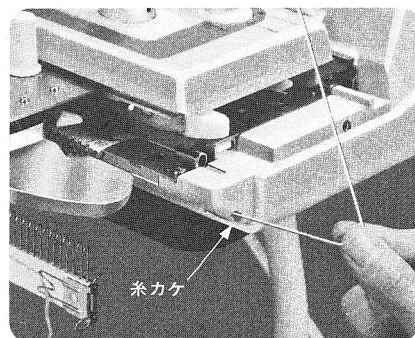
編目ダイヤル……5



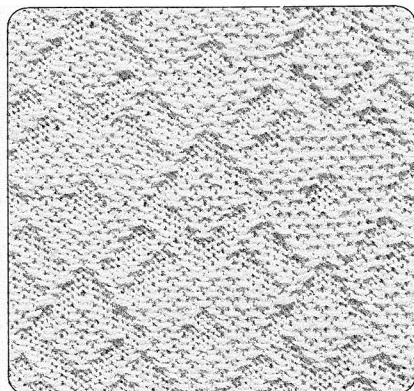
編糸の通し方

1 糸取装置の左右に2色の編糸を通します。左側に通した編糸は糸カケに休め、右側に通した編糸はキャリジの地糸口を通して(左図参照)模様編の準備をします。(18ページ参照)準備ができれば、右側の編糸で2段編みます。

2 右側の編糸を地糸口からはずし、本体の右端の糸カケに休め(右写真)、次に糸取装置に休めてある左側の編糸を地糸口を通して同じ要領で2段編み、前の編糸と切り替えます。

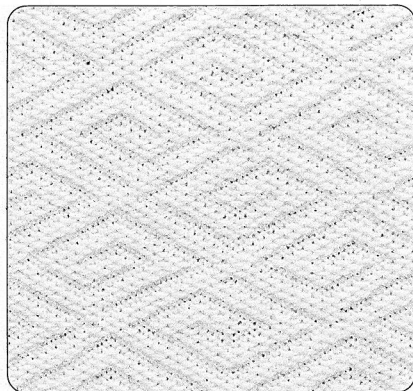


※編糸を切り替えるときに、前の編糸と交差しないように注意してください。



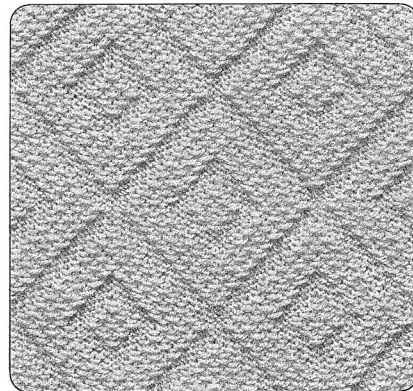
〔カードNo.7H〕

糸……中細
1 模様24目48段
編目ダイヤル……5



〔カードNo.10H〕

糸……中細
1 模様24目48段
編目ダイヤル……5



〔カードNo.11H〕

糸……中細
1 模様24目48段
編目ダイヤル……5



- 1** すべり目模様のパンチカードをセットして、模様編の準備をします。
- 2** カムボタンの<すべり左右>を押し(ボタンを2つ同時に)ストップレバーを<まわる>に合わせて編み進めます。

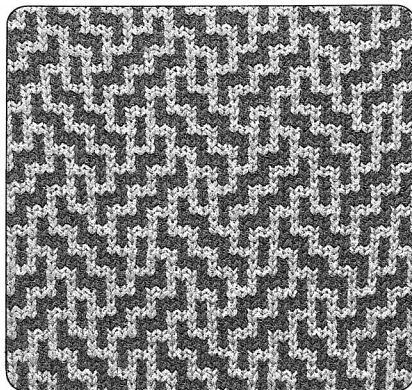
配色すべり目模様

利用できるカード

すべり目模様と同じです。

すべり目模様と同じ編み方ですが、2色の編糸を使い、地糸口の糸を2段毎に切り替えながら編みます。

※配色糸の通しかたと切り替えかたは、配色タック模様と同じです。



〔カードNo.5H〕

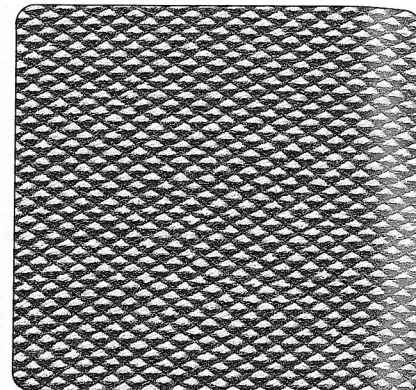
糸……中細
1模様12目24段
編目ダイヤル……5

スレッド模様

利用できるカード

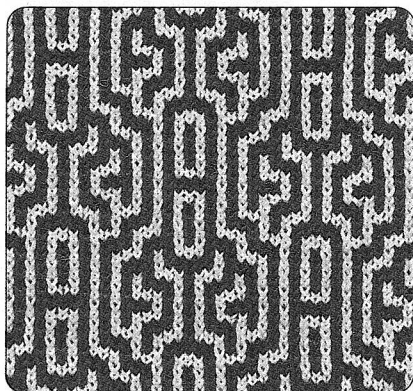
No.1H, 2H, 3H, 5H, 7H, 8H, 10H, 11H

スレッド模様は、平編に別糸（スレッド糸と呼ぶ）を織り込む編み方です。



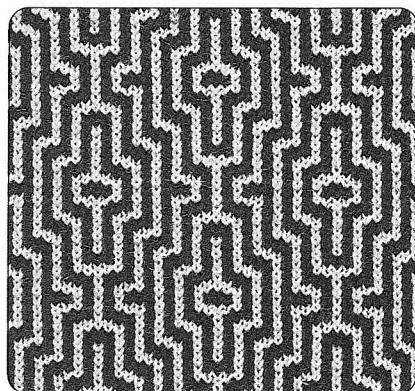
〔カードNo.1H〕

地糸……中細
スレッド糸……並太
1模様2目2段
編目ダイヤル……6



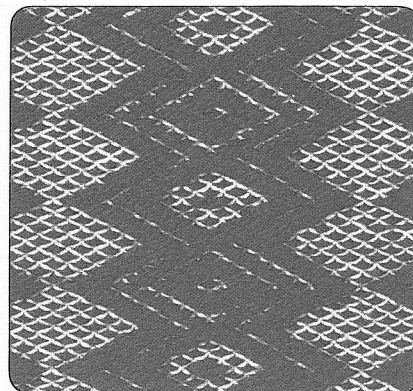
〔カードNo.7H〕

糸……中細
1模様24目48段
編目ダイヤル……5



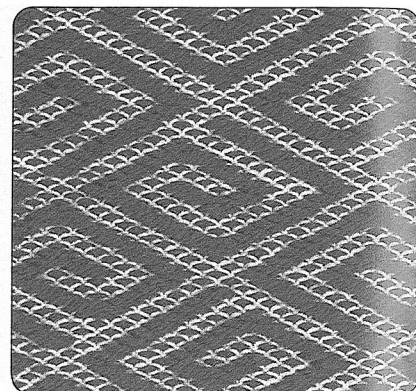
〔カードNo.11H〕

糸……中細
1模様24目48段
編目ダイヤル……5



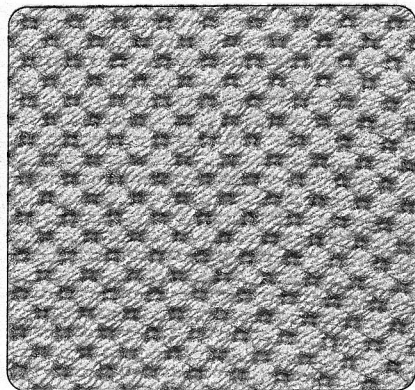
〔カードNo.8H〕

地糸……中細
スレッド糸……極太
1模様24目24段
編目ダイヤル……7



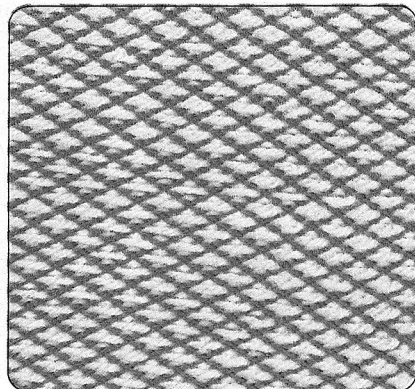
〔カードNo.10H〕

地糸……中細
スレッド糸……並太
1模様24目48段
編目ダイヤル……6



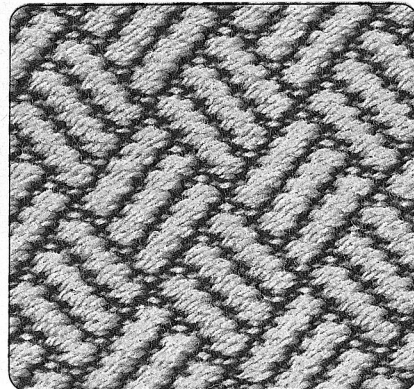
〔カードNo. 2 H〕

地糸……中細
スレッド糸……並太
1 模様 4 目 6 段
編目ダイヤル…… 6



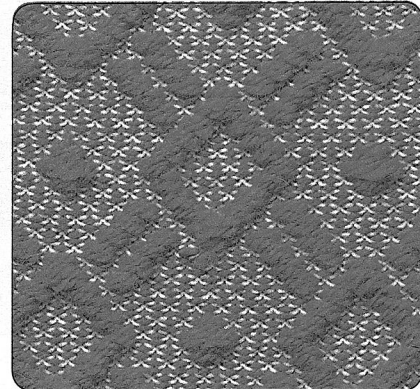
〔カードNo. 3 H〕

地糸……中細
スレッド糸……並太
1 模様 4 目 4 段
編目ダイヤル…… 6



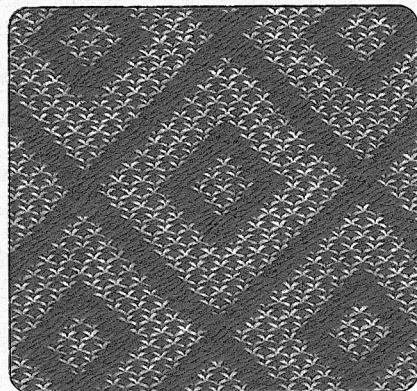
〔カードNo. 5 H〕

地糸……中細
スレッド糸……極太
1 模様 12 目 24 段
編目ダイヤル…… 7



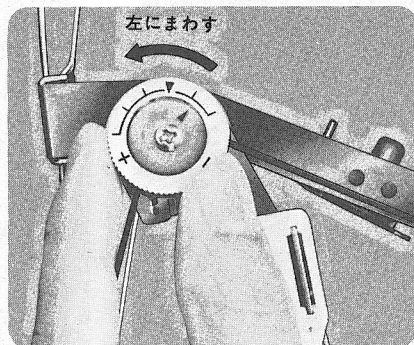
〔カードNo. 7 H〕

地糸……中細
スレッド糸……極太
1 模様 24 目 48 段
編目ダイヤル…… 7

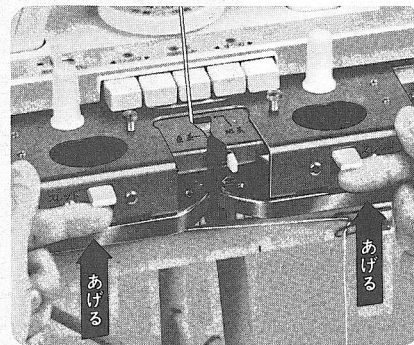


〔カードNo. 11 H〕

地糸……中細
スレッド糸……極太
1 模様 24 目 48 段
編目ダイヤル…… 7

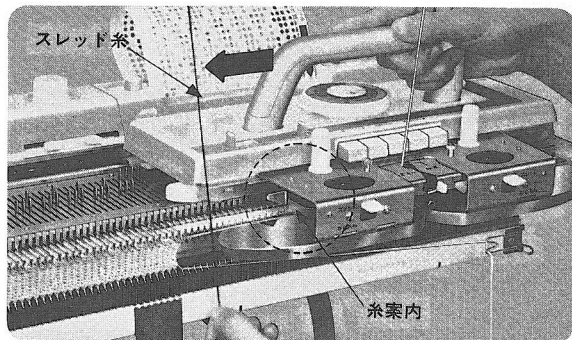


- 1** スレッド糸を、配色タック模様と同じ要領で糸取装置の左側に通します。
※スレッド糸が太いものや、すべりの悪いものときは、糸調子は一侧に、編目ダイヤルはあらめに合わせます。

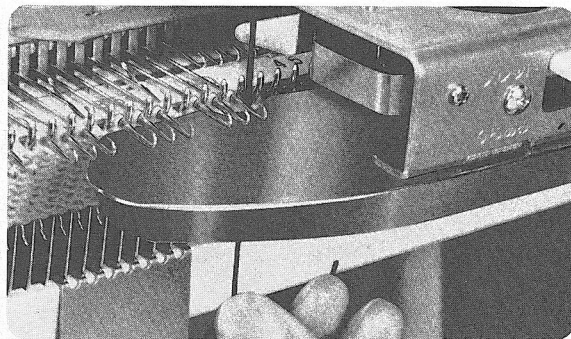
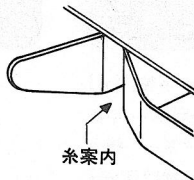


- 2** スレッド模様のパンチカードをセットして、模様編の準備をします。
次に、編地押エ左右のスレッドレバーを〈スレッド〉に合わせます。

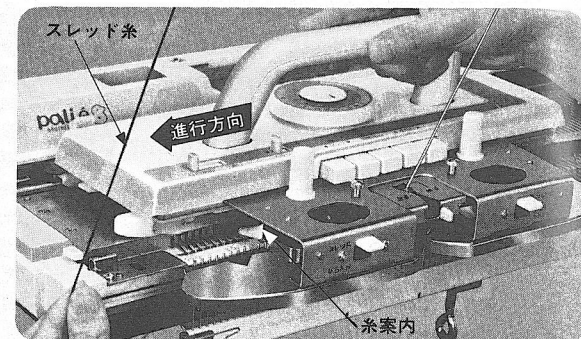
- 3** カムボタンは〈ひらあみ〉のまま、ストップレバーを〈まわる〉に合わせます。



4 糸取装置に休めてあるスレッド糸を、キャリジ左側の糸案内に入るように糸端を持ち、そのままキャリジを左側へ進行させます。



糸端が糸案内に入るところ……
※スレッド糸の糸端は、1段編んだら離します。



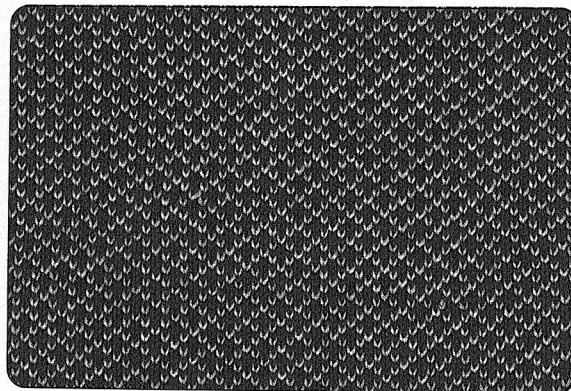
5 1段編んだら、キャリジの糸案内からスレッド糸を進行方向に引き離します。
例えば、右から左に進行して来たときは、さらにスレッド糸を左側に引き離します。

同時編込模様

利用できるカード

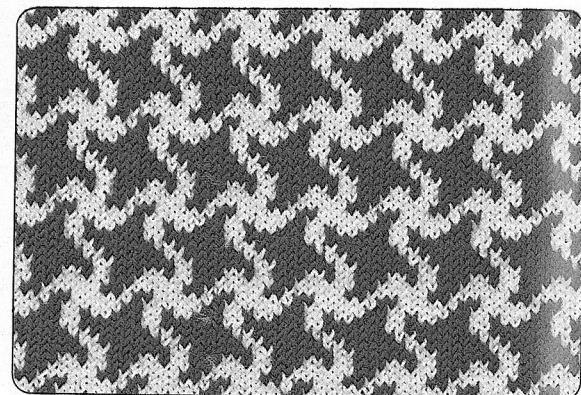
No.1H, 2H, 3H, 4H, 5H, 6H, 7H, 8H, 9H, 10H, 11H,
12H, 13H, 14H, 15H

同時編込模様のパンチカードを使って2色の編糸で編みます。



〔カードNo. 3H〕

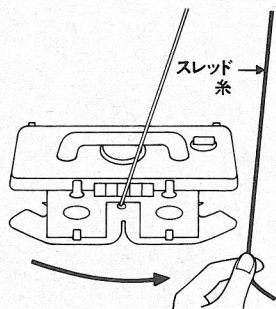
糸……中細
1 模様4目4段
編目ダイヤル……5



〔カードNo. 4H〕

糸……中細
1 模様9目10段
編目ダイヤル……5

6 引き離れたスレッド糸を編地押エの下をくぐらせ、そのまま戻る側にもってきて離します。



7 スレッド糸が戻る側の糸案内に入るのを確かめてから、キャリジを操作します。以下、毎段、スレッド糸を左右の糸案内に入れ替えながら、キャリジを左右に操作して編みます。

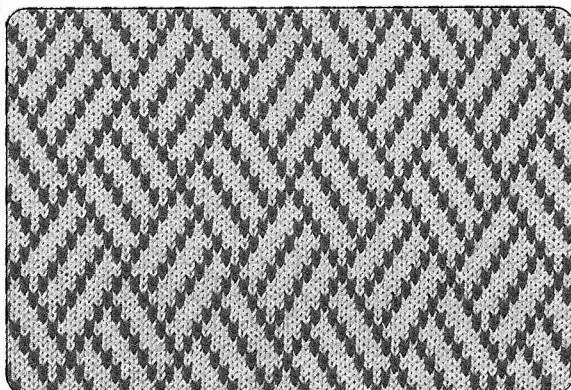
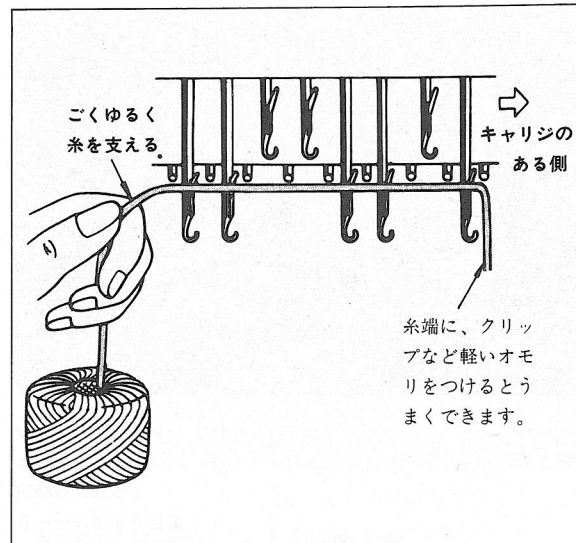
スレッド糸が2色以上の場合……

糸取装置のスレッド糸を入れ替えるか、糸取装置のスレッド糸はそのまま、他のスレッド糸を手で編針の上に渡す方法があります。

スレッド糸を手で渡す場合……

スレッド糸を必ずキャリジのある側からグシバに近寄らせて、選針されている編針の上に渡します。

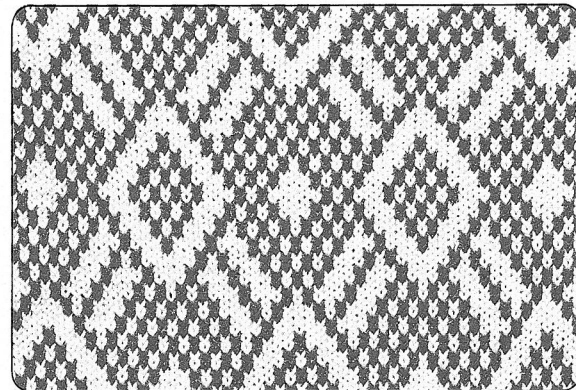
●キャリジを操作させたとき、スレッド糸の両端がたるまないよう指で軽く支えてください。



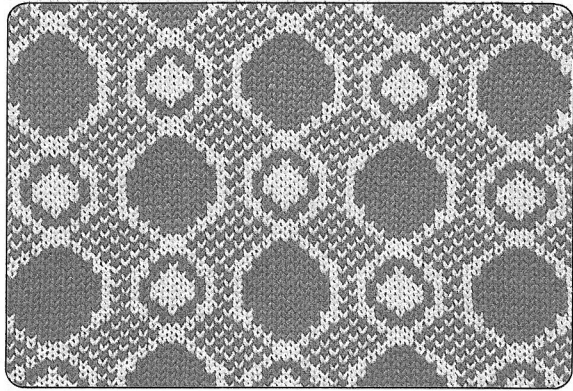
[カードNo. 5 H]
糸……中細
1 模様12目24段
編目ダイヤル…… 5



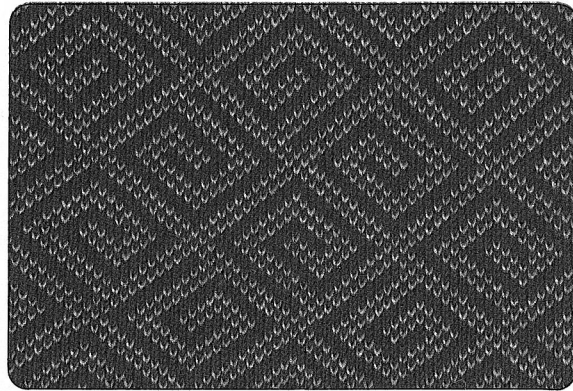
[カードNo. 6 H]
糸……中細
1 模様12目26段
編目ダイヤル…… 5



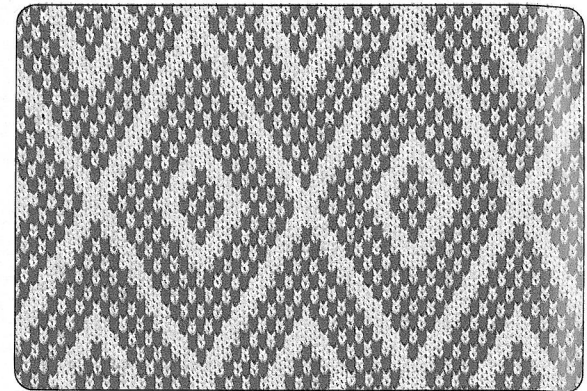
[カードNo. 7 H]
糸……中細
1 模様24目48段
編目ダイヤル…… 5



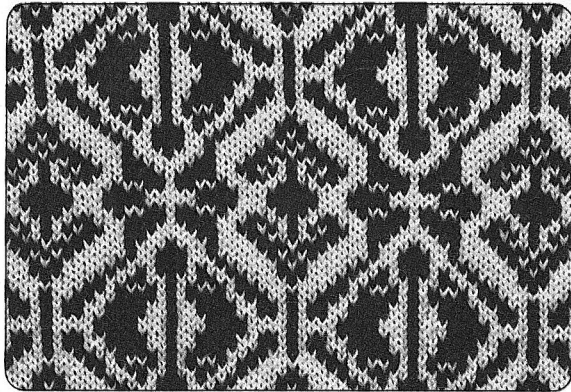
〔カードNo.9H〕
糸……中細
1 模様24目48段
編目ダイヤル……5



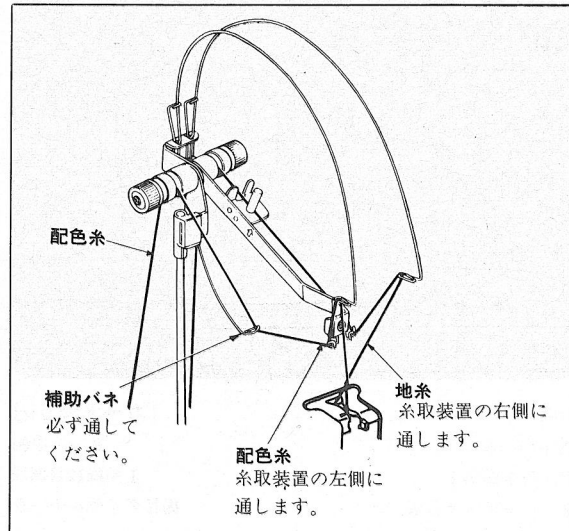
〔カードNo.10H〕
糸……中細
1 模様24目48段
編目ダイヤル……5



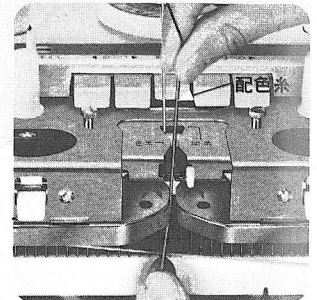
〔カードNo.11H〕
糸……中細
1 模様24目48段
編目ダイヤル……5

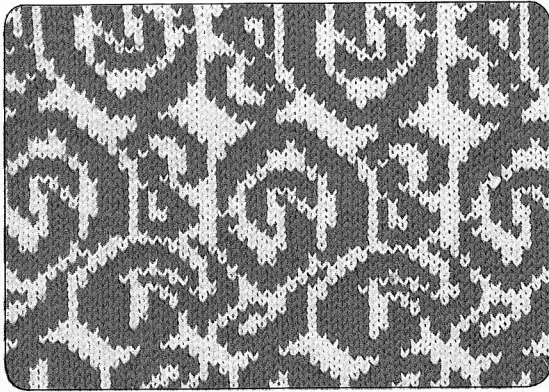


〔カードNo.14H〕
糸……中細
1 模様24目30段
編目ダイヤル……5



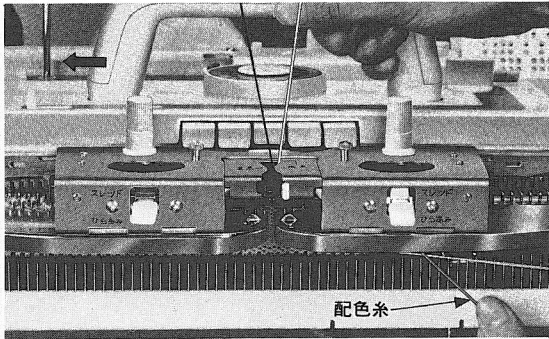
- 1 模様編の準備をしてから、カムボタンの〈同時あみ〉を押ししてセットします。
 - 2 ストップレバーを〈まわる〉に合わせます。
 - 3 糸取装置の左側に配色糸を通します。このとき、配色糸は左図のように補助バネに必ず通してください。
 - 4 配色糸を色糸口に入れます。
- ※糸口レバーは、閉じたまま配色糸を押し込むようにして通します。





〔カードNo.12H〕

糸……中細
1 模様24目58段
編目ダイヤル……5



※色糸口に通した配色糸の糸端は、編み始めるまでは離さずつまんでいてください。

※1段編んだら、配色糸の糸端は離してください。

5 以後キャリジを左右に操作して編みます。

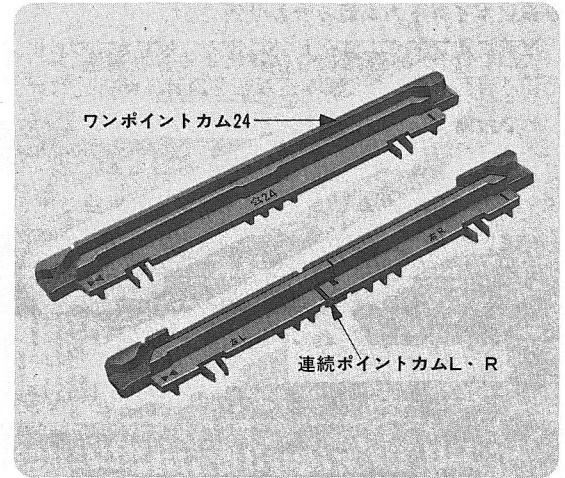
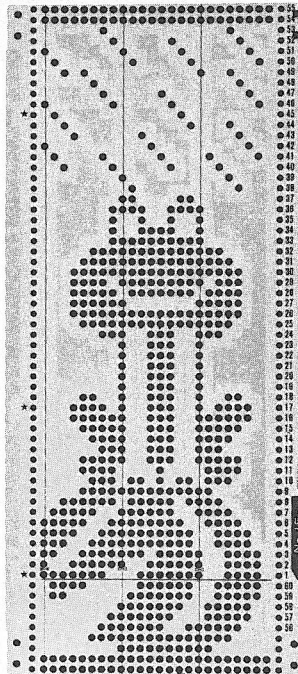
ワンポイント模様

利用できるカード

No.15H, 同時編込模様のカードも利用できます。

ワンポイントカム24、または、連続ポイントカム(L,R)を使って、編地の途中に模様(同時編込模様)を編み込んだ編み方です。

※ワンポイント模様は、カムを使うことにより、編幅には関係なく、カムが置かれている部分だけが模様となります。



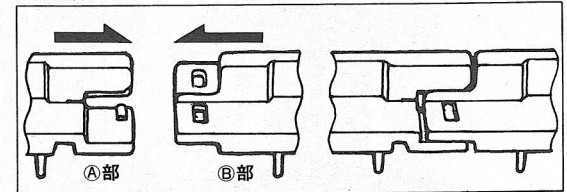
◆連続ポイントカムの使い方

◆接続の方法

図のように、それぞれの先端①部と②部を合わせてパチッ!と音がするまではめ込みます。

※接続をはずすときは、互いに引き抜けばはずれます。

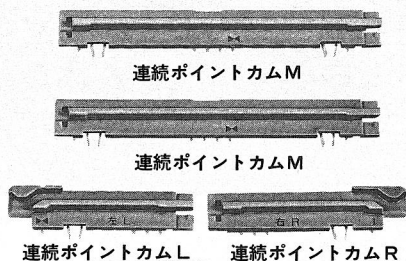
※連続ポイントカムを接続する場合は、LとRが必ず両端になる組み合わせで接続してください。



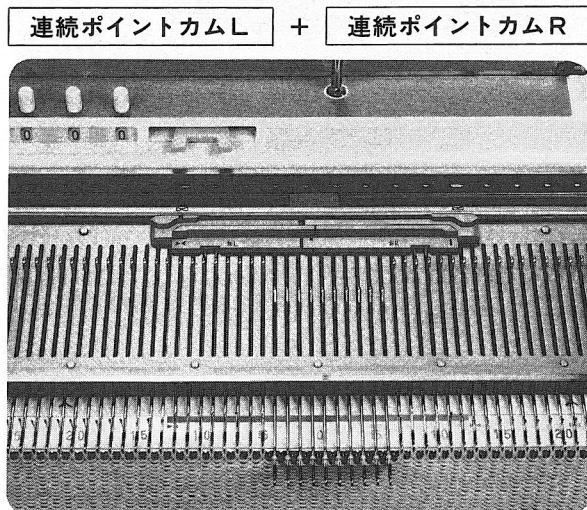
◆連続ポイントカム組み合わせ例

連続ポイントカムは、L、M、Rの3種類があります。組み合わせにより、編み込み幅を24針、48針、72針、の3段階に増大させることができます。

※連続ポイントカムL、M、Rは接続せず、単独で使うことはできません。

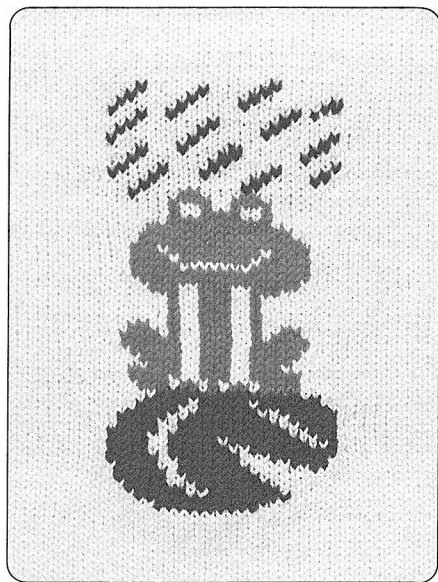


★24針分(ワンポイント模様)

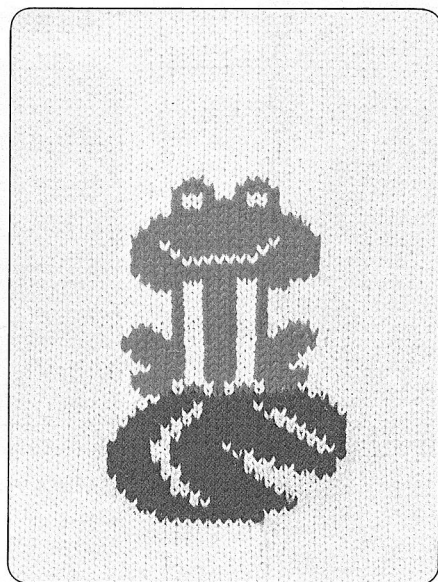


◎(ロ)(ハ)(ニ)の編地は、パンチカードの★印の位置でワンポイント模様と平編の操作とを切り替えた応用例です。

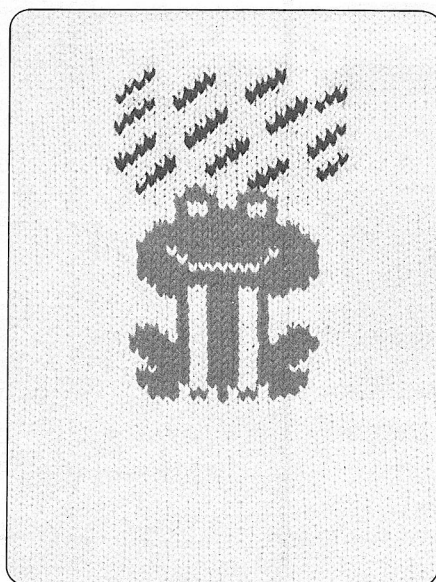
※24針分の場合はワンポイントカム24を使っても同じ編み方になります。



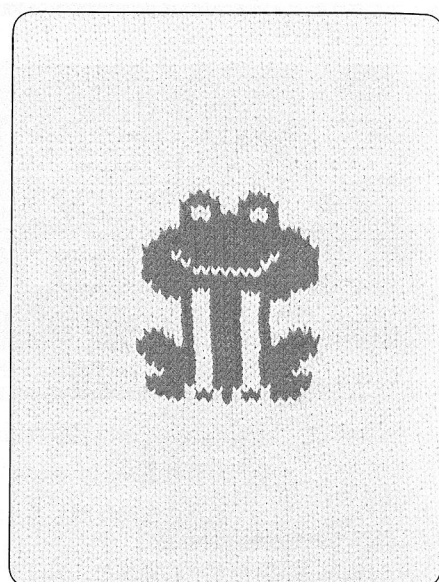
(イ)



(ロ)



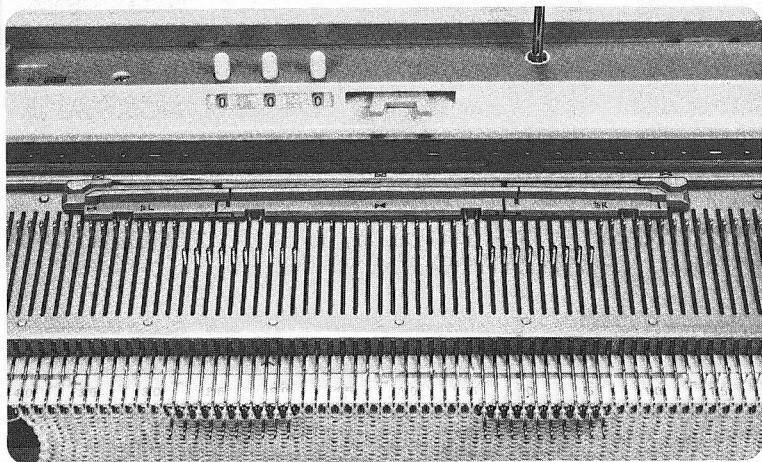
(ハ)



(ニ)

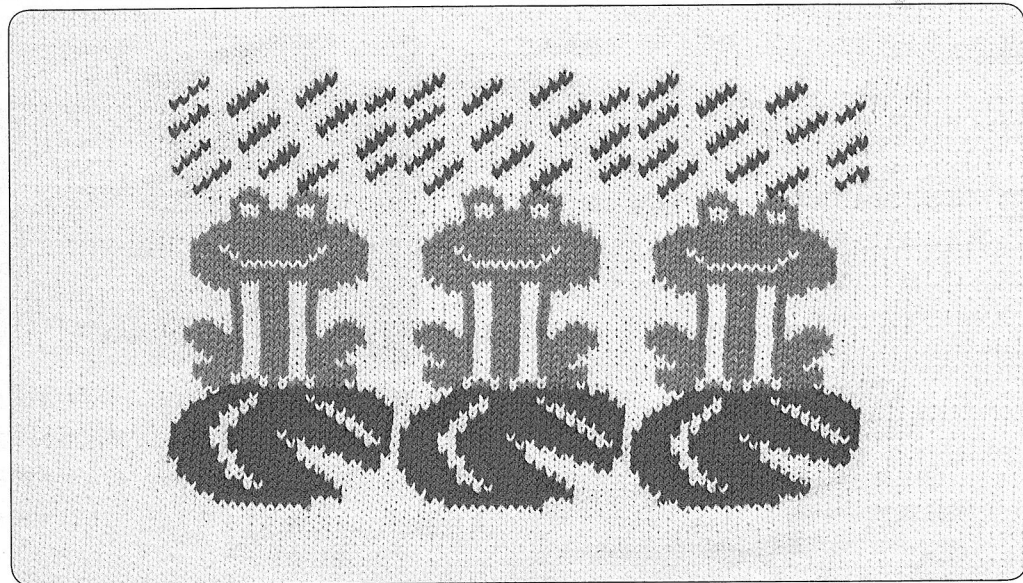
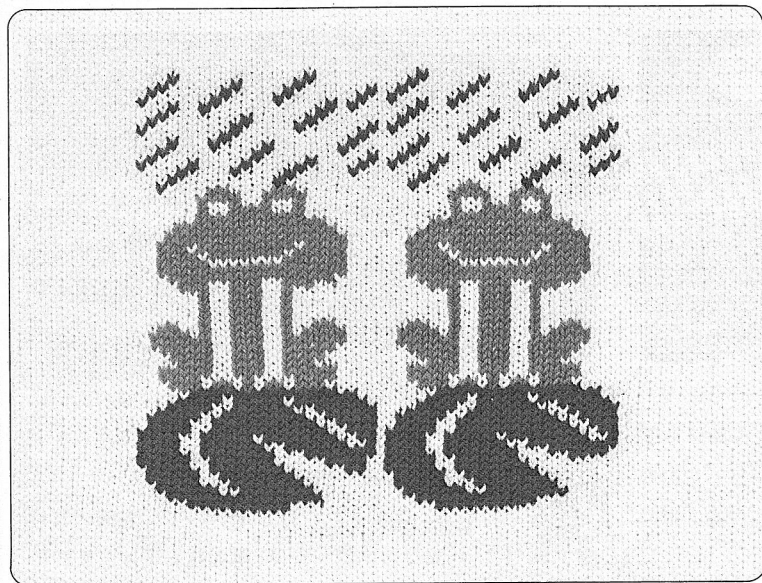
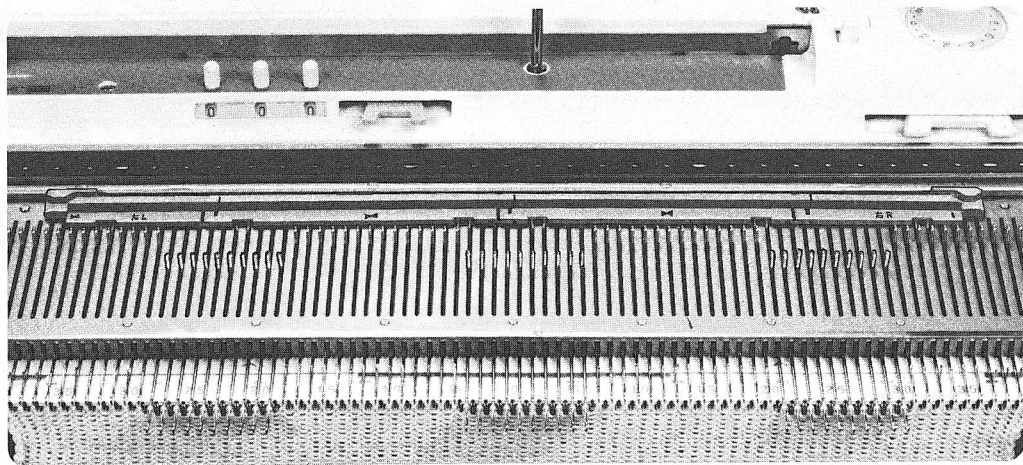
★48針分(2連続模様)

連続ポイントカムL + 連続ポイントカムM + 連続ポイントカムR



★72針分(3連続模様)

連続ポイントカムL + 連続ポイントカムM + 連続ポイントカムM + 連続ポイントカムR



◆準備と編み方

ここでは、ワンポイントカム24を使用し、(イ)の編地を例に説明しますが、連続ポイントカムを使用するときも同じ操作をしてください。

地糸、配色糸の他に地糸より細い別糸（地糸と同じ色の編糸）を2本、または、透明糸（ナイロン糸）2本を各50センチほどずつ用意してください

1 平編を20段ほど編み、キャリアジを左側に置きます。

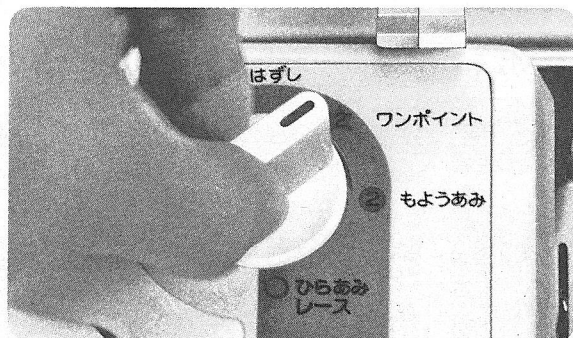
2 No.15Hのパンチカードをセットして、スタート位置に合わせストップレバーを〈とまる〉にします。

7 キャリジのカムボタン〈同時あみ〉を押します。

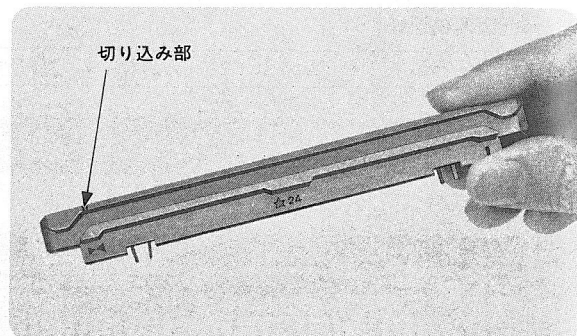
8 ストップレバーを〈まわる〉にします。

9 同時編込模様を編むときと同じ要領で配色糸を糸取装置に通し、色糸口に通します。

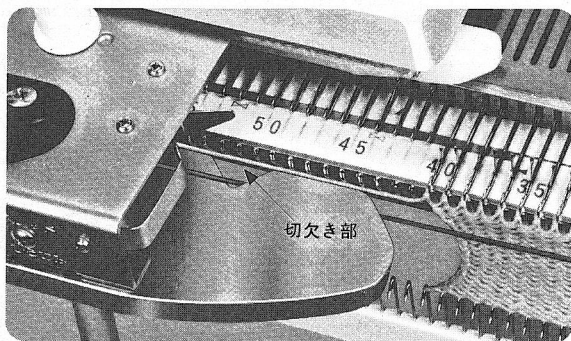
※色糸口に通した配色糸の糸端は、編み始めるまでは離さずにつまんでいてください。



3 選針切替ツマミを〈ワンポイント〉に合わせます。

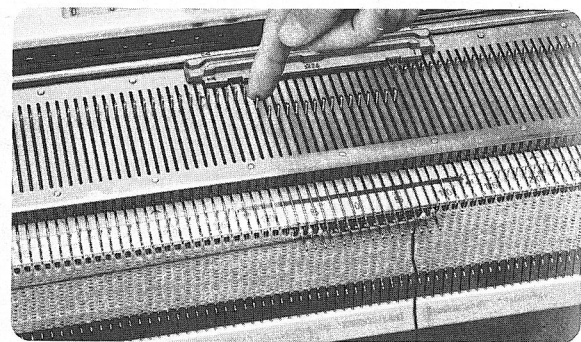


4 ワンポイントカム24を☆24マークが手前になるように持ち、そのままカムの左側（☒マーク側）にある切り込み部を、後レールの☒マークに合わせてセットする位置をきめます。



10 そのまま1段編み、キャリアジを左側でとめます。

※次の段からは配色糸が編地押エの切欠き部から下側に通るのを確かめ、編糸の糸たるみをなくしてから編んでください。もしはずれたときは下側に直し直します。



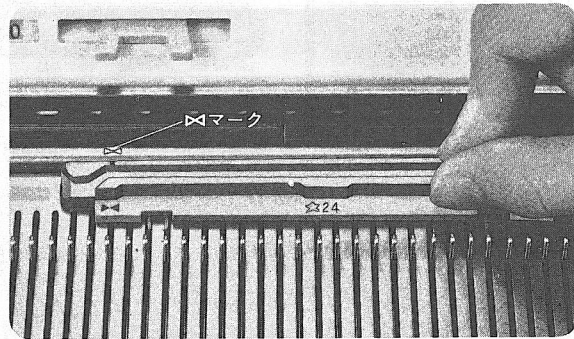
11 以後、キャリアジのある側で、次の要領で模様の両側に穴があかないように別糸をかけながら編み進みます。

① キャリジが左側に来たときは……

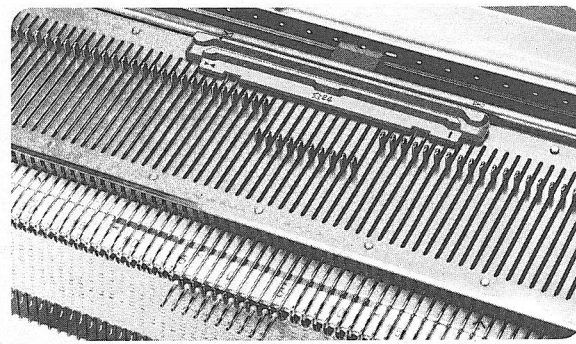
用意した別糸を、選針されている端針のすぐ左隣のB位置の編針に、外側から内側へかけ、指で軽く下に引きます。



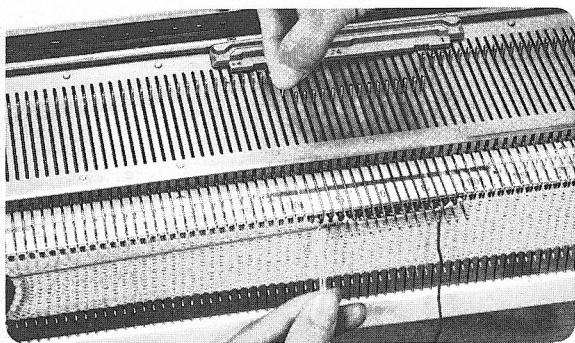
5 次にカム裏面の爪をミゾ板のミゾにはめ、カムの後側を少し浮かせながら後レール側（後レール手前のピンがかくれるまで）へ平行に正しく押し付けて固定します。



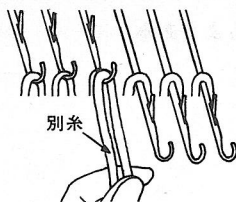
※正確にはまっていないと、カムがとびだしたり、カムを痛めることにもなりますので注意してください。



6 キャリジを右側へゆっくり動かすと、カムをセットした模様の部分だけが選針されます。



2 キャリジが右側へきたときは……
 キャリジが左側へきたときと同じ要領で操作しますが、右側端針の右隣の編針B位置の編針にもう1本の別糸をかけてください。



3 2段目以降は……

2段目からは1段目にかけての別糸を外側から巻きつけるようにしてかけてゆきます。

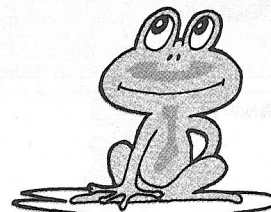
12 カード左側の★印でいま編んできた配色糸を糸取装置・色糸口よりはずし、これから編む配色糸と入れ替えて編みます。

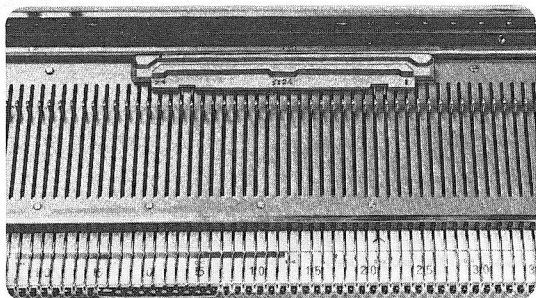
13 パンチカードのスタートラインが、カード差込口のスタート位置に戻ったら、配色糸とワンポイントカム24をはずし、平編の操作に切り替えて編みます。

※同時編込模様のパンチカードを使用するときは、編み込みたい部分が編まれたところで平編の操作に切り替えます。

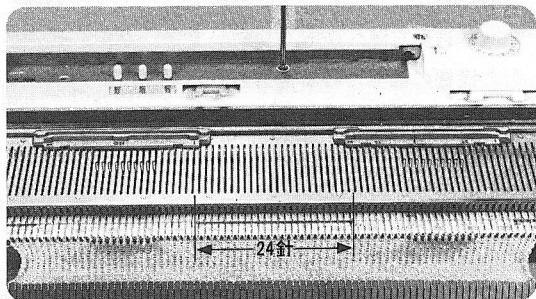
知識メモ

※ワンポイント模様は、配色糸が一部分の編地だけに編み込まれますので、そのままでは、模様のある側に穴があいた状態になってしまいます。美しい模様を編むために、毎段キャリジのある側に別糸（または透明糸）をかけて編みます。





●パンチカードの模様によってはワンポイントカムを選針マークからずらして編めば変化に富んだ模様が楽しめます。



●2ポイント模様を編むときは……

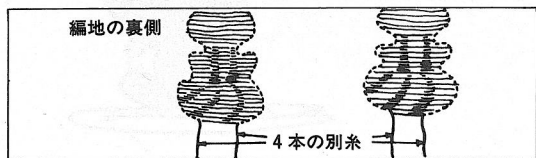
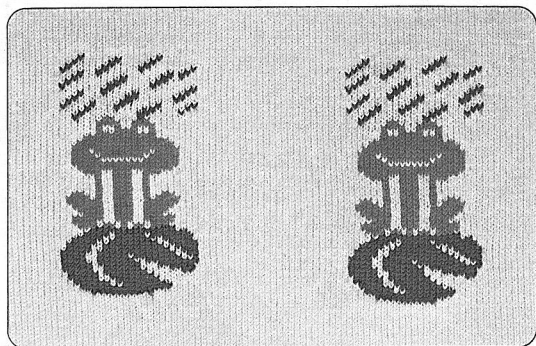
☆ワンポイントカム24と連続ポイントカム(L, R)の2つを同時に使います。

※2つのカムは、後レールの×マークに合わせ、24針分の間をあけて使用します。

☆別糸を4本用意します。

左下図は、2ポイント模様の編地の裏側をあらわしたものです。

模様の両側に穴があかないように別糸をかけますが、ワンポイント模様の要領で模様の両側に1本ずつ、計4本の別糸をかけます。



間欠送り模様

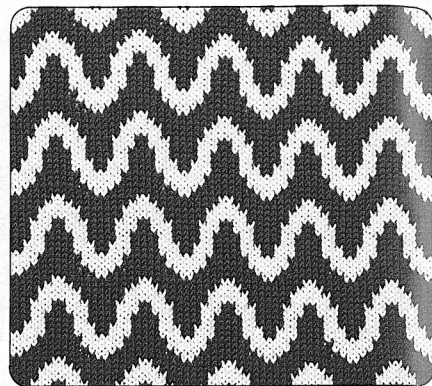
利用できるカード

同時編込模様と同じです。

間欠送り模様は、模様を縦方向に2倍の大きさにのびず編み方です。

※同時編込模様、ワンポイント模様に応用できます。

<普通の編み方>

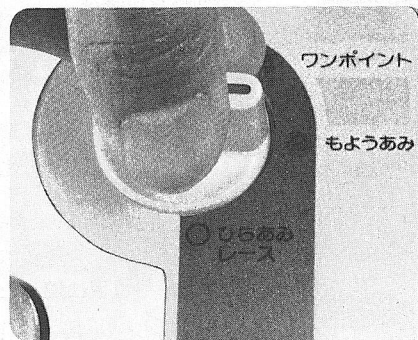


〔カードNo.13H〕

糸……中細

1模様24目14段

編目ダイヤル……5

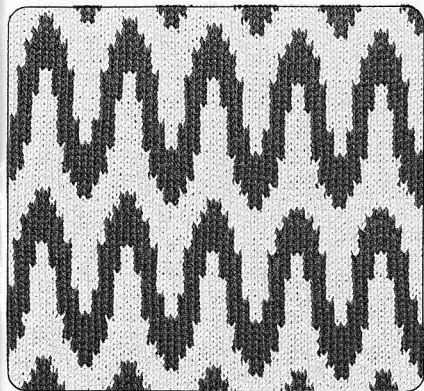


4 キャリジを左側へゆっくり操作すると、編針が選針されます。

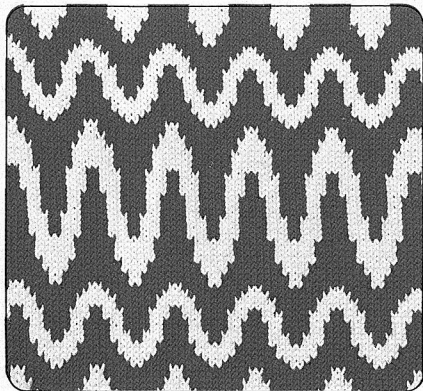
5 カムボタンの<同時あみ>を押します。

3 選針切替ツマミを<もようあみ>に合わせます。

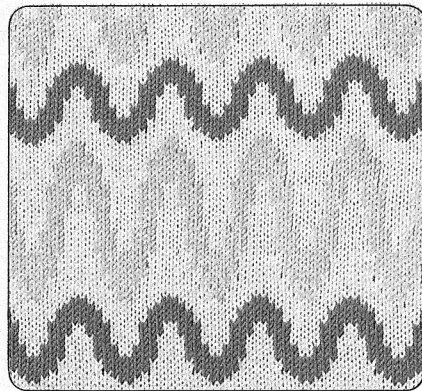
〈間欠送りをを使った編み方〉



〈間欠送りを部分的に使った編み方〉



〈間欠送りを部分的に使って色を変えた編み方〉

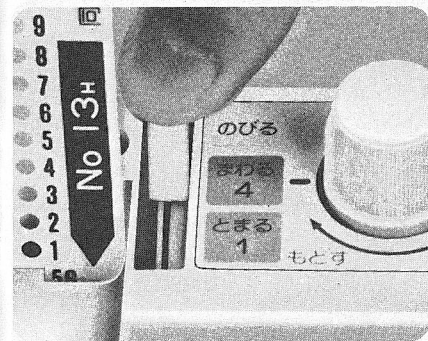


〔カードNo.13H〕

糸……中細
1 模様24目28段
編目ダイヤル……5

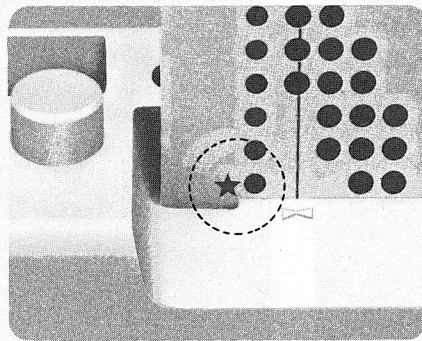
同時編込模様を例として編んでみましょう。

- 1 平編を10段ほど編んでキャリジを右側に置きます。
- 2 パンチカードをセットし、スタート位置に合わせてストップレバーを〈とまる〉にします。



- 6 ストップレバーを〈のびる〉に合わせます。

- 7 配色糸を糸取装置に通し、色糸口に通します。次に通された配色糸の糸端を指でつまみ、軽く真下に引くようにしながらキャリジを操作し編み始めます。



☆間欠送りを部分的に使うときは、パンチカード左側の★印の位置（キャリジが左側にあるとき）でストップレバーを〈のびる〉⇄〈とまる〉に交互に切り替えて編みます。

※ストップレバーを〈のびる〉に合わせるとカードはキャリジを右から左へ操作したときのみ1段送られます。

レース模様とタックレース模様

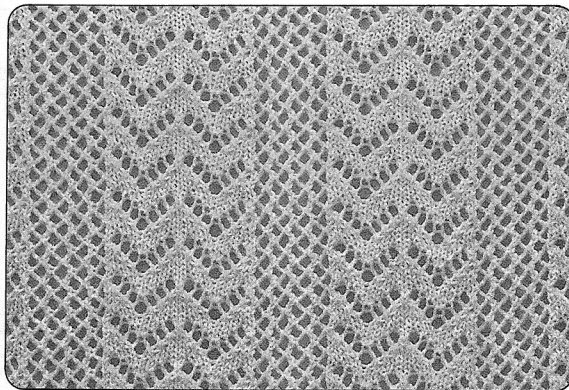
利用できるカード

レース模様はNo.16H～No.20H

タックレース模様はNo.16H, 17H, 19H, 20H

Lキャリジとキャリジを使って編みます。

《レース模様》



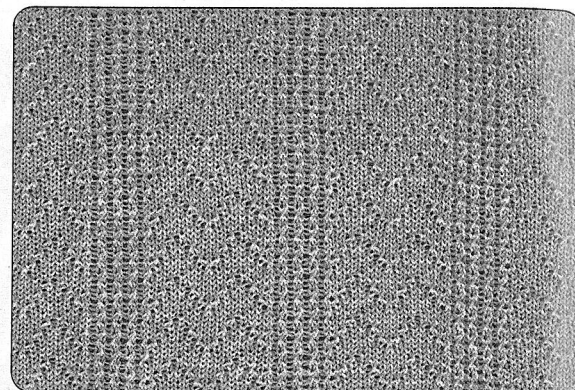
〔カードNo.16H〕

糸……中細

1 模様24目 8 段

編目ダイヤル…… 5

《タックレース模様》



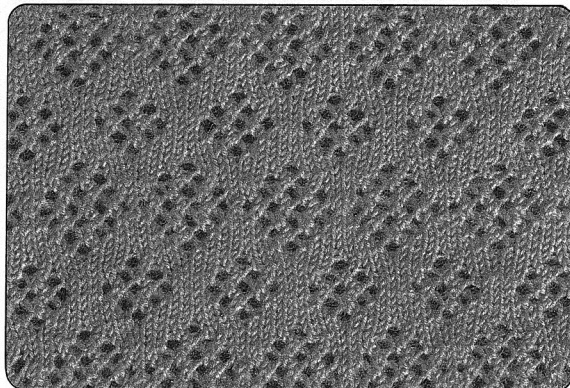
〔カードNo.16H〕

糸……合細

1 模様24目 8 段

編目ダイヤル…… 5

《レース模様》



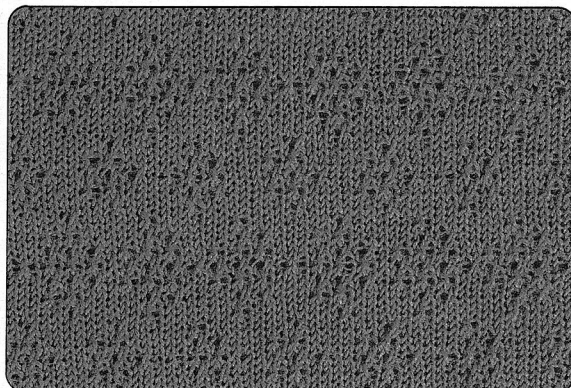
〔カードNo.19H〕

糸……中細

1 模様24目 48段

編目ダイヤル…… 5

《タックレース模様》



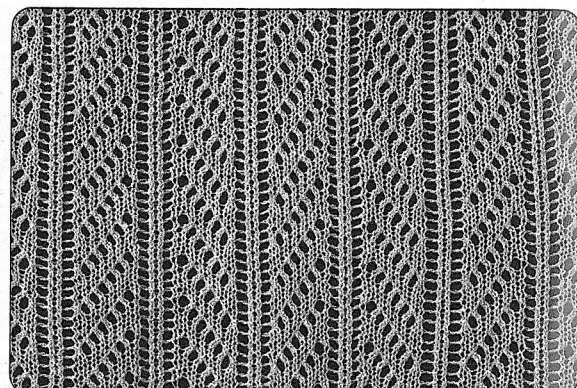
〔カードNo.19H〕

糸……合細

1 模様24目 48段

編目ダイヤル…… 5

《レース模様》



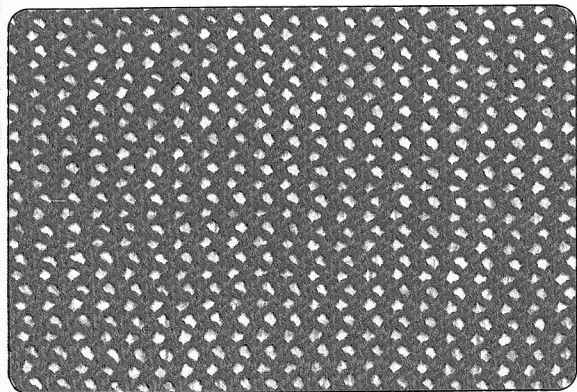
〔カードNo.20H〕

糸……中細

1 模様24目 24段

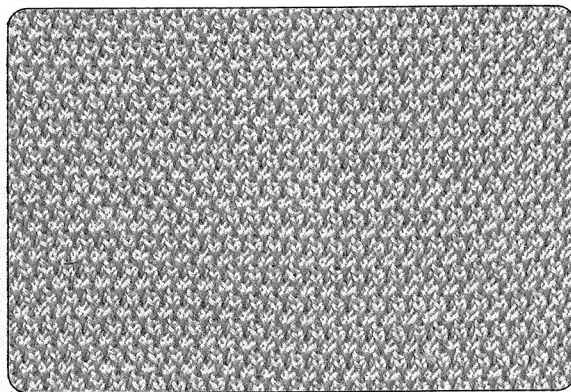
編目ダイヤル…… 5

《レース模様》



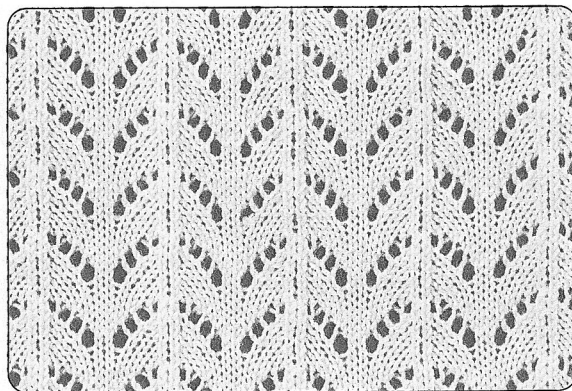
〔カードNo.17H〕
糸……中細
1 模様2目4段
編目ダイヤル……5

《タックレース模様》



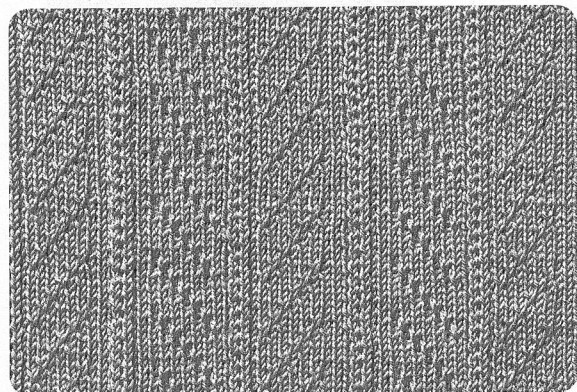
〔カードNo.17H〕
糸……合細
1 模様2目4段
編目ダイヤル……5

《レース模様》

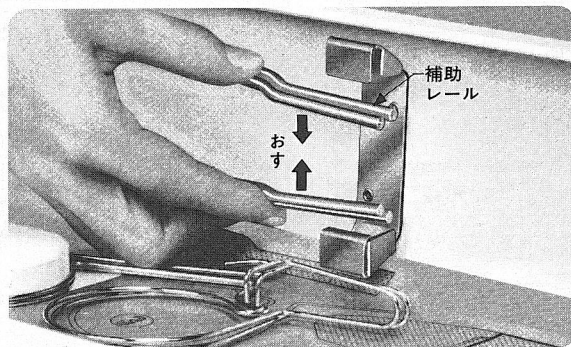


〔カードNo.18H〕
糸……中細
1 模様12目8段
編目ダイヤル……5

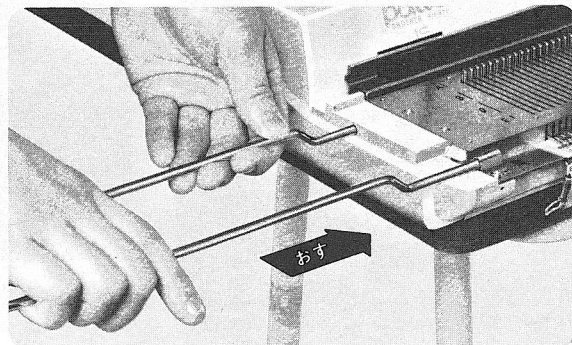
《タックレース模様》



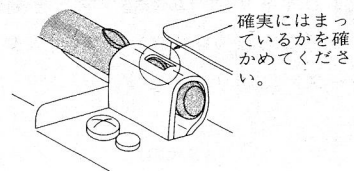
〔カードNo.20H〕
糸……合細
1 模様24目24段
編目ダイヤル……5

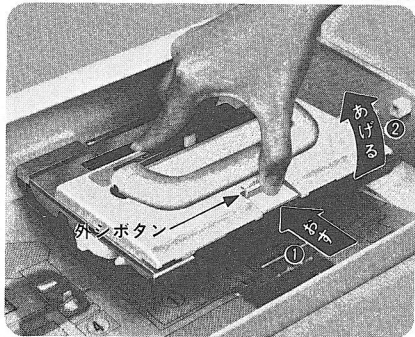


1 補助レール2本をケースから取り出します。

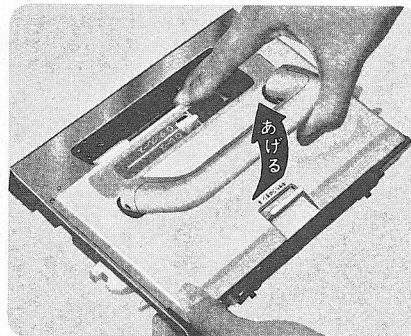


2 本体両端の補助レール取付部に、曲がった方を下側にして横から左右の取付用の穴に差し込みます。

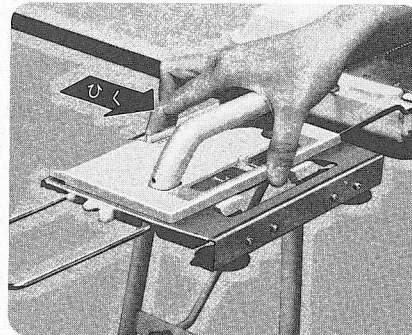




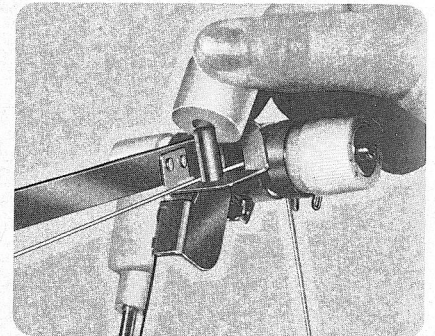
3 ケースに納めてあるLキャリジを、外シボタンを矢印の方向に押し取り出します。



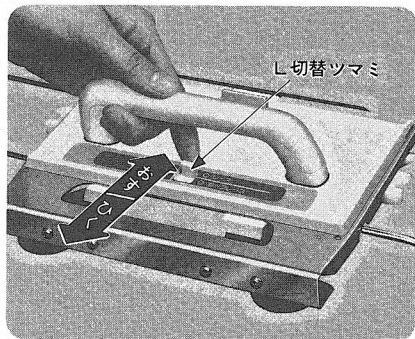
4 ハンドルを矢印の方向に引き上げて起します。



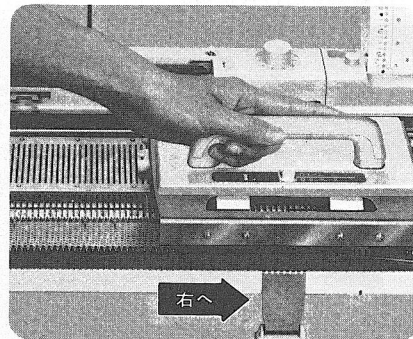
5 Lキャリジのゴム車側を手前に向けて、外シボタンを必ず手前に引き、左側の補助レールの上に正しくのせます。
※正しくのっていないと、ミゾ板に滑り込ませることができません。



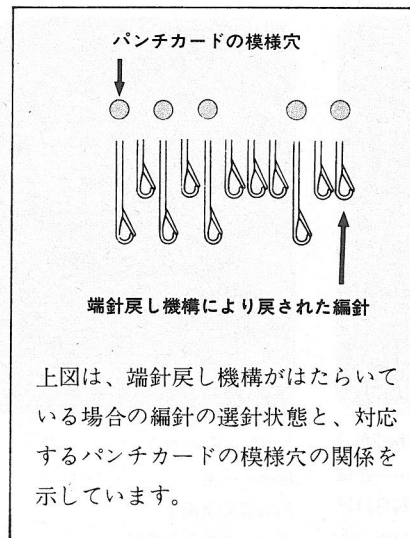
6 パラフィンパラフィンケースから取り出し、糸取装置のワックス立てのピンにはめます。
※レース模様・タックレース模様の場合は、編糸のすべりをよくするため、必



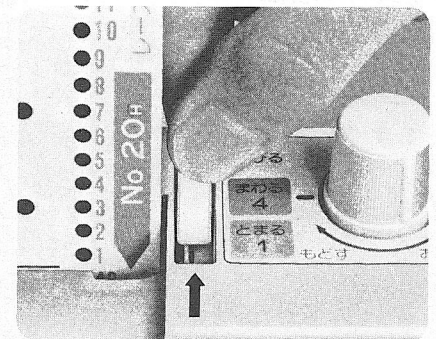
11 LキャリジのL切替ツマミを編む模様に応じ〈レース〉または、〈タックレース〉に切り替えます。



12 Lキャリジを補助レールからミゾ板に滑り込ませ、そのまま右側へゆっくり操作すると、編針が選針されます。
※編地の端目を保つため両端の編針は端針戻し機構によりB位置に戻されています。



上図は、端針戻し機構がはたらいっている場合の編針の選針状態と、対応するパンチカードの模様穴の関係を示しています。



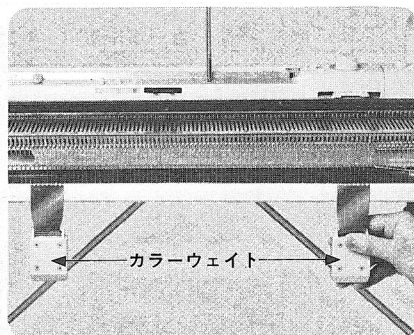
13 ストップレバーを〈まわる〉にします。

- 7 編目ダイヤルを、使用する編糸に応じ、下の表の目盛に合わせます。

使用糸	ダイヤル標準目盛
極細毛糸	4 ~ 5
合細毛糸	4 ~ 5
綿・化繊レース	4 ~ 5
中細毛糸	5 ~ 6

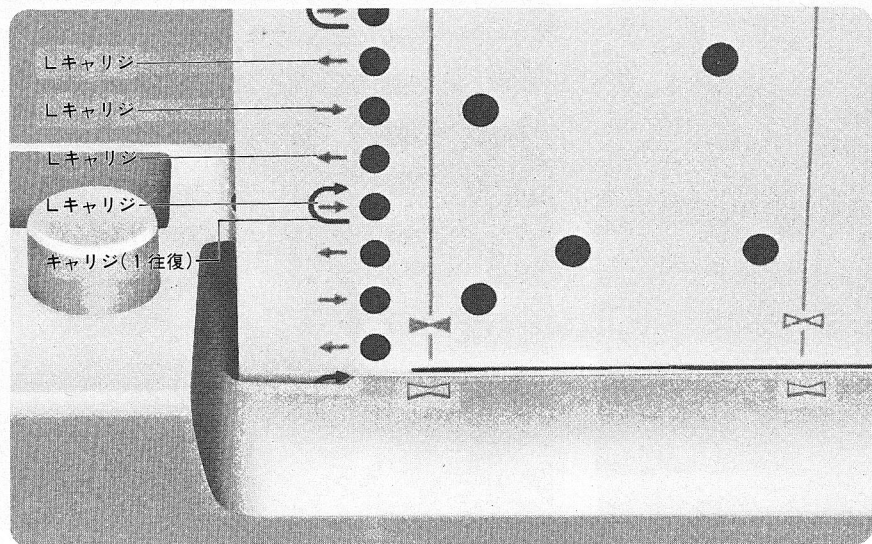
ず使用してください。
※パラフィン糸は編糸の上になるようにします。

- 8 選針切替ツマミをくひらあみ・レースのままで、平編を10段ほど編み、キャリジを右側に置きます。



- 9 カラーウェイトをかけます。編地の両端付近の編出しに平均にかけます。
※レース模様・タックレース模様の場合は必ずカラーウェイトをかけてください。

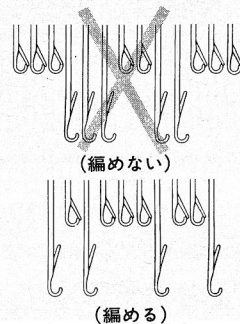
- 10 パンチカードをセットしてスタート位置に合わせ、ストップレバーをくまるとにします。



- 14 パンチカードの赤い矢印(→)はLキャリジを操作する方向を示し、青い矢印⇄はキャリジを1往復(2段編む)することを示します。カードの矢印に従って、Lキャリジとキャリジを操作して編みます。
※Eマークのときは、キャリジを先に2段編んでからLキャリジを操作します。
※編み進んで編地が長くなったら、編出しからカラーウェイトをはずし、直接編地の両端にかけ直してください。

知識メモ

レース模様・タックレース模様の場合は、編針が2本以上並んで選針されると編めません。



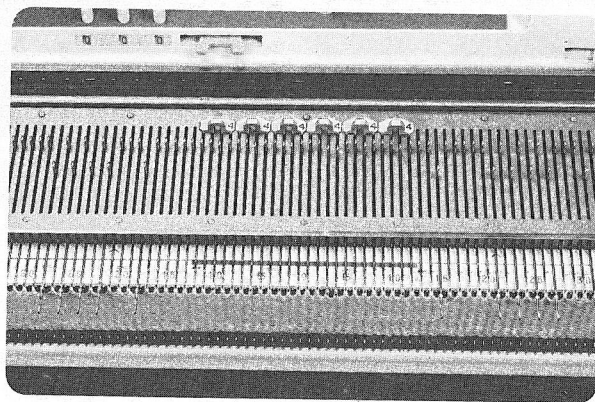
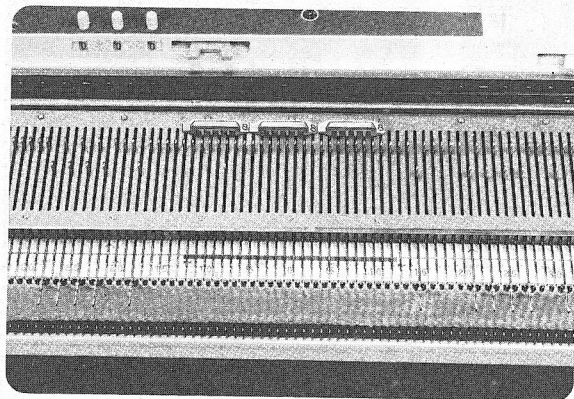
◆Lポイントカムを使ったレース模様とタックレース模様を編む場合

☆Lポイントカムを使うと、レース模様・タックレース模様などの模様の一部が消え、レース模様と平編とをミックスした新しい感覚の模様を編むことができます。

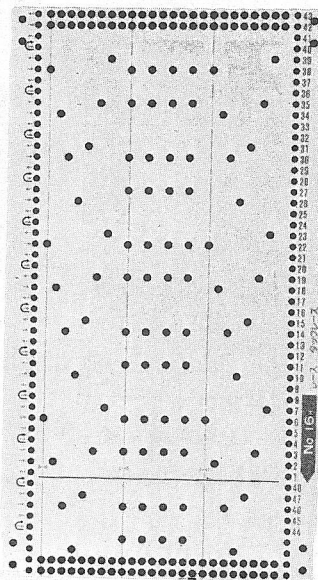
◆Lポイントカムの使い方

- Lポイントカムは、4(4針用)と8(8針用)の2種類があります。
- Lポイントカムが置かれている部分の編針は選針されず、その部分のレース模様が消え平編が編まれます。
- Lポイントカムを使用するときはNo.16H～No.20Hのカードが利用できますが、特にNo.16HのカードはLポイントカム8を使うときに最適です。
- Lポイントカムは、消したい部分の幅に応じて、1コだけの使用はもちろん、4針用・8針用を自由にセットすることができます。

※Lポイントカムは、キャリジを使ったワンポイント模様などには使用することができませんので、編み終わった後は、はずしておいてください。



パンチカードNo.16H



Lポイントカム

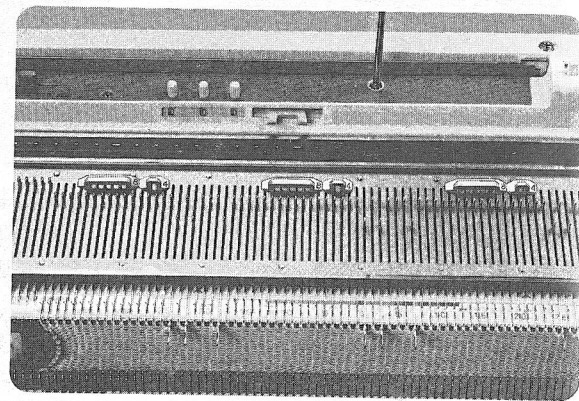
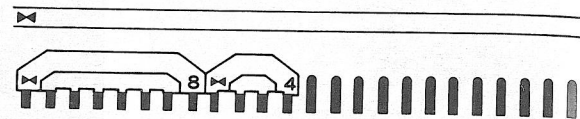
4針用



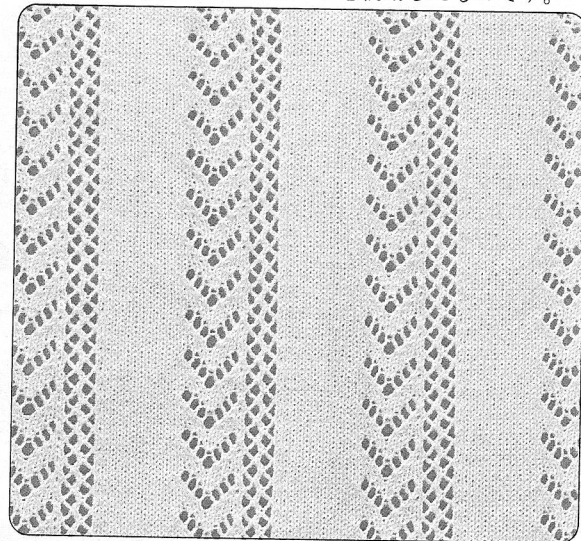
8針用



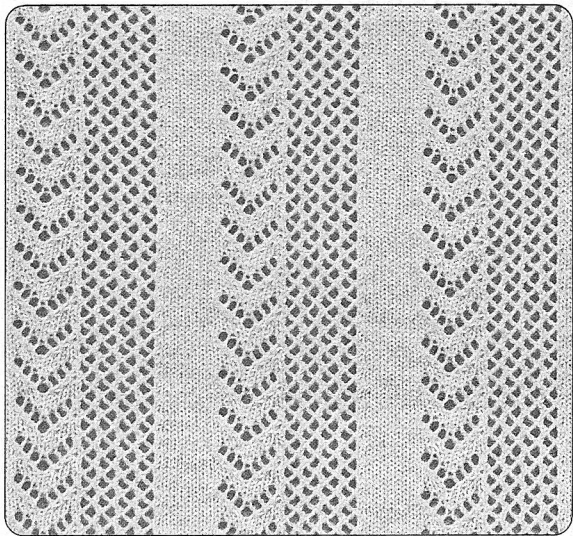
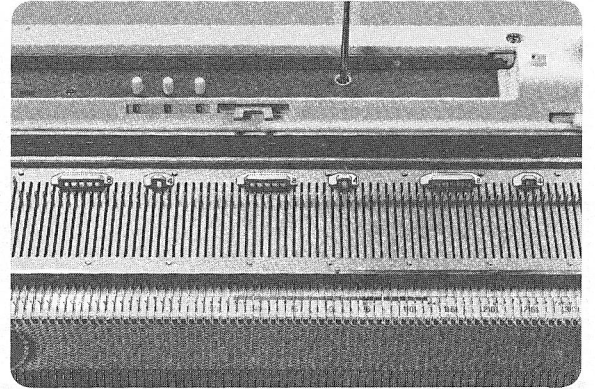
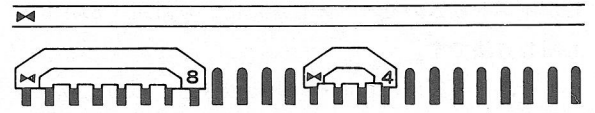
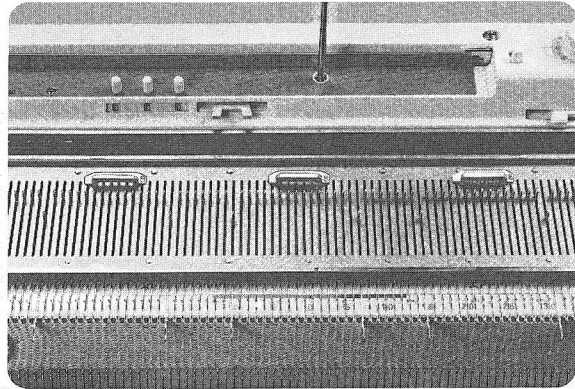
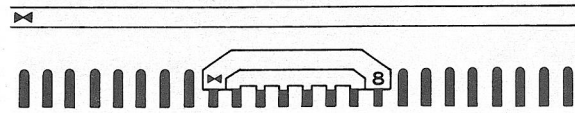
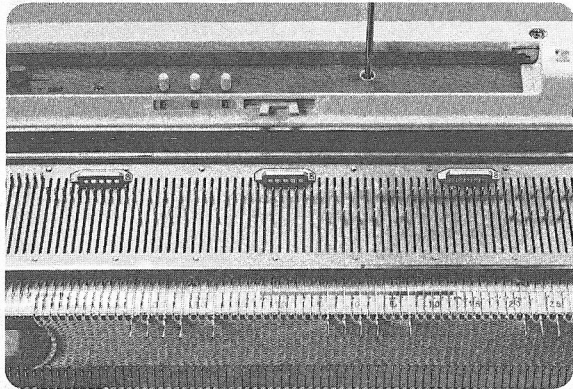
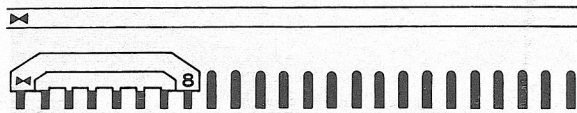
◆Lポイントカムのセット例



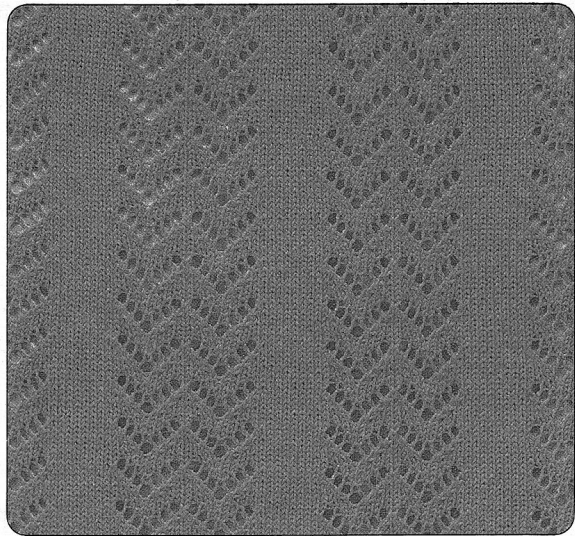
編地は、No.16Hのパンチカードを使用したものです。



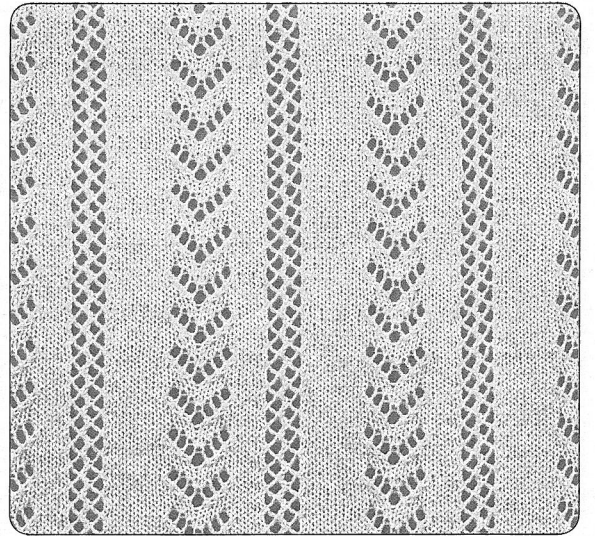
(イ)



(口)



(ハ)



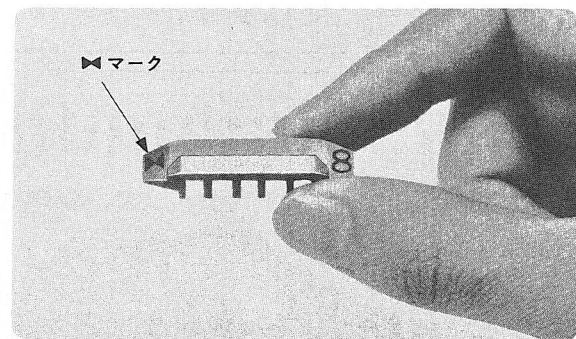
(二)

準備と編み方

Lポイントカムのセットのしかたは、4針用・8針用とも同じ方法です。

ここでは、8針用のLポイントカム8と、No16_Hのパンチカードを使用して41ページの(口)を編んでみます。

- 1 レース模様又は、タックレース模様を編むときと同じように編機の準備をします。
- 2 模様を消したい部分の位置を決めます。



- 3 Lポイントカム8の爪部を下にして、マークが左側になるように持ちます。

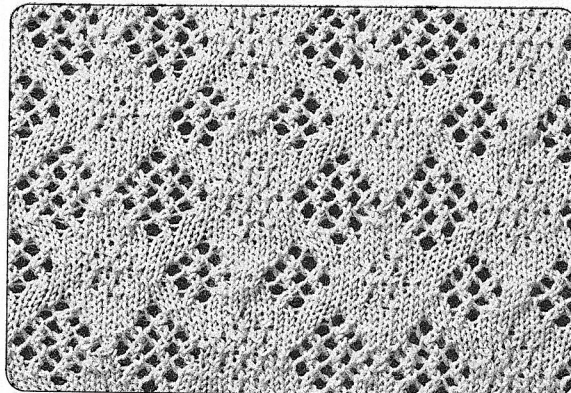
レース・タックレース混合模様

利用できるカード

No19_H

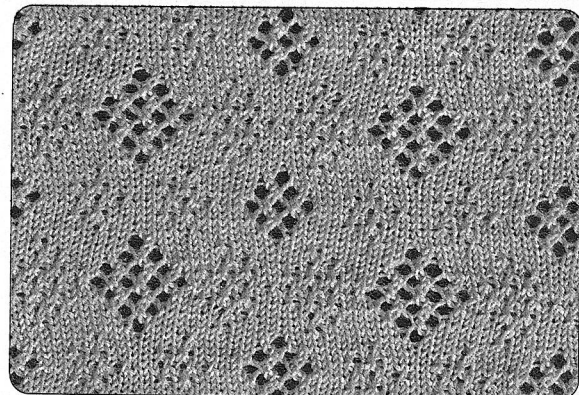
編み方は、レース模様、タックレース模様の操作と同じですが、カードの矢印に従い、L切替ツマミを〈レース〉・〈タックレース〉に切り替えながら編みます。

〈レースからスタート〉

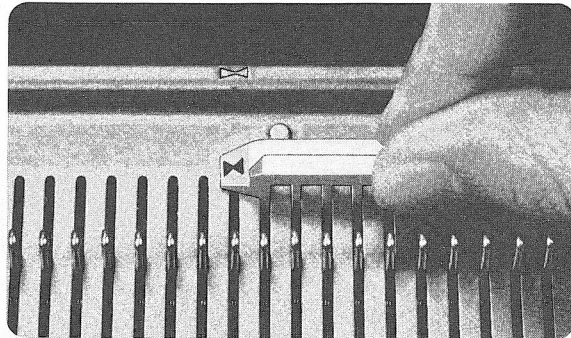
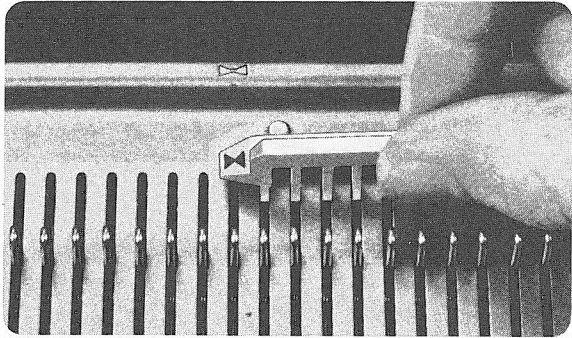


糸……合細
1 模様24目48段
編目ダイヤル……5

〈タックレースからスタート〉



糸……合細
1 模様24目48段
編目ダイヤル……5



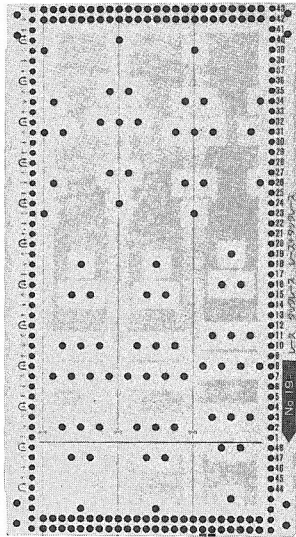
4 Lポイントカム8の▶マークを後レールの⊗マークに合わせ、そのままLポイントカムの爪部をミゾ板のミゾにはめ込み、後レール側いっぱい押し付けます。

※Lポイントカムの▶マークと後レールの⊗マークを合わせずにずらしてセットするという編み方もできます。

5 Lポイントカムのセットが終わった後は、レース模様などを編むときと同じ要領で編み進みます。

※Lポイントカムを使ってレース模様・タックレース模様を編むときは、Lキャリアジをゆっくり操作してください。

◆パンチカードNo.19H



◆レースからスタートの場合

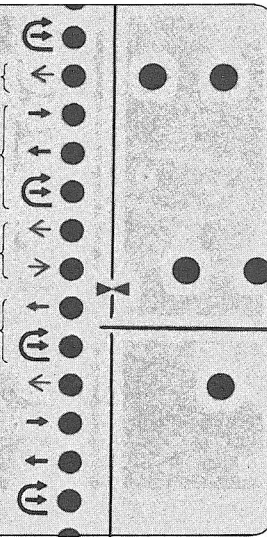
太い矢印の位置で
〈レース〉に合わせ
て編みます。

タックレース1回 {
レース3回 {

細い矢印の位置で
〈タックレース〉に
合わせて編みます。

タックレース2回 {
レース2回 {

(回数はLキャリアジの操作回数を示します)



◆タックレースからスタートの場合

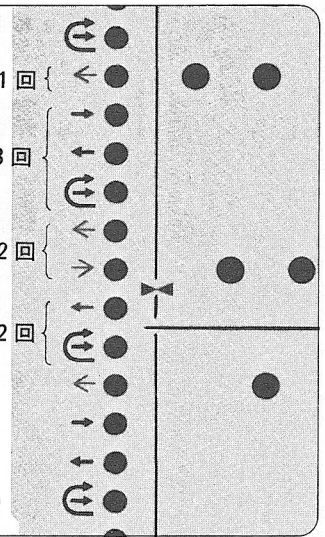
太い矢印の位置で
〈タックレース〉に
合わせて編みます。

レース1回 {
タックレース3回 {

細い矢印の位置で
〈レース〉に合わせ
て編みます。

レース2回 {
タックレース2回 {

(回数はLキャリアジの操作回数を示します)



※手順としては2.2.3.1回の周期を繰り返して編み進みます。タックレースの場合も同じです。

◆Lキャリジとキャリジの混合模様を針抜きで編む場合

1 Lキャリジとキャリジを本体からはずし、両方も裏返しにします。

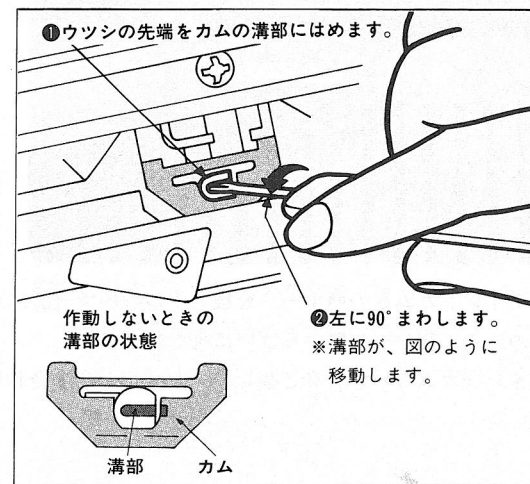
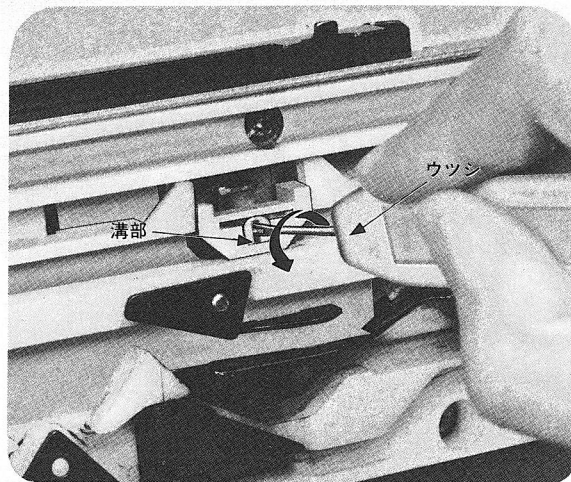
2 Lキャリジの端針戻し機構と、キャリジの端針選針機構を作動しないようにします。

※キャリジの端針選針機構を作動したり、または作動しないようにするには20ページを参照してください。

3 それぞれの、機構を作動しないようにしたらLキャリジとキャリジを本体に戻し、カードの指示に従って編み進みます。

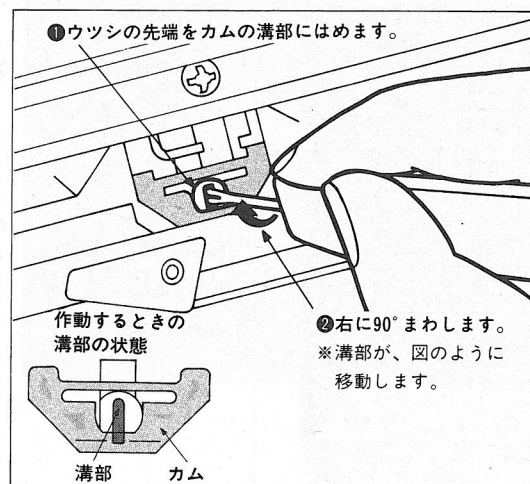
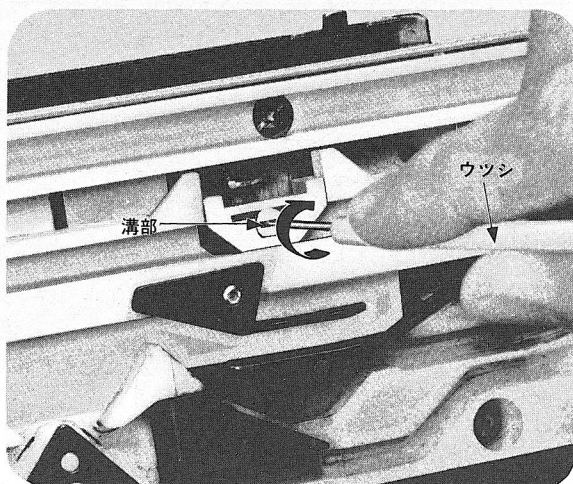
※編み終了後は、必ず両キャリジの機構を、左右とも、もとのように作動するようにしておきます。

Lキャリジの端針戻し機構を作動しないようにするには……



Lキャリジの端針戻し機構を作動するようにするには……

Lキャリジの端針戻し機構が作動していないあいだは、Lポイントカムによる部分消しはできません。



添え糸模様

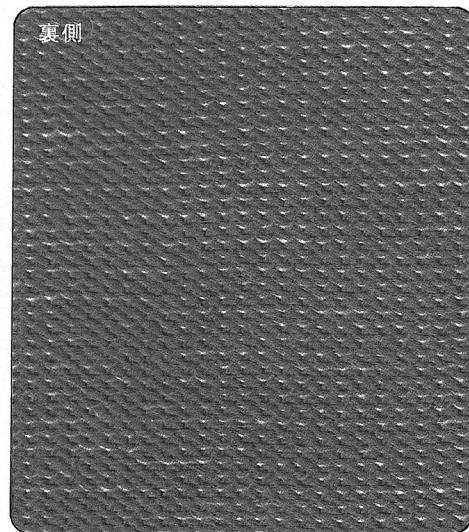
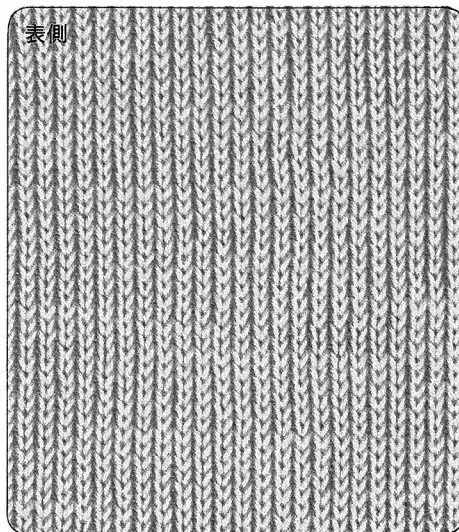
2本の編糸を同時に表裏に編み分ける編み方です。地糸口の編糸が表目側に、添え糸口の編糸が裏目側にあらわれます。

※添え糸・アーガイル用糸口を使用します。

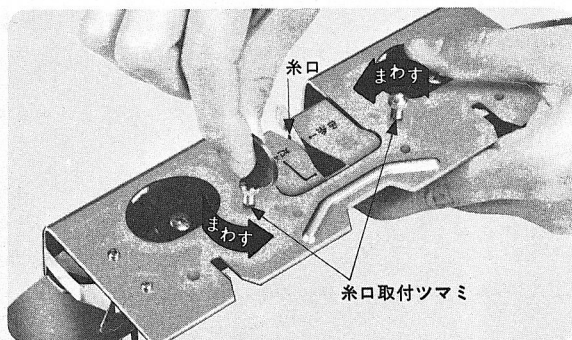
※キャリジは<ひらあみ>の状態で編みます。

地糸と添え糸の組合わせと編目ダイヤルは……

使用糸	ダイヤル標準目盛
合細と合細	8 ~ 9
合細と細	7 ~ 8
合細と極細	6 ~ 7
細と細	6 ~ 7
細と極細	5 ~ 6
極細と極細	4 ~ 5



地糸……合細
添え糸……合細
編目ダイヤル……8

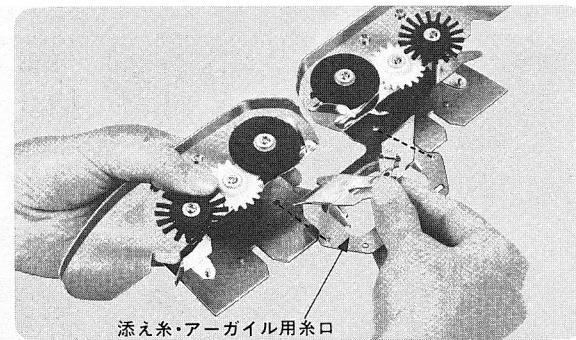


1 編地押エをキャリジからはずし、編地押エ上面の糸口取付ツマミをマイナスドライバーかコインでゆるめ、糸口をはずします。

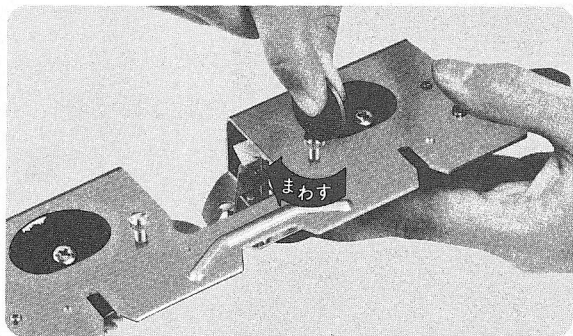
※糸口取付ツマミを紛失しないように注意してください。



2 部品箱から添え糸・アーガイル用糸口をとりだします。



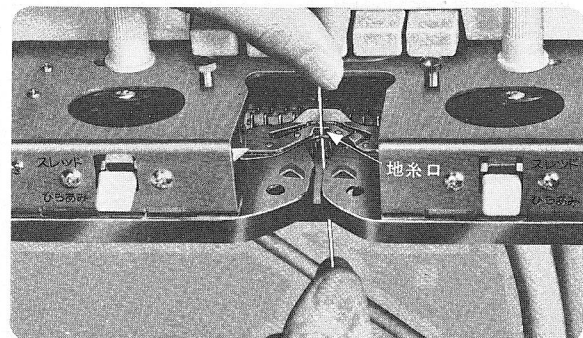
3 添え糸・アーガイル用糸口を写真のように合わせます。



4 2本の糸口取付ツマミを編地押エの上面の穴から差し込み、そのまま締付けます。

5 糸口の取り替えがすんだら、編地押エをキャリジに取りつけます。

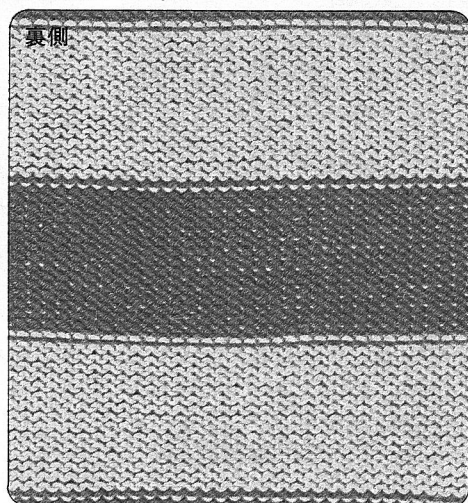
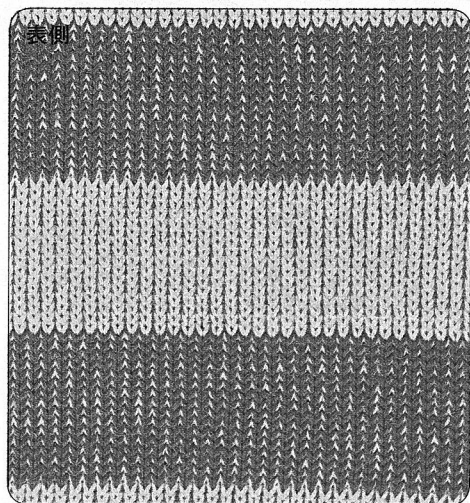
6 糸取装置に地糸と添え糸を通します。
 ※地糸は糸取装置の右側に、添え糸は左側に通します。



7 地糸を地糸口に入れて平編を10段ほど編み、キャリジを右側に置きます。

《地糸と添え糸を入れ替えて編んだ場合》

◆ 地糸・添え糸を入れ替えますと、下のような編地が編めます。

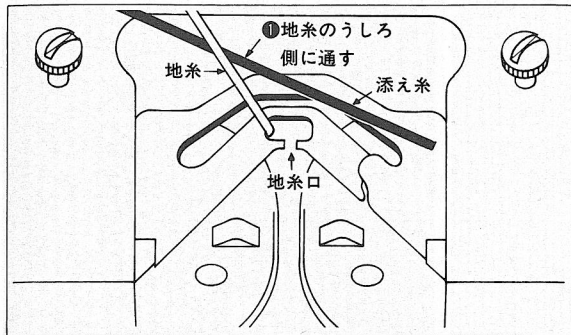


地糸……合細
 添え糸……合細
 編目ダイヤル……8

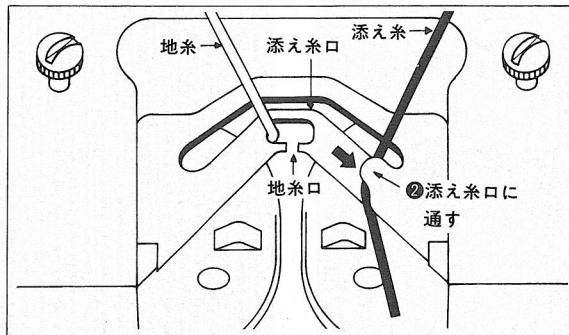
- 1 地糸を地糸口よりはずし、糸口より右側で休めます。
- 2 添え糸を添え糸口よりはずし、キャリジの左側で休めます。
- 3 休めていた地糸をはずし、添え糸口に通します。
- 4 添え糸を地糸口に入れます。

★入れ替えた地糸と添え糸を戻すときは

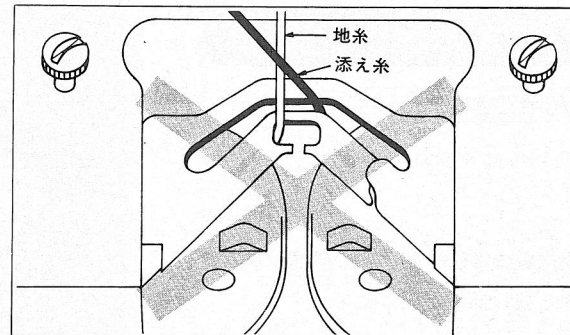
- 1 地糸を地糸口よりはずし、糸口より左側で休めます。
- 2 添え糸を添え糸口よりはずし、キャリジの右側で休めます。
- 3 休めていた地糸をはずし、添え糸口に通します。
- 4 添え糸を地糸口に入れます。



8 添え糸を地糸のうしろ側になるように通します。



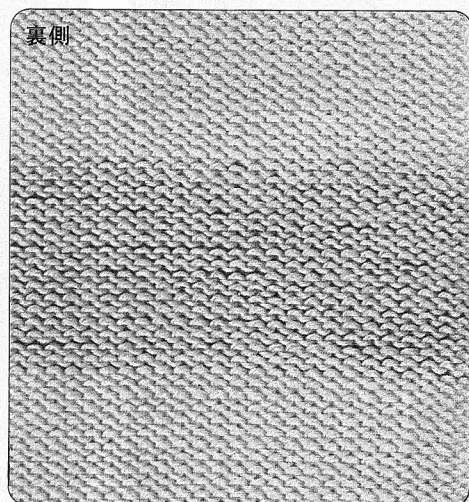
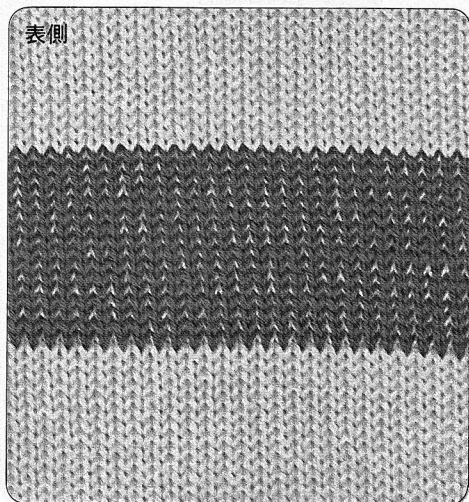
9 糸端を添え糸口に通します。



※添え糸を添え糸口に通すときは、地糸と添え糸を交差させないようにしてください。

《地糸だけを入れ替えて編んだ場合》

◆地糸だけを別の色の編糸と入れ替えますと、下のような編地が編めます。



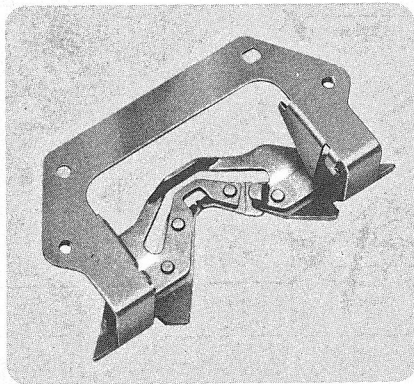
地糸……合細(2色)
 添え糸……合細
 編目ダイヤル……8

添え糸タック模様

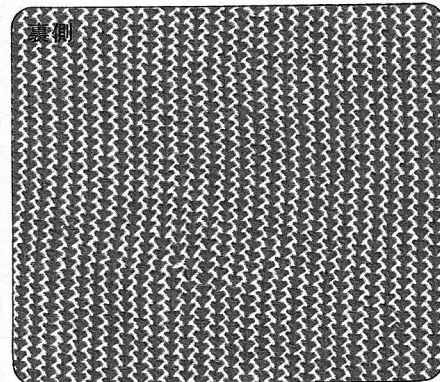
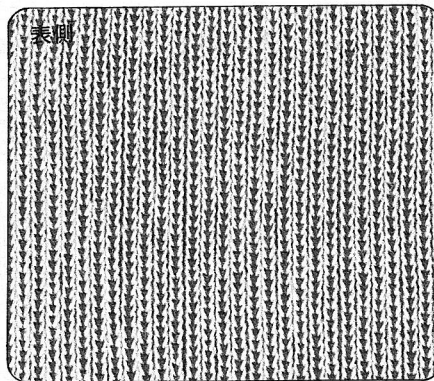
利用できるカード

No.1H, 3H, 8H

模様編の準備や編み方の手順はタック模様を編む操作と同じです。



添え糸・アーガイル用糸口に取り替えます。
編糸の通し方は添え糸模様と同じです。



【カードNo.1H】

地糸……細
添え糸……細
1模様2目2段
編目ダイヤル……6

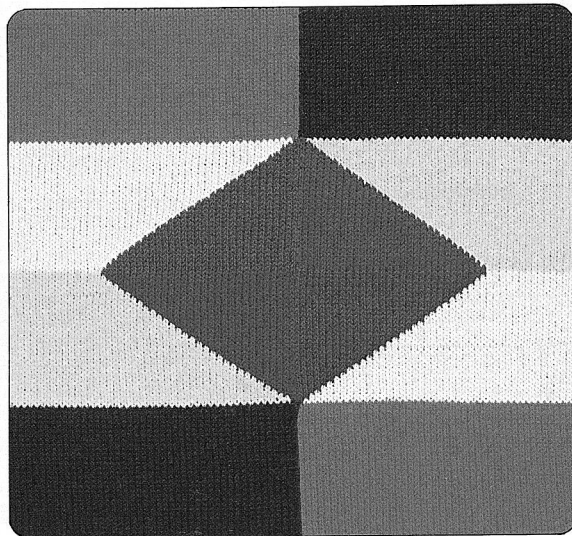
アーガイル模様

裏面に編糸を渡らせない編み方です。

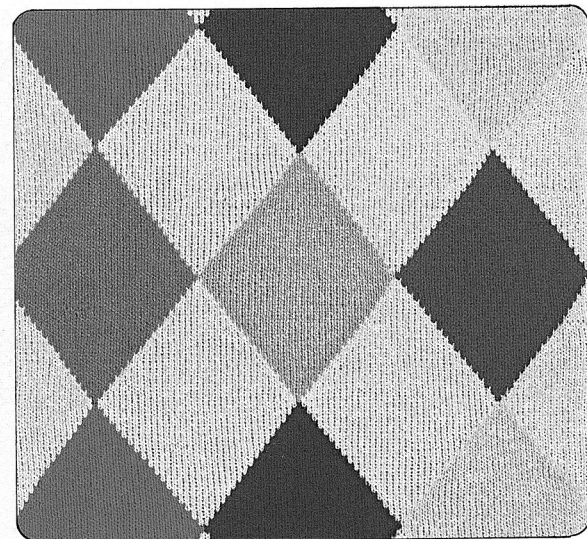
☆1段の間で何色でも編め、しかも変化のある模様を好みの大きさに編むことができます。

☆図案は、お好みにより自由にお決めください。楽しい図案を考えていろいろ編んでみましょう。

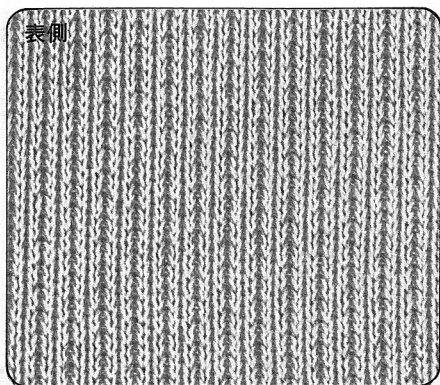
☆編糸の本数は、模様に関係なく、編糸を交換する回数分だけ用意します。



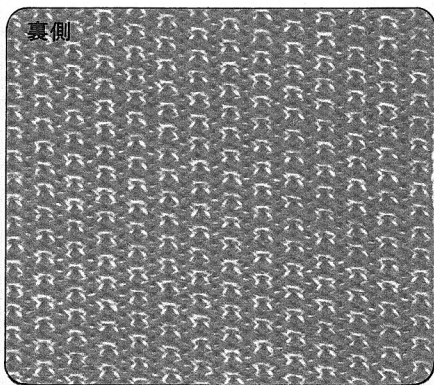
(イ)



(ロ)



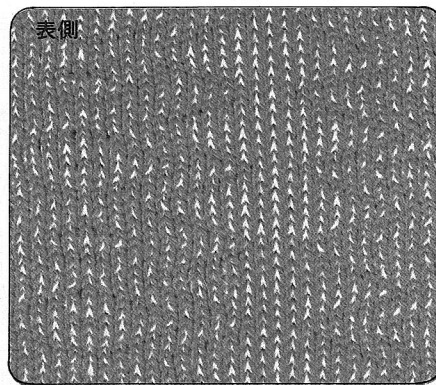
表側



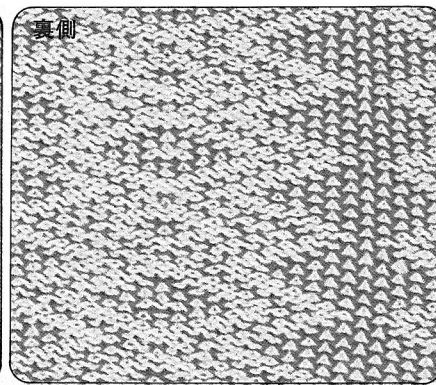
裏側

〔カードNo. 3H〕

地糸……細
添え糸……細
1模様4目4段
編目ダイヤル……6



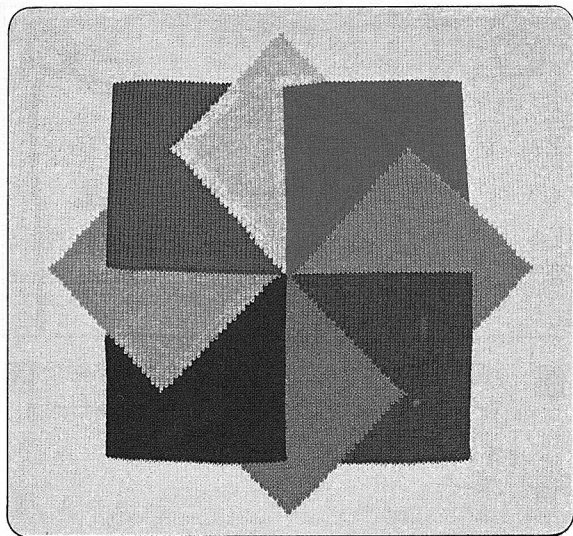
表側



裏側

〔カードNo. 8H〕

地糸……細
添え糸……細
1模様24目24段
編目ダイヤル……6



(ハ)

★編み方は編地写真(イ)を例として説明しましょう。

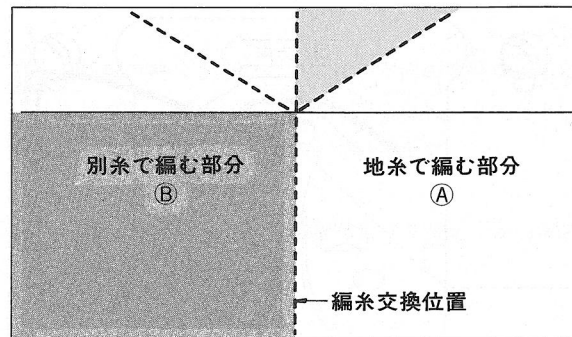
1 キャリジは平編の状態です糸口を添え糸・アーガイル用糸口に取り替えます。

(添え糸模様の準備と編み方参照)

2 平編を10段ほど編み、キャリジを右側におき、編糸を糸取装置からはずします。

別糸(色違いの編糸)と一諸に足元に揃えます。

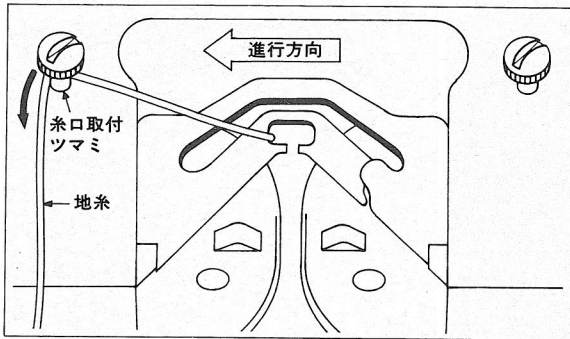
(地糸口には、地糸を通したままにしておきます。)



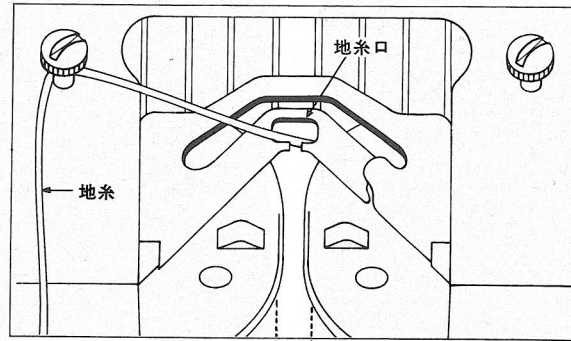
※(イ)の図案

上図の(A)の部分は地糸で編みます。(B)の部分は別糸で編みます。図の点線部分で地糸と別糸を切り替えます。

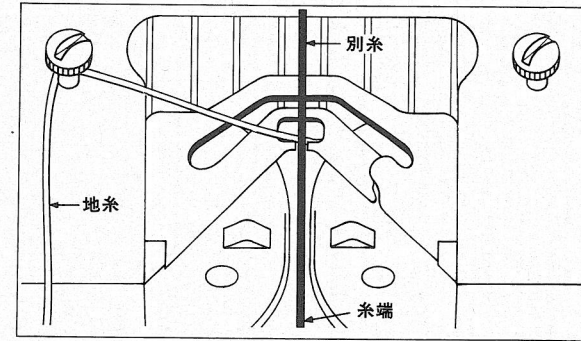
(編糸交換位置)



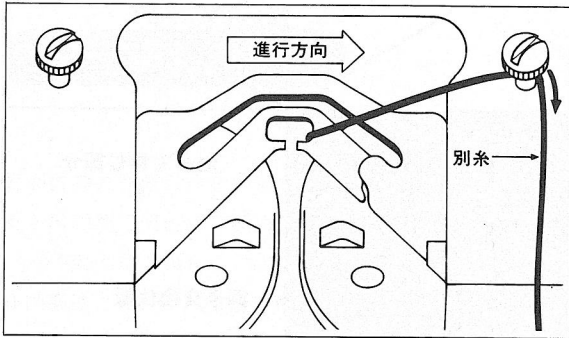
3 1段目の地糸を編地押エ上面にある左側（キャリジの進行側）の糸口取付ツマミにかけます。



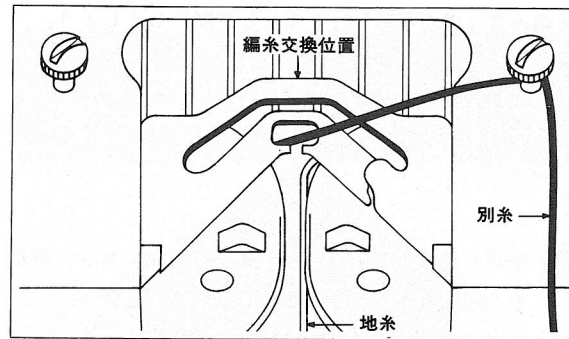
4 手前に軽く引き編糸交換位置まで編み、キャリジをとめます。



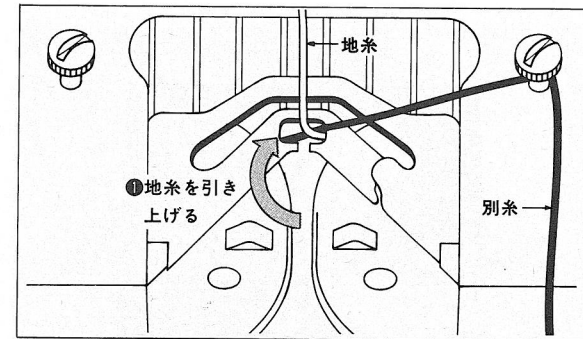
5 別糸を図のように地糸口に通します。



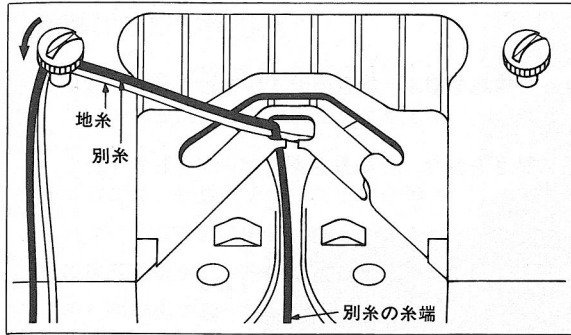
9 1段編み終わりましたら、別糸を右側（進行方向側）の取付ツマミにかけ直します。



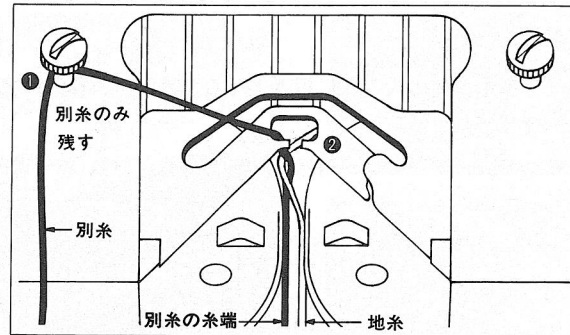
10 別糸を少し張らせるように軽くつまんで、編糸交換位置まで編みます。



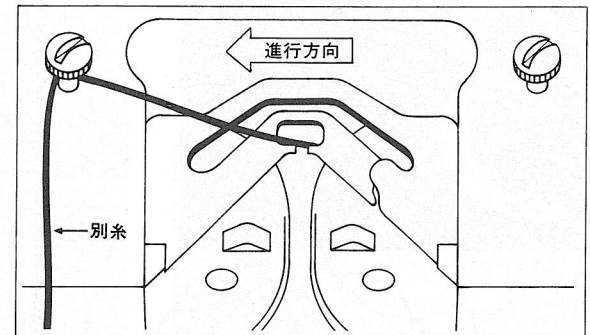
11 1段目に編んで垂らしてある地糸を、いま編んできた別糸の手前から引き上げ、そのまま地糸口に通します。



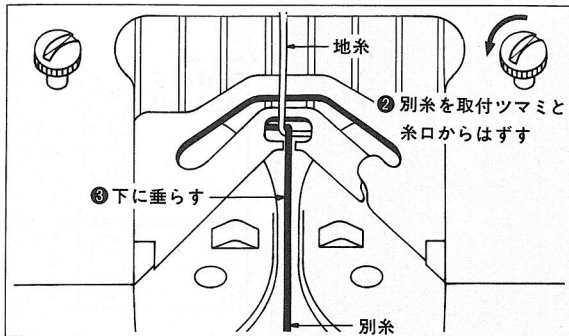
6 別糸を左側の取付つまみにかけて下に垂らします。



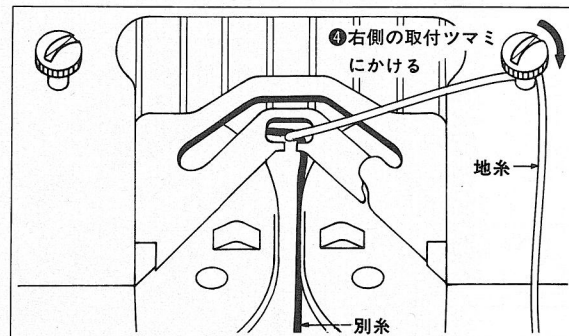
7 いま編んできた地糸を、取付つまみと地糸口からはずして下に垂らします。



8 別糸を少し張らせるように軽くつまんで、キャリジを左側にゆっくり操作します。
 ※1段目だけは、別糸を引きすぎると、その糸端が地糸口から抜けてしまいますので、注意してください。
 ※糸交換回数の多い模様を編むときは、③～⑤を繰り返します。



12 別糸を取付つまみからはずし、そのまま地糸口からはずします。



13 地糸を右側の取付つまみにかけて編みます。

14 2段編み終わりましたら、地糸を左側の取付つまみにかけ直し、編糸交換位置まで編みます。2段目と同じ要領で地糸と別糸を交差させて編みます。

15 以後、毎段、編糸を交差させて切り替えながら編み進みます。

3 編物知識

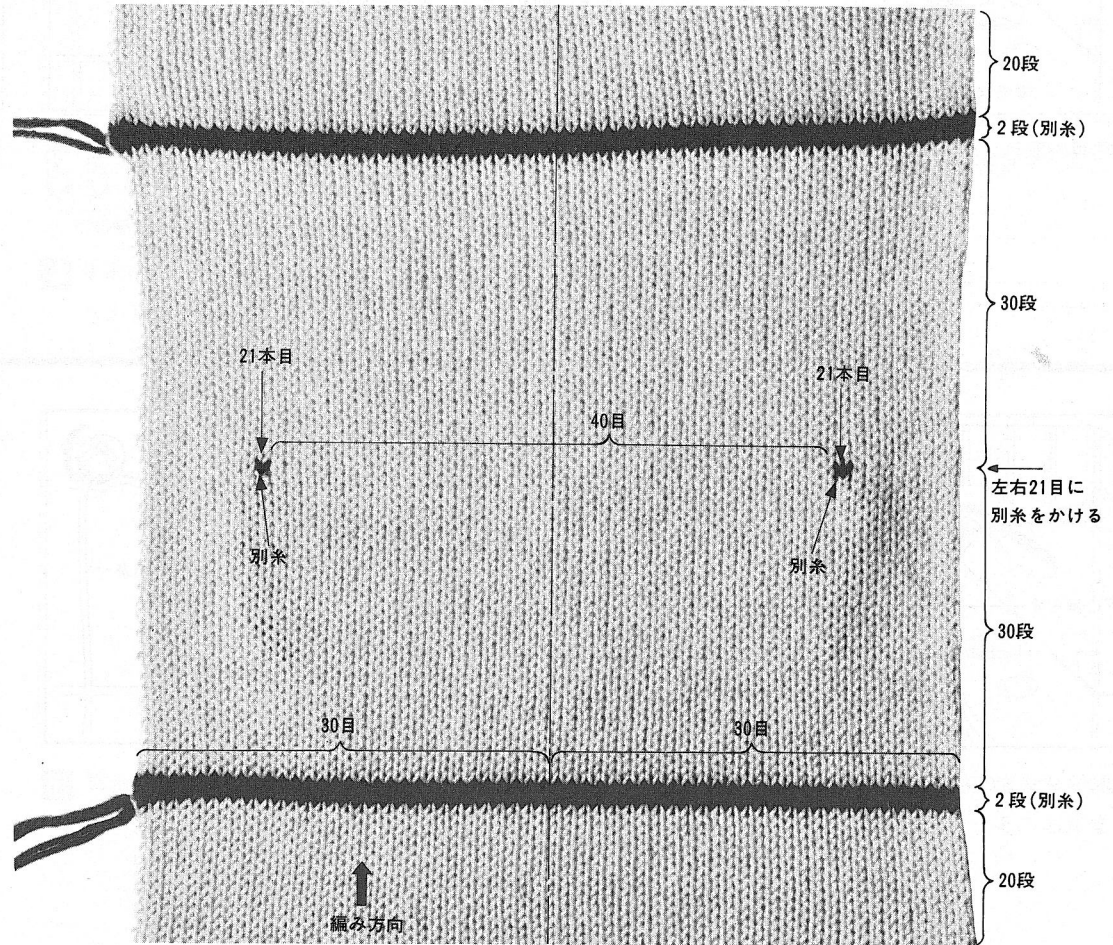


作品を作るために

◆編ゲージ

作品を希望の大きさに編み上げるためには、作品に使う編糸で編地を編み、編目の大きさを知る必要があります。

※ニットリーダーでは、目数(横方向)40目、段数(縦方向)60段の長さを測り、その長さを編ゲージとします。

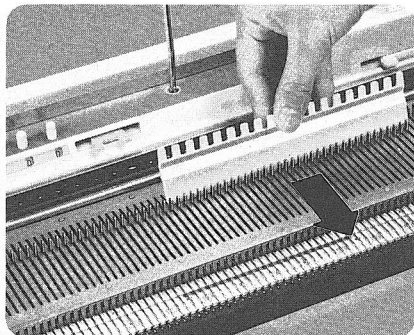


◆編ゲージの作り方

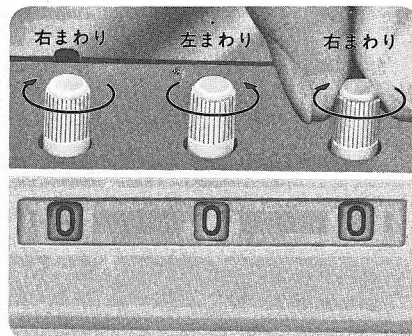
キャリジをくひらあみ状態にセットして、糸取装置に地糸と別糸を2本通しておきます。

※ここでは、段数計を使って平編の編ゲージの作り方を説明します。

※模様編の編ゲージを作る場合も、それぞれの模様で編ゲージを作ります。

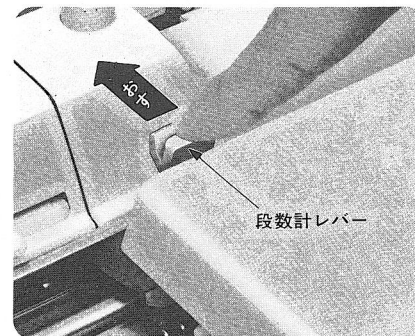


1 模様板の目盛側を使い、本体の真中(0)を中心に、左30～右30間の編針60本をB位置に針出しをして揃えます。

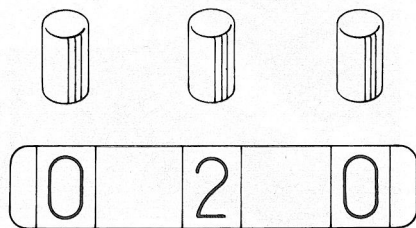


2 <平編の編み方>に従って4～5段編み、キャリジを本体の右側に置きます。

3 段数計を000に合わせます。

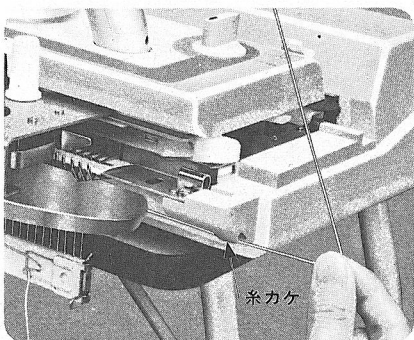


4 キャリジの左側後方の段数計レバーを、パチッ!と音がするまで向こう側に押し下げます。

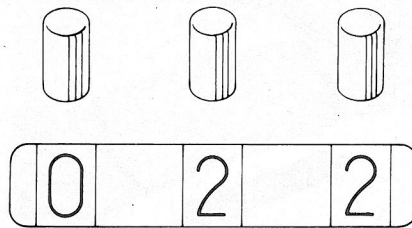


5 キャリジを左右に操作して、20段編みます。

※段数計の数字は、020を示します。

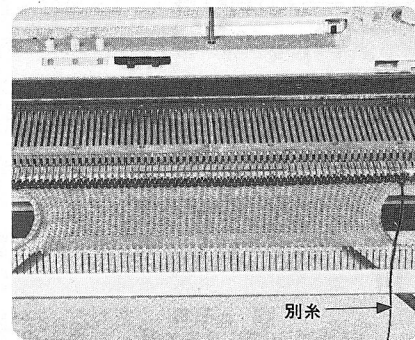


6 地糸口の地糸をはずし、本体の右端にある糸カケに休めます。

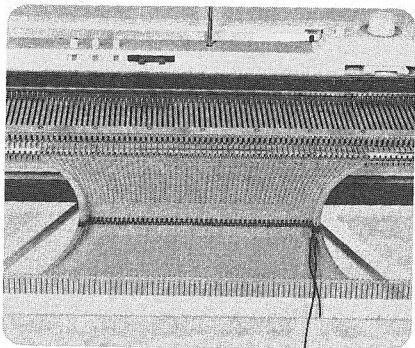


7 糸取装置に休めてある別糸を、地糸口に入れて2段編みます。

※段数計の数字は、022を示します。

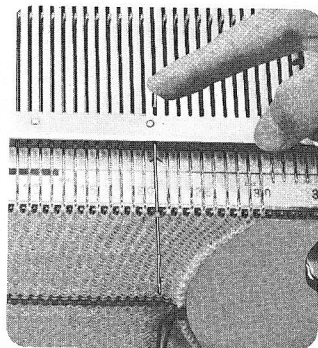


8 別糸を地糸口からはずし、編地側から5センチほど残して切り、糸端を糸取装置の糸カケに休めます。

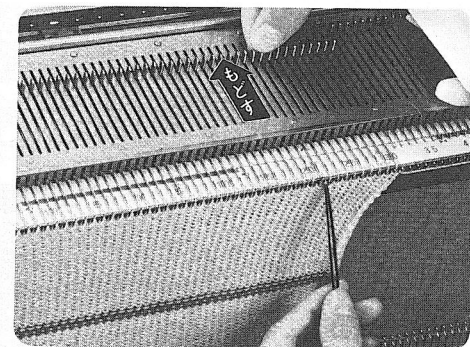
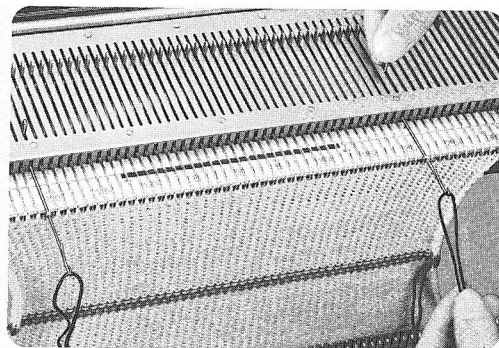


9 本体端の糸カケに休めてある地糸を地糸口に通し、30段編みます。

※段数計の数字は052を示します。

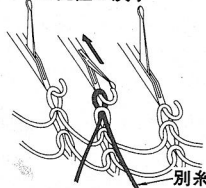


10 本体の真中(0)を中心に、左右21本目の編針(△マークが印刷してあるところ)を2本共E位置に出し、糸取装置の糸カケに休めてある別糸の糸端を、各10センチほど2本切り、E位置の編針のフックにかけます。



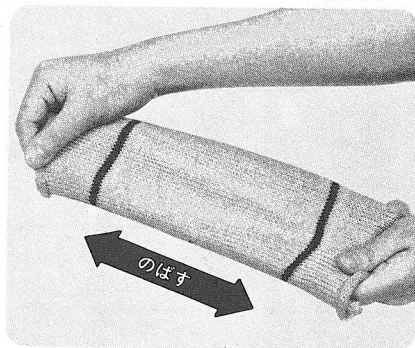
11 別糸をかけたE位置の編針を、2本共B位置まで戻し、別糸を編みます。

E位置の編針をB位置に戻す

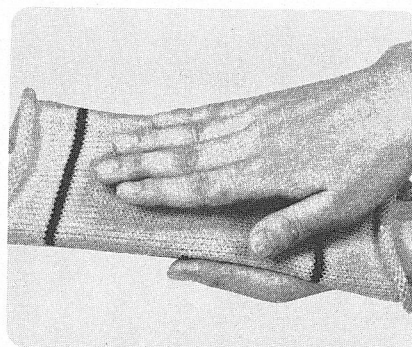


◆編ゲージの測り方

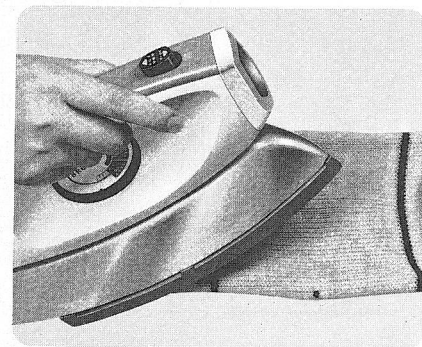
編まれた編地の縦・横方向の長さを、ニットリーダーにセットしますが、その前に編地の編目を整えてから縦・横の長さを測ります。



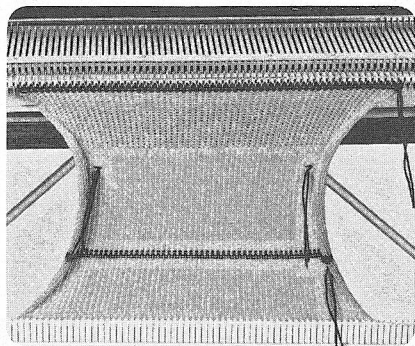
1 編まれた編地は、横方向に伸びていますから、編地を縦に2~3回軽く引伸ばします。



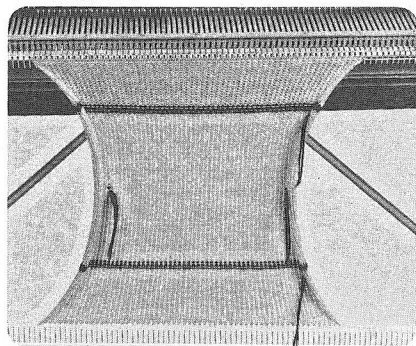
2 軽く手でたたくようにして、編目をもどします。



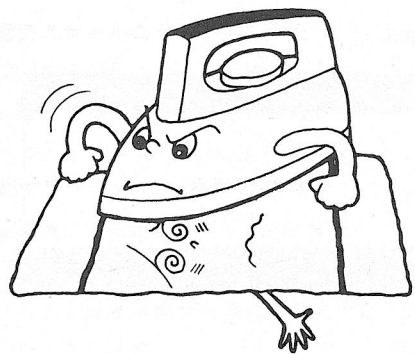
3 スチームアイロンで蒸気を2~3分あてます。



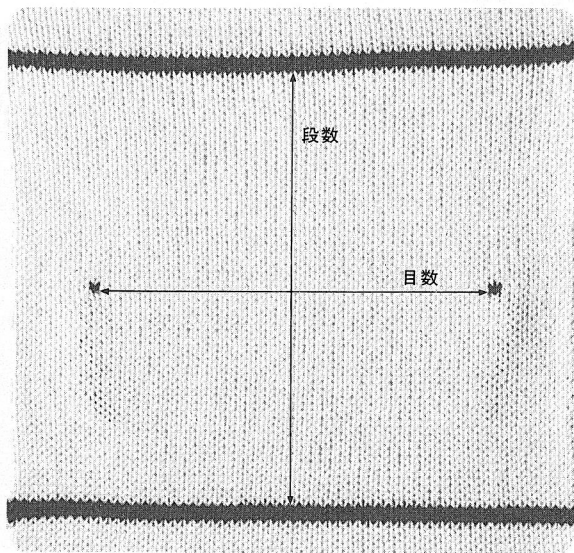
12 さらに30段編み（段数計の数字は08②） 6～8項のように別糸で2段編み、別糸を切ります。
※段数計の数字は08④を示します。



13 本体端に休めてある地糸を地糸口に通して20段編みます。
※段数計の数字は、10④を示します。
糸口から編糸をはずし、キャリジを動かし編地をはずします。



※スチームアイロンは、編地の全体に蒸気があたるようにして、編地に強く押しさえつけないでください。押し過ぎると編目がつぶれ、正確な編ゲージが得られません。



4 アイロンをかけた後、5～10分ぐらい放置します。編地が落ちついたら、編地の表を上にして平なところに置き、段数(縦方向……別糸の内側60段)の長さが、何センチ何ミリあるかを編地の中央付近で測ります。
次に、目数(横方向……左右21目の別糸の内側40目)の長さが、何センチ何ミリあるかを編地の中央付近で測ります。
※模様板の目盛側を利用します。

知識メモ

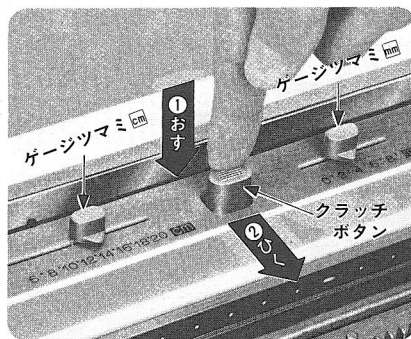
綿・麻・化繊などの編地は、水に浸し、軽くしぼってから、自然乾燥(約1昼夜)させた後、蒸気をあてて測ってください。

◆編ゲージのセットのしかた

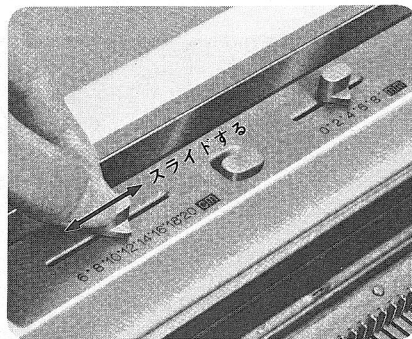
編ゲージを測ったとき、例えば段数(60段)の長さが12センチ4ミリあり、目数(40目)の長さが12センチ2ミリであった場合で説明します。

※段数(60段)はゲージツマミにセットし、目数(40目)は編目スケールでセットします。

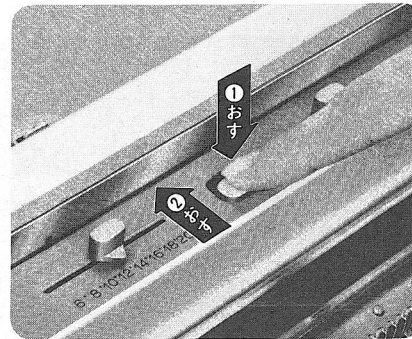
◆ゲージツマミ(60段)のセットのしかた



1 段数12センチ4ミリは、クラッチボタンの左右にあるゲージツマミによってセットします。まず、クラッチボタンを押し下げ、手前に少し引くとクラッチボタンはロックされます。

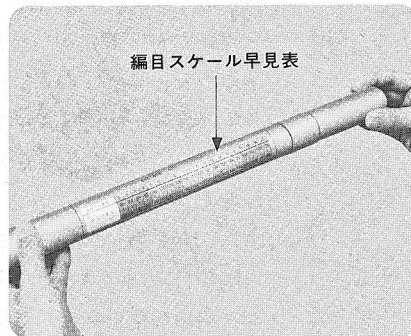


2 左側のゲージツマミを目盛12に、右側のゲージツマミを目盛4に、それぞれ横へスライドさせて合わせます。

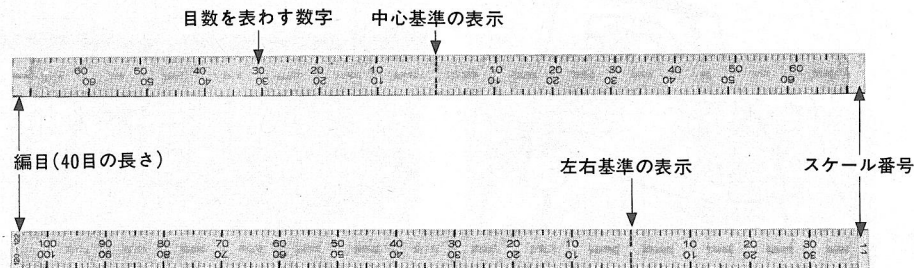


3 ゲージツマミのセットができたなら、クラッチボタンを指で押し下げ少し向こう側に押してロックをはずします。

◆編目スケール(40目)のセットのしかた



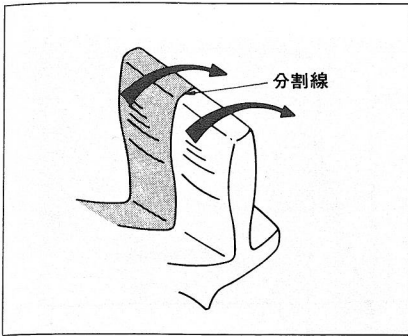
1 目数12センチ2ミリをミリ単位に直し、122ミリとします。シートケースの編目スケール早見表から、122の編目スケールは黄・11ということがわかります。※編目スケールの数字はミリの単位です。



★天地を逆にして左基準と右基準を使い分けます。



2 編目スケールは、シートケースの中に入っています。(中心基準のもの10枚と左基準・右基準兼用のもの20枚、計30枚入っています。)この中から、黄色の11番の編目スケールを選び出します。

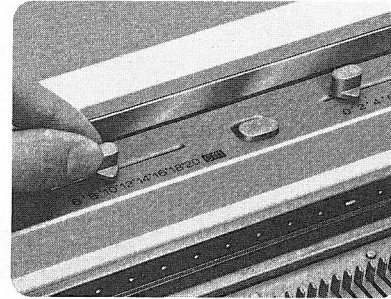
※同じ番号の編目スケールが、中心基準のものと左右基準のものと2種類あります。どちらを使用するかはシートに写すパターンのかたちにより決めます。(58ページ参照)





- 4 キャリジ右側後方のリーダーレバー（オレンジ色とクリーム色のレバー）を、2つ同時に向こう側に押し下げます。

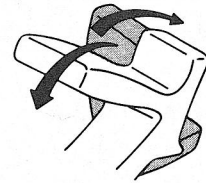
編ゲージを測ったとき段数(60段)の長さが6.0センチ未満の場合……

例えば、段数の長さが5センチ6ミリであったとしたら、ゲージツマミ ・ にセットすることができません。こんな場合は、次のような操作をしてください。



5センチ6ミリを2倍します。
《5センチ6ミリ×2=11センチ2ミリ》
ゲージツマミ  を11に、ゲージツマミ  を2に、それぞれ合わせます。

6 cm未満の場合
(左側だけ下げる)



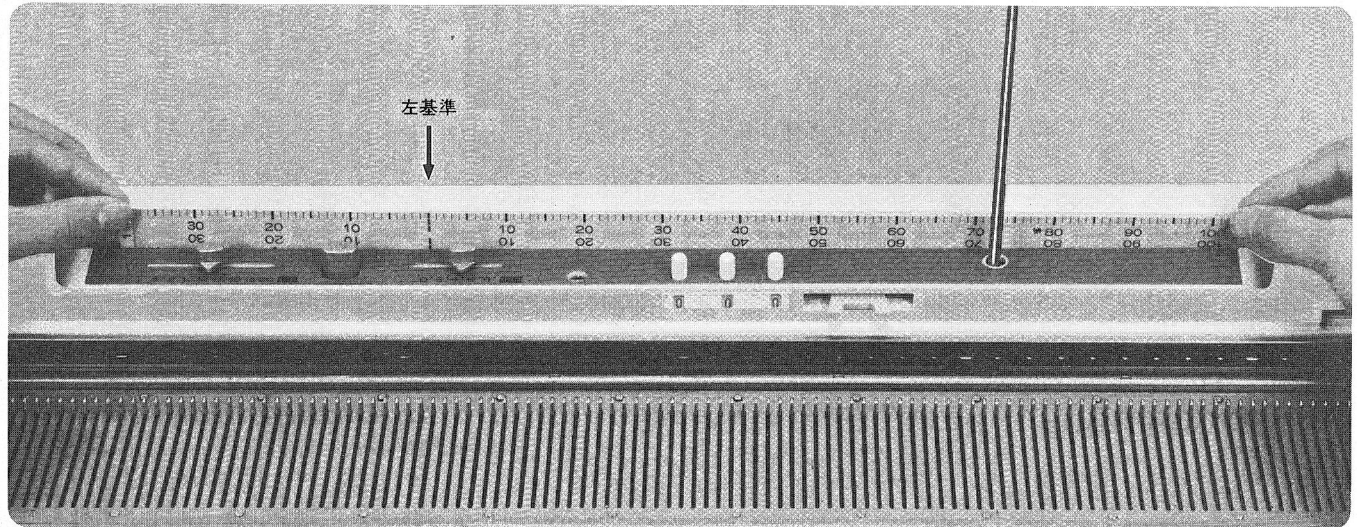
リーダーレバーは、左側(オレンジ色)のレバーだけを押し下げ、右側(クリーム色)のレバーは上げたままにします。
※キャリジを左から右に操作したときだけ、シートは1段送られます。

◆編目スケールのセットのしかた

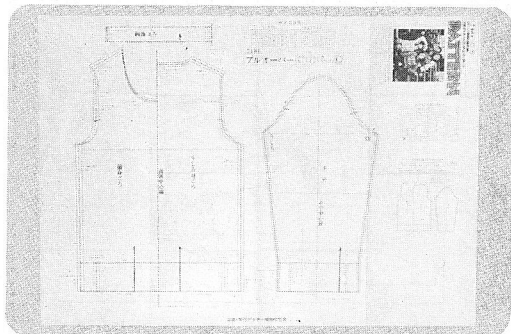
使用する編目スケールが決まったら、必要とする面を手前にして、編目スケール差込口へ下いっばいまで差し込み、ニットリーダーにセットします。

※写真は左基準をセットした状態です。

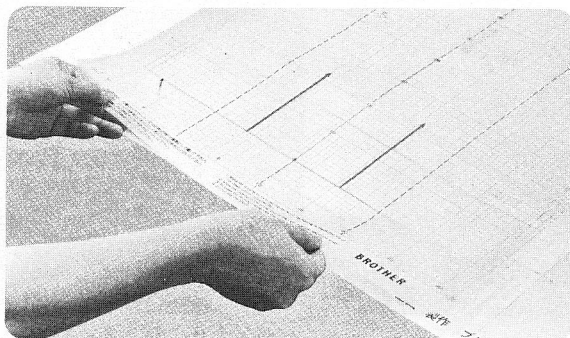
中心基準は基準線が中心に、右基準のときは基準線が右側になるようにセットします。



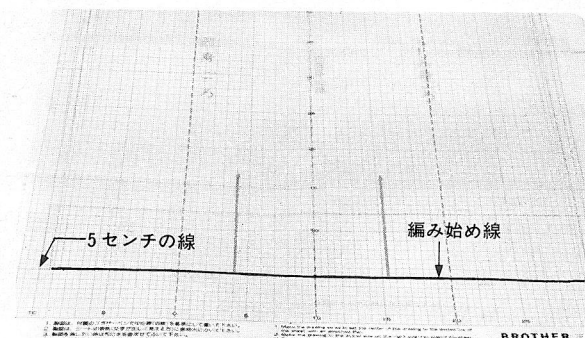
◆シートへのパターンの写し方



1 別売りのブラザーニットングパターン（編みたいサイズのパターンを選びます）を、平らな面の上にひろげます。

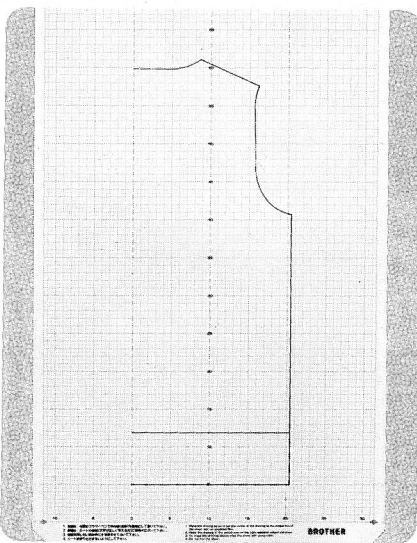


2 シートケースからシートを取り出し、表側（文字・数字が正しく読める側）を上にして、パターンの上置きします。



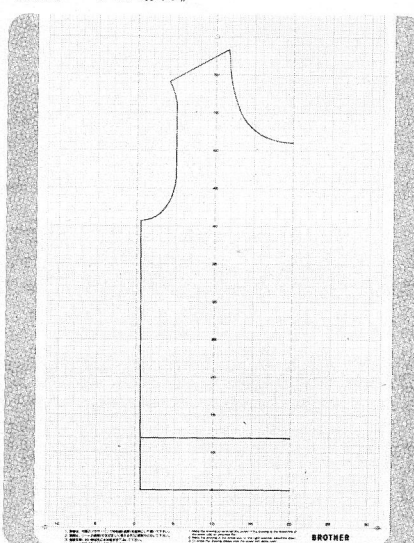
3 作品により、シートの各基準線をパターンの中心線に合わせます。（下段参照）
シートの目盛5センチの線をパターンの編み始める線に合わせます。（シートの中心線上に5と書いてある線）

《うしろ身ごろの場合》



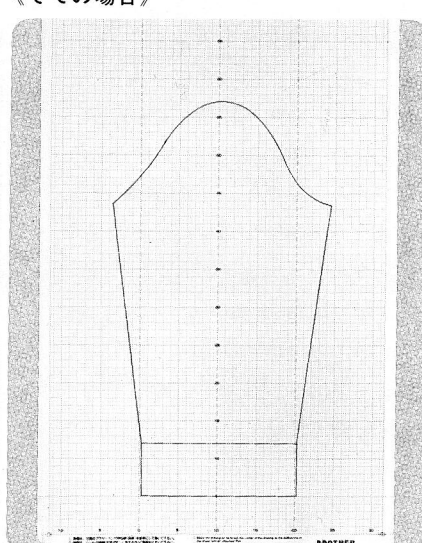
うしろ身ごろを写すときは、パターンの中心線をシートの左基準線に合わせます。
（この場合、編目スケールは、左基準を使います）

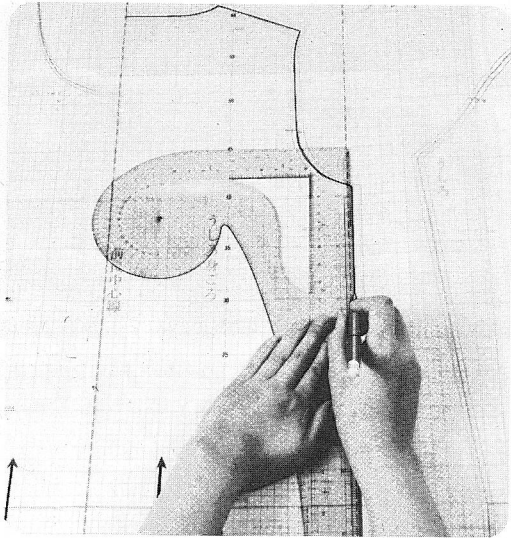
《前身ごろの場合》



前身ごろを写すときは、パターンの中心線をシートの右基準線に合わせます。
（この場合、編目スケールは、右基準を使います）

《そでの場合》





4 付属のブラザーペンを使い、正しく写します。1枚のシートに3本の基準線（左基準・中心基準・右基準）があります。基準線に合わせてそれぞれのパターンを1枚のシートに写します。

（製図を写し終えた状態を参照）

ブラザーホームニットングパターンを各種取りそろえて別売りしていますので、ぜひご利用ください。最寄りのブラザー販売店、または、編物教室でお買い求めください。

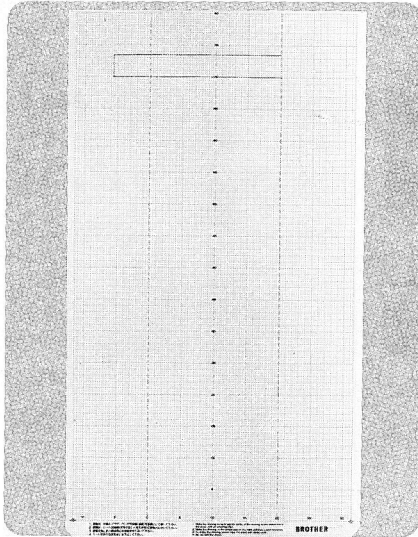
特に初心者の方には、「はじめてのあみもの」（実物大ステップパターンつき）をおすすめします。



《えりの場合》

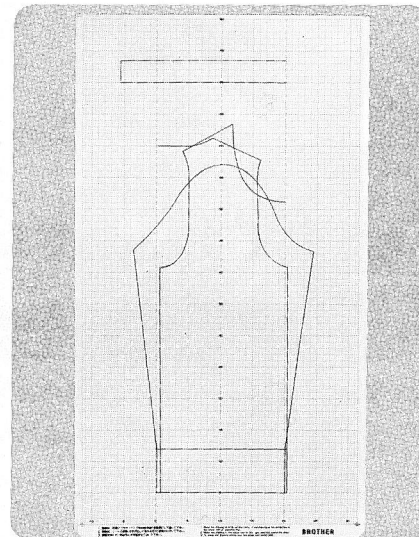
そでのように幅がせまいものは、そのパターンの中心線をシートの中心基準線に合わせてます。

（この場合、編目スケールは、中心基準を使います）

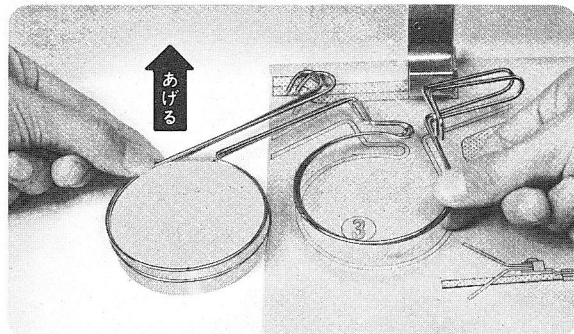


（この場合、編目スケールは右基準を使います）

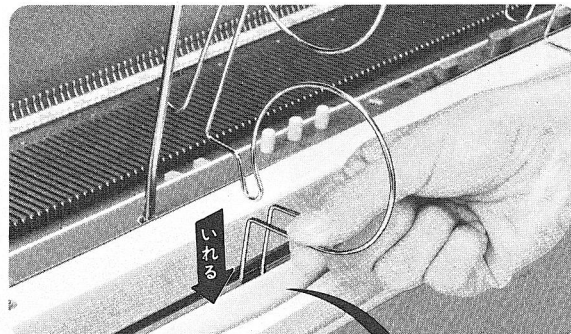
《製図を写し終えた状態》



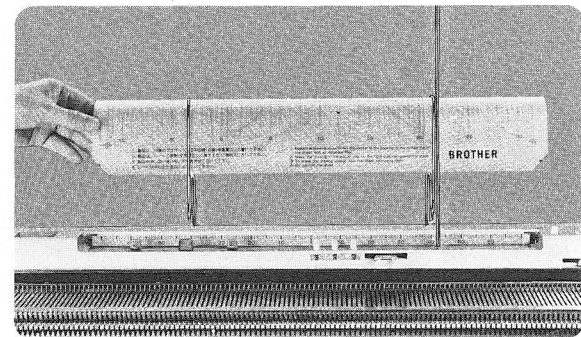
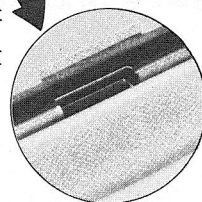
◆ニットリーダーへのセット方法



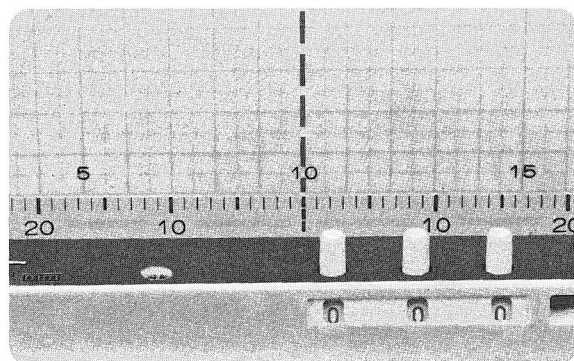
1 ケースからシートガイドを2つとも取り出します。



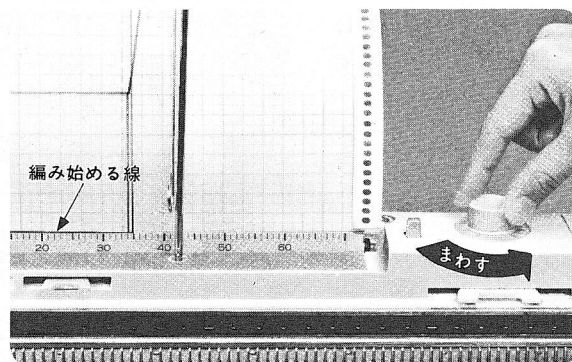
2 取り出したシートガイドを、本体後方の中央部と左側の取付穴へいっばいに差し込みます。



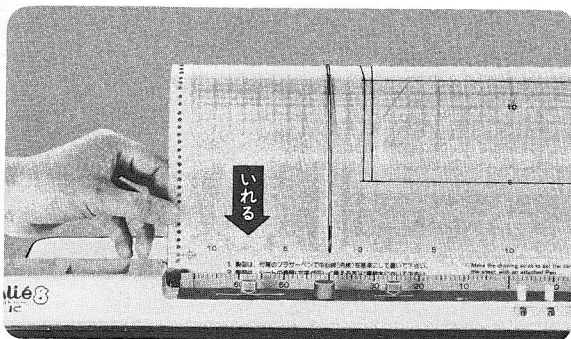
3 シートを表が外側になるように、シートの上(BROTHERの印刷のしていない側)から巻き取り、シートガイドに通します。



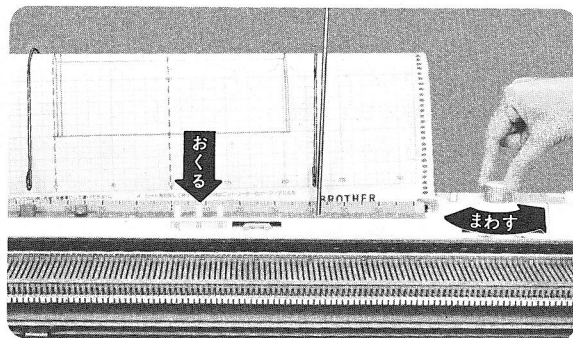
7 シートの基準線と、リーダーにセットされている編目スケールの基準線を合わせます。



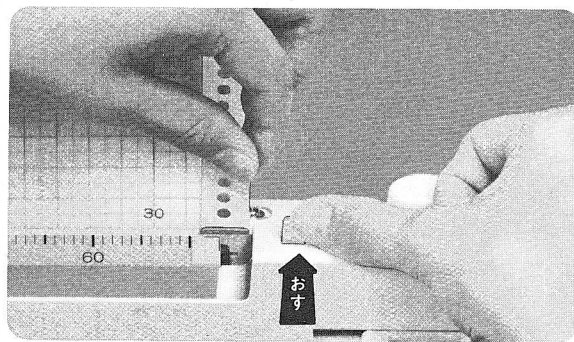
8 シート差込口右側の送りダイヤルを回し、シートに写された製図の編み始める線を編目スケールの上端に合わせます。



- 4** シートの下端 (BROTHERの印刷のしてある側) を、本体上面のシート差込口に差し込みます。
シートの左下端を先に、シート差込口の左側に入れます。



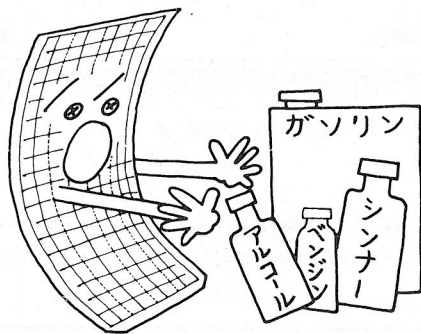
- 5** シート左側の丸穴に、送り歯が入っているかを確認してから、本体上面のシート差込口の右側にある送りダイヤルを回し、シートを2～3段送ります。



- 6** シート差込口の右側にあるシートレバーを、向こう側に押したまま、シートの右端を上下に動かし、シートの傾きを直し、シートレバーをはなします。

シートの取扱い

- ★写しまちがえたときや描き直したいときは、布に水を含ませ、上から軽く拭きとればきれいに消えます。
- ★シートの汚れは、中性洗剤を布にしみ込ませて拭きとってください。
- ※シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリンなどは使わないでください。
- ※シートの表裏の使い分けはできません。必ず表側 (文字が正しく読める側) だけを使用してください。
- ※シートを折りたたんだり、折り目をつけないようにしてください。



知識メモ

★シートをはずすときは……

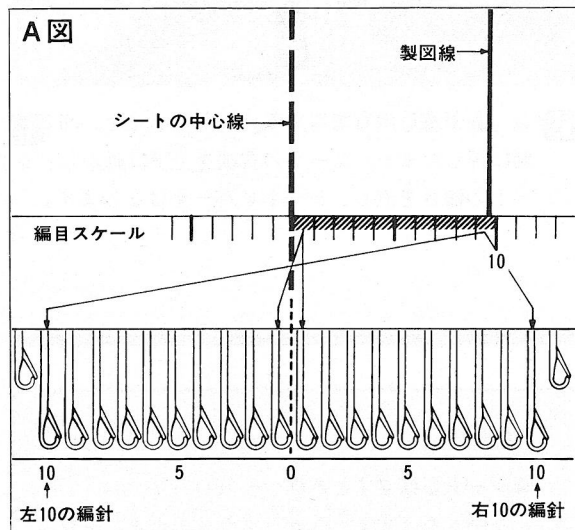
シートをはずすときは、クラッチボタンをロックして、手で引けば簡単にはずれます。

◆編目スケール目盛の読み方

(シートの製図線と編目スケール目盛の関係)

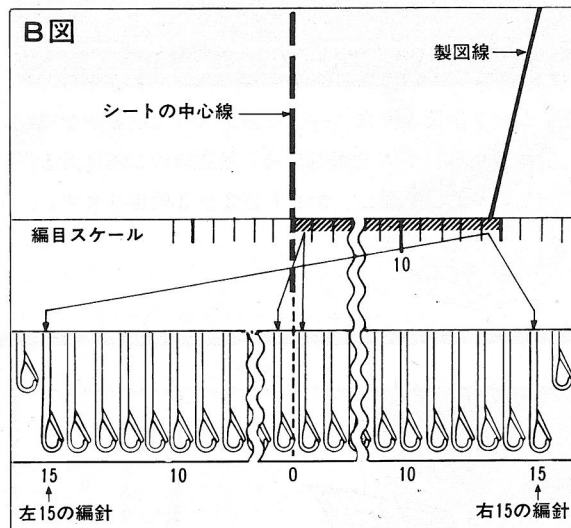
☆編目スケールの目盛は、ミゾ板の編針に対応します。

図の斜線部分は、ミゾ板の針目盛0を中心に、左10～右10間の20本の編針を示します。



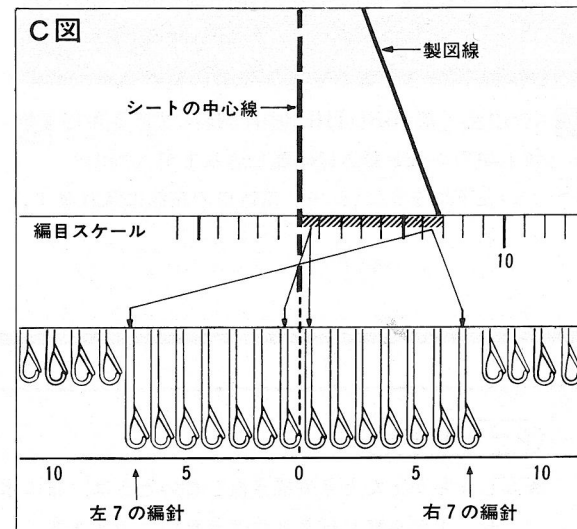
●シートの製図線が編目スケールの目盛10の位置にあるときは、ミゾ板の針目盛0を中心に左10～右10間の20本の編針で編みます。

《増し目をする場合》



●左15～右15間の30本の編針で編みます。(A図より左右5本ずつ編針を増します。)

《減らし目をする場合》



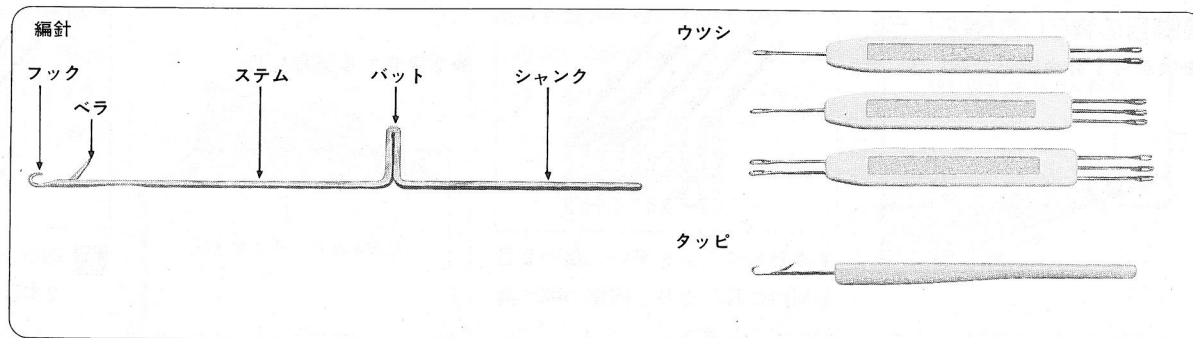
●左7～右7間の14本の編針で編みます。(A図より左右3本ずつ編針を減らします。)

※シートの製図線が同じ目盛内にあるあいだは、編目を増したり、減らしたりせず、そのまま編み続けてください。

知っておきたい編物知識

編機を使って作品を作るときに、知っておきたい基本的な知識を、ここで紹介します。

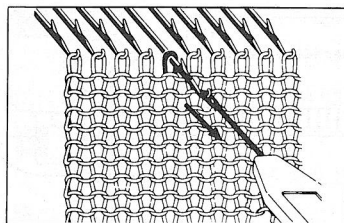
ウツシ・タッピなどをうまく使って編む編み方も紹介します。



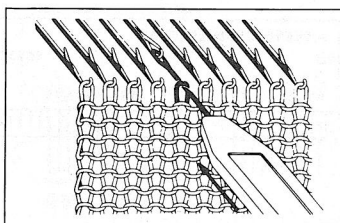
◆編目の移し方

平編の場合を例に説明します。

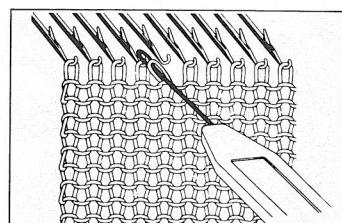
☆ウツシを使って編目を移します。



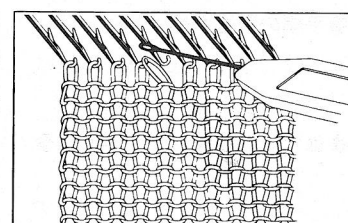
1 編針のフックにウツシの穴を
かけ、手前に引き出して編目
をベラの向こうに移します。



2 逆に押すとベラが閉じ、編目
はウツシに移ります。



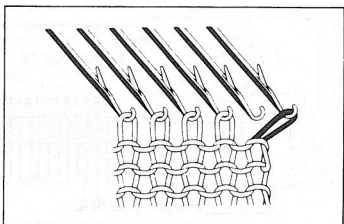
3 フックからウツシの穴をはず
し、移したい隣の編針のフック
にウツシの穴をかけます。



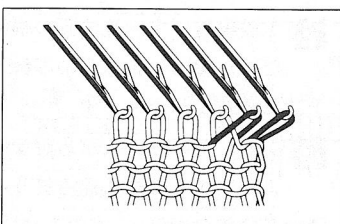
4 ウツシの手前側を少し持ち上
げて、編目をフックにすべり
込ませてからウツシをはずします。

◆編目の増し方 (増し目)

◆1目立てる増し目



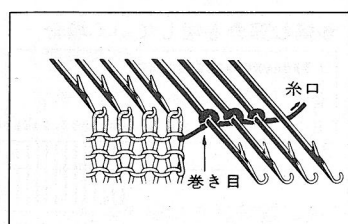
1 端の1目をウツシにとり、1
目外側の編針 (増す針) に移
します。



2 端から2本目の編針の、1段
下の編目をウツシで引き上げ、
隣の空針にかけます。

◆1度に2目以上の増し目

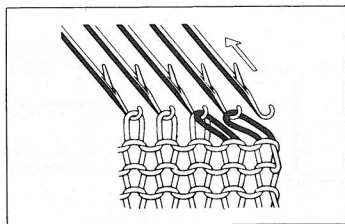
キャリジのある側で増し目する
ときに用います。



増し目する編針をE位置に出し、
巻き目をして最後の編針は、下を
くぐらすだけで編みます。

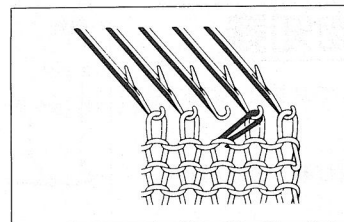
◆編目の減らし方(減らし目)

◆端から1目内側の減らし目

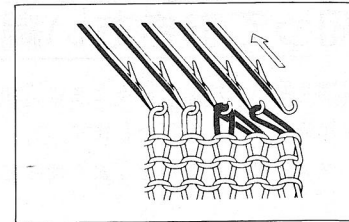


2本針のウツシを使い、端の2目を同時に移しとり、内側の隣の編針にずらします。

◆2目立てる減らし目



1 端から3本目の編針の編目を、2本目の編針の編目に重ねます。

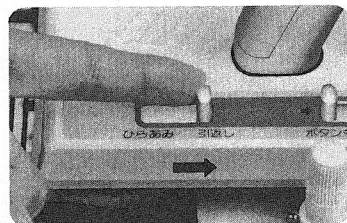


2 1で重なった2目を、空になった3本目の編針に一度に移し、端の編目も2本目の編針に移します。

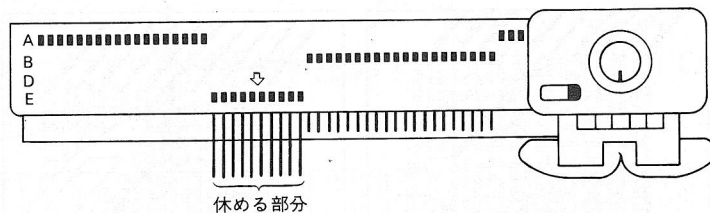
●平編の引返し編

● 2段ごとに引返す場合を例に説明します。

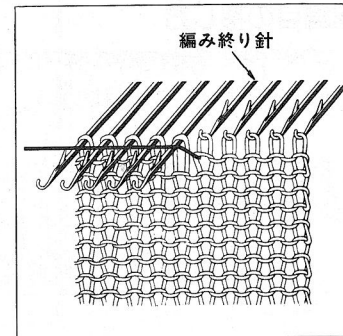
◆編む部分を減らしていく場合



1 カムボタンは平編の状態に、引返シレバーは「引返し」に合わせます。

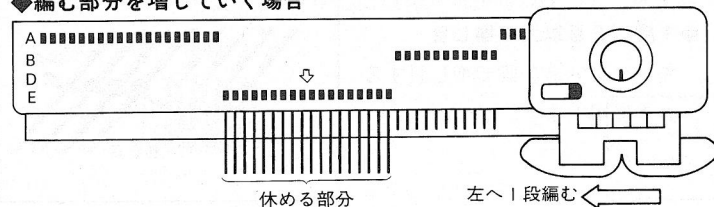


2 キャリジと反対側の休める部分の編針をE位置に出します。このとき、編地がついてこないように、編地をクシバに軽く押しつけます。(編針の数は、シートの製図線によって決まります。62ページ参照)



A 図

◆編む部分を増していく場合

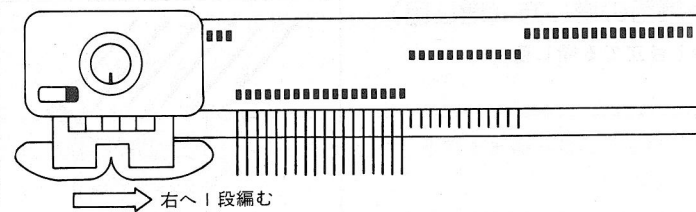


1 カムボタンは平編の状態に、引返シレバーは「引返し」に合わせ、キャリジと反対側の休める部分の編針をE位置に出します。

2 1段編みます。B位置の編針だけが編め、E位置の編針の上には編糸がわたります。

3 引返した部分に穴があかないようにするため、編み終りの隣のE位置の編針(1本のみに)、下から編糸をくぐらせます。

(編む部分を減らしていく場合参照)



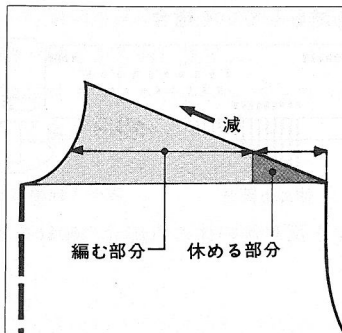
4 キャリジを折り返して1段編みます。

◆引返し編の編み方

引返し編は、増し目、減らし目の一種ですが、ウツシなどを使わず、編針の休止位置を利用して、編針の休止位置を利用します。編む部分を減らしていく場合と、編む部分を増していく場合があります。

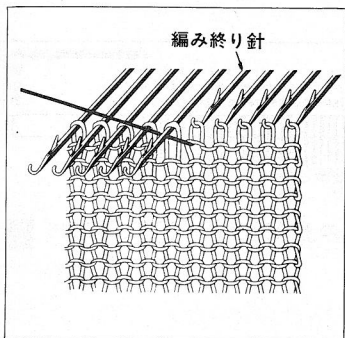
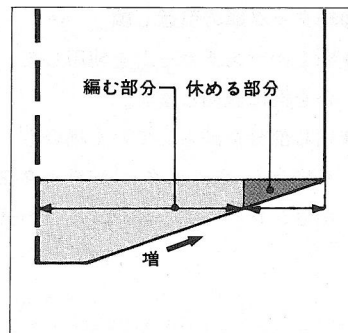
◆編む部分を減らしていく場合

編針の休止位置を利用して休める編針を少しずつ増していきます。☆かたさがりなどの傾斜した編地を編むときに使います。



◆編む部分を増していく場合

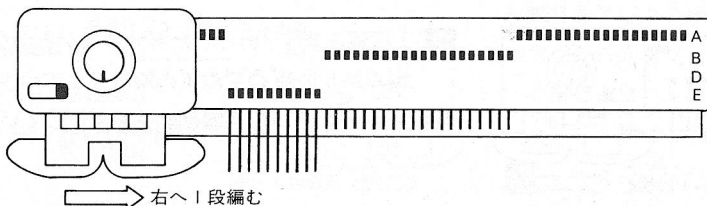
最初に編針をたくさん休めておき、編む部分を少しずつ増していきます。



B図

3 1段編みます。B位置の編針だけが編め、E位置の編針の上には編糸がわたります。(A図)

4 引返した部分に穴があかないようにするため、編み終りの隣のE位置の編針(1本のみ)に、下から編糸をくぐらせます。(B図)

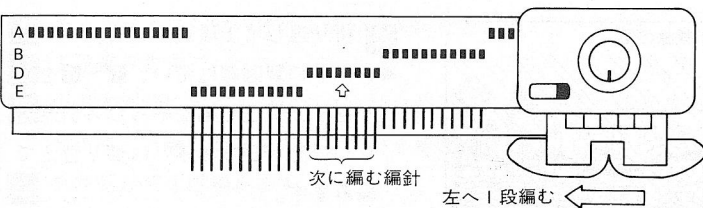


→ 右へ1段編む

5 キャリジを折り返して1段編みます。

6 シートの製図線に沿い、休める編針を増しながら2~5をくり返します。

※引返し編が終り、全体の編針を編みたいときは、引返しレバーを<ひらあみ>に切り替えて編みます。

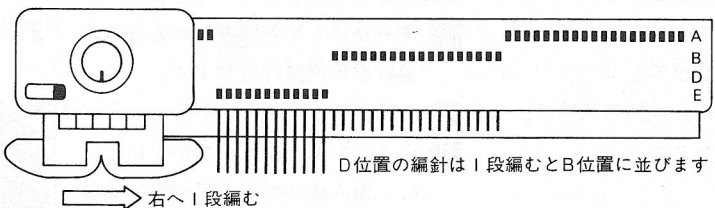


次に編む編針

← 左へ1段編む

5 次に編むE位置の編針(増す部分の編針)をD位置に押し下げます。

6 キャリジを折り返して1段編みます。



→ 右へ1段編む

7 シートの製図線に沿い、次に編むE位置の編針をD位置に押し下げながら、2~5をくり返します。

※引返し編が終わったら、引返しレバーを<ひらあみ>に切り替えて編みます。

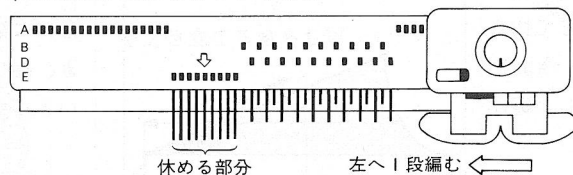
知識メモ

☆編む部分を減らしていく場合も、編む部分を増していく場合も、常にキャリジと反対側の編針をE位置に出します。

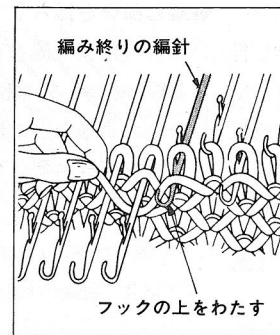
●総タック編の引返し編

- No.1のパンチカードを使用して、2段ごとに引返す場合を例に説明します。
- 編む部分を減らしていく場合も、編む部分を増していく場合も、カムボタンは〈タック左右〉を押した状態に、引返しレバーは〈引返し〉に合わせます。

◆編む部分を減らしていく場合

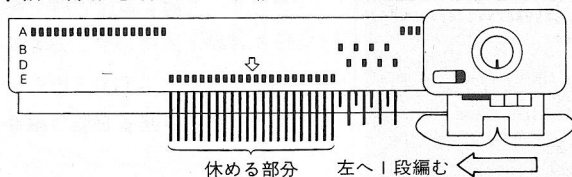


- 1 キャリジと反対側の休める部分の編針をE位置に出します。



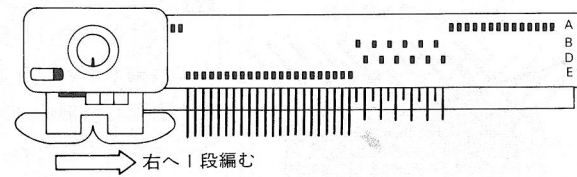
- 2 1段編みます。引返した部分に穴があかないように、編み終りの隣のE位置の編針(1本のみ)に、下から編糸をくぐらせます。
※編み終りの編針が選針されているときは、その編針のフックの上をわたしてください。

◆編む部分を増していく場合



- 1 キャリジと反対側の休める部分の編針をE位置に出します。

- 2 1段編みます。引返した部分に穴があかないように、編み終りの隣のE位置の編針(1本のみ)に下から編糸をくぐらせます。(編む部分を減らしていく場合参照)



- 3 折り返して1段編みます。

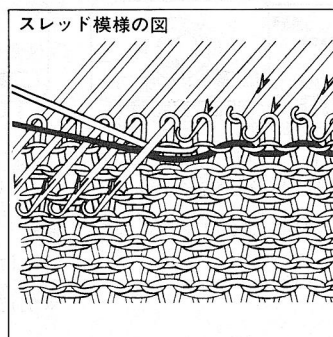
●すべり目模様・スレッド模様・同時編込模様(ワンポイント)の引返し編

- 2段ごとに引返す場合を例に説明します。
- カムボタン・ツمامミ・レバー等は、編む模様の状態に、引返しレバーは〈引返し〉に合わせます。

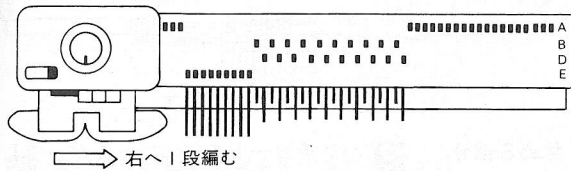
◆編む部分を減らしていく場合

- 1 キャリジと反対側の休める部分の編針をE位置に出します。
- 2 1段編みます。
- 3 引き返す部分に穴があかないように、編み終りの隣のE位置の編針に編糸をくぐらせます。(右図)

※編込模様の配色糸、スレッド模様のスレッド糸も同時にくぐらせます。



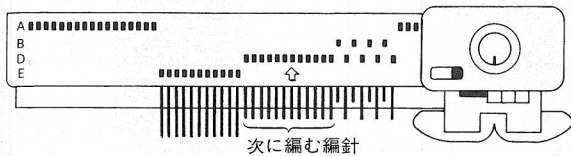
- 4 折り返して1段編みます。
※シートの製図線に沿い、1~4をくり返し、引返し編が終わったら引返しレバーを〈ひらあみ〉に切り替えて編みます。



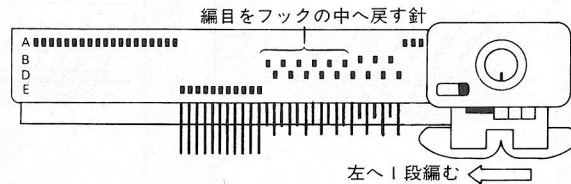
3 折り返して1段編みます。

4 シートの製図線に沿い、休める部分の編針を増しながら①～④をくり返します。

※引返し編が終わったら、引返シレバーを〈ひらあみ〉に切り替えて編みます。



4 次に編む部分（増す部分）の編針をD位置に押し下げます。



5 編めている部分の選針状態をよく確認して、D位置の編針のうちB位置に戻る編針の編目を、ウツシを使ってフックの中に戻しB位置に下げます。

※編目をフックの中へ戻すときは……

ウツシの穴をフックにかけ、そのまま向こう側に押すと編目がウツシに移ります。ウツシの手元を少し持ち上げて、編目をフックに移します。

6 シートの製図線に沿い、②～⑤をくり返します。
※引返し編が終わったら、引返シレバーを〈ひらあみ〉に切り替えて編みます。

◆編む部分を増していく場合

- 1 キャリジと反対側の休める部分の編針をE位置に出します。
- 2 1段編みます。
- 3 引返す部分に穴があかないように、編み終りの隣のE位置の編針に編糸をくぐらせます。（編む部分を減らしていく場合参照）
- 4 折り返して1段編みます。
- 5 次に編む部分（増す部分）の編針をD位置に押し下げます。
- 6 編めている部分の選針状態をよく確認して、D位置の編針のうちB位置に戻る編針の編目を、ウツシを使ってフックの中に戻しB位置に下げます。

7 シートの製図線に沿い、②～⑥をくり返します。

※引返し編が終わったら、引返シレバーを〈ひらあみ〉に切り替えて編みます。

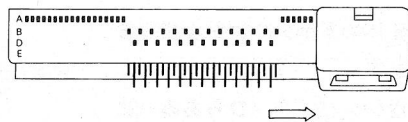
●レース模様・タックレース模様の引返し編

●カムボタンは<すべり左右>を押した状態に、引返しレバーは<ひらあみ>に合わせます。

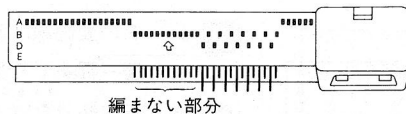
●編目ダイヤルを1目あらくして合わせます。

現在の目盛	合わせ直す目盛
4	5
5	6
6	7

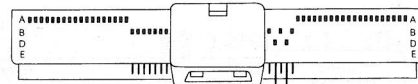
●編む部分を減らしていく場合も増していく場合も操作は同じです。



①パンチカードの矢印に従ってLキャリジを操作し、編針を選針します。



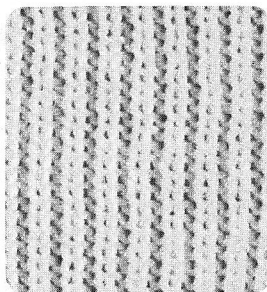
②選針された編針のうち、休める部分の編針をB位置に戻します。



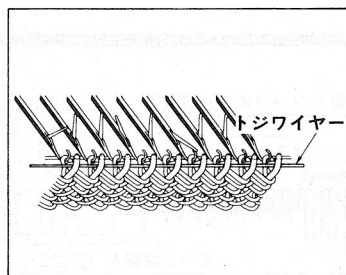
③パンチカードの矢印にしたがってLキャリジを動かします。パンチカードにLキャリジの操作がつづいているときは、矢印にしたがって①~③をくり返します。

◆ゴム編

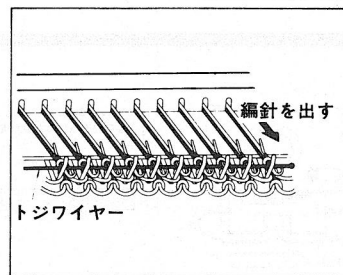
タッピを使って平編の裏目を表目に直していく編みかたです。1目おきに直せば1目ゴム編、2目おきに直せば2目ゴム編になります。



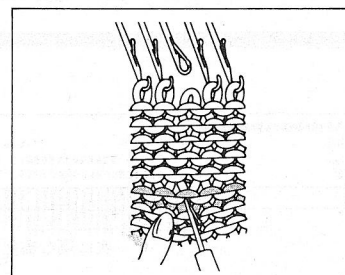
1目ゴム編



①編針とクシバの間にわたっている編糸の上に、付属のトジワイヤーをのせます。



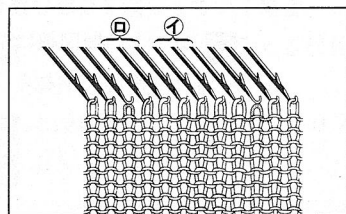
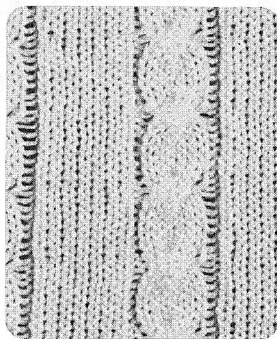
②トジワイヤーが編針の下になるように、編針をクシバよりも少し前の位置まで出します。



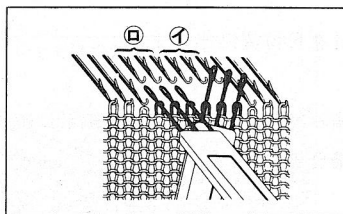
③編出しをはずし、ゴム編に直す最初の段の編目にタッピのフックを入れてから、編目を編針からはずします。

◆なわ編(交差模様)

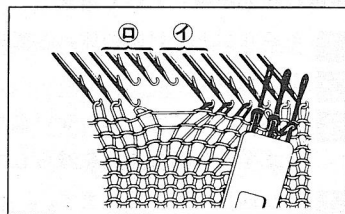
編目を交差させて模様を作ります。ここでは、ウツシの1×3と2×3の3本針側を利用します。



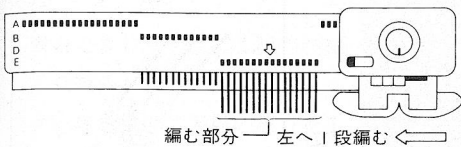
①平編を9段編み、交差させる編目の両隣の編目を、1目づつ編針からはずします。



②交差させる①と㊦の部分の編目3目づつをウツシにとります。



③㊦の編目を①の空針に移します。



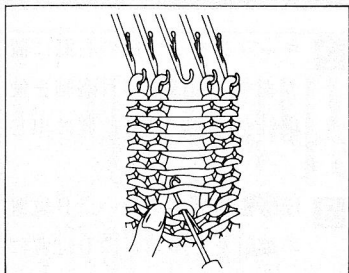
4 編む部分の編針全部をE位置に出し1段編みます。

5 4と同じように編む部分の編針全部をE位置に出し1段編みます。

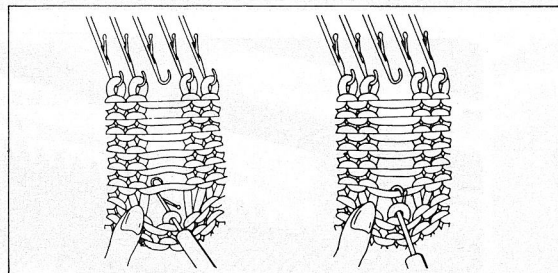
※パンチカードのキャリジの操作が2段以上のときは4、5をその段数だけ繰り返します。このとき、引返す部分に穴があかないようにするため、編み終りの隣の編針のフックに編糸をかけてから、キャリジを折り返して編みます。

6 シートの製図線に沿い、1～5をくり返します。

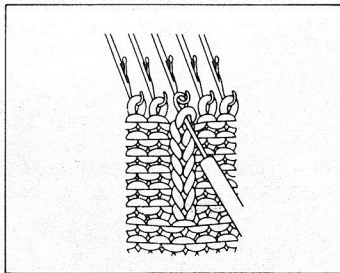
※引返し編が終わったら引返しレバーを〈ひらあみ〉に切り替えて編みます。



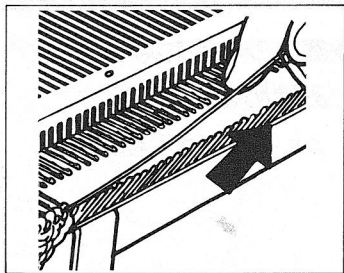
4 編地を下に引き、編目をほどきます。



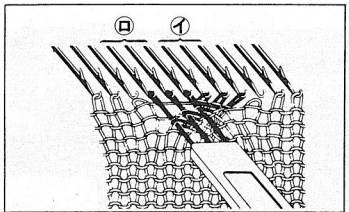
5 タップの入っている編目をベラの後に移し、1段上のほどいた横糸にフックをかけ、手前に引いて編目を作ります。



6 5の動作をくり返し、最後の編目を編針にかけます。



7 ゴム編が終わったらトジワイヤーを引き抜きます。



4 ①の編目を②の空針に移します。

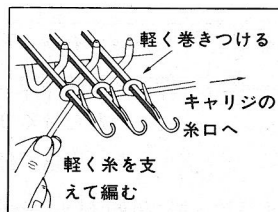
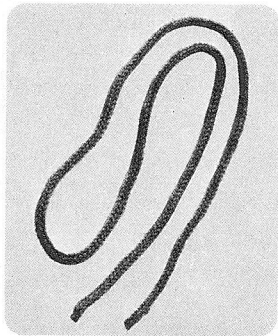
5 ①で編針からはずした編目を9段下からタップを使って表目に直します。

6 ①～⑤をくり返します。

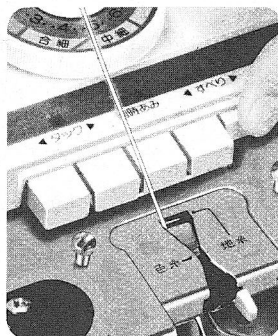
◆ひも編

編地の左右の編目がつながり、丸くひも状に編みあがります。

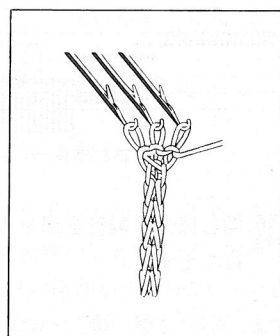
編目をきれいにするため、編目ダイヤルを標準より1目盛小さく合わせます。



1 ミゾ板中央の編針3~4本をE位置に出し、ステムに巻き目で作り目します。



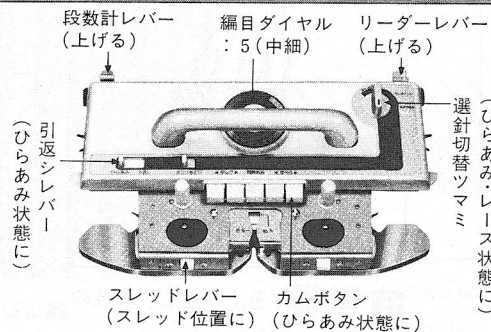
2 カムボタン〈すべり右又は左〉を押して編みます。



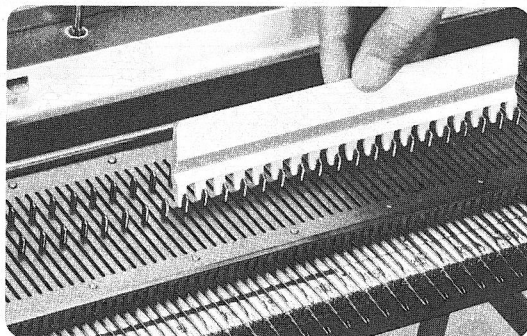
◆編出シを使わないで編

み始める方法

スレッド編装置を利用します。



1 キャリジを上のようにセットします。

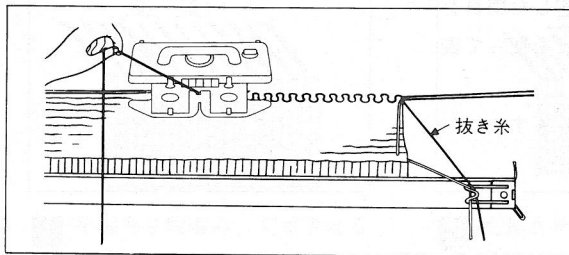


2 キャリジをミゾ板の右側に置きます。模様板の目盛側を使います。編針を編幅だけB位置に出します。

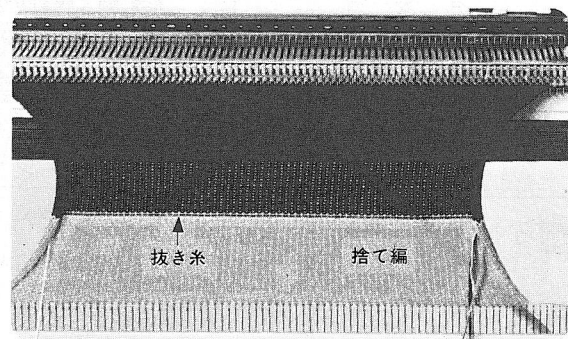
3 模様板の反対側を使い、B位置の編針を1本おきにD位置に出します。

◆捨て編

捨て編とは、編みあがった作品の編目がほどけないようにするため、余分に編んでおく平編の部分をいいます。捨て編は、作品を編み始める前と、編み終わって編機からはずす前とに、作品に使用する以外の糸で10段ほど編みます。



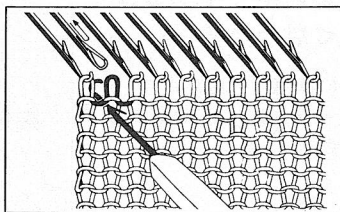
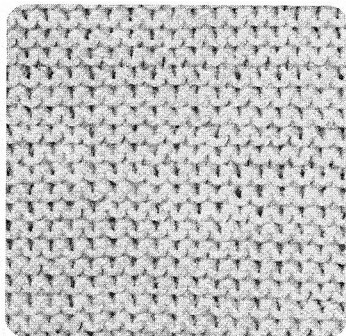
1 捨て編の部分を編んだら、編地から5cm程残して編糸を切り付属の抜き糸を地糸口に通して1段編みます。



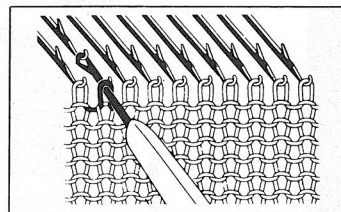
◆ガーター編

表目と裏目を交互に1段ずつ編んだ編みかたです。

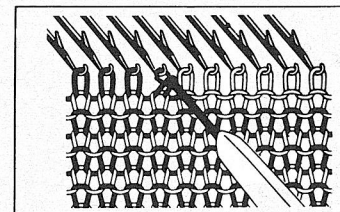
タッピを使い、平編の裏目を1段おきに表目に直していきます。



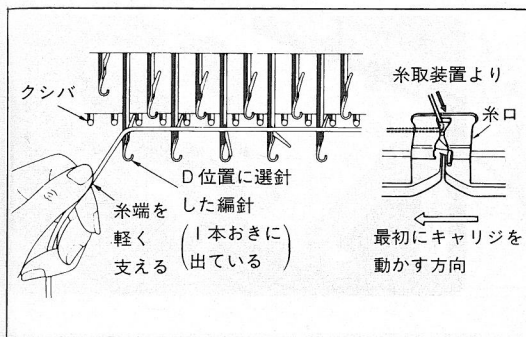
1 編針のフックにかかっている、編目の1段下の編目にタッピを入れ、編針の編目をはずします。



2 1段といた編目をタッピで編み、編針に移します。



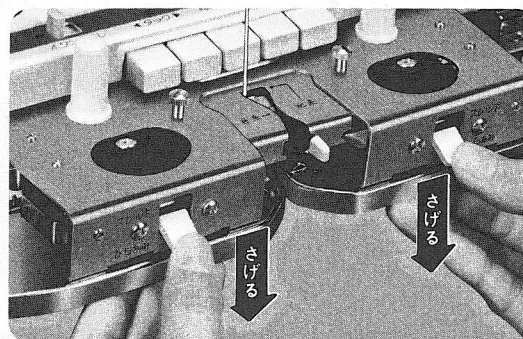
3 1・2の操作を1段おきにくり返します。



4 糸取装置に通した編糸を地糸口に通し、糸端をそのままD位置の編針の上におわして、糸端を指で軽く支えます。

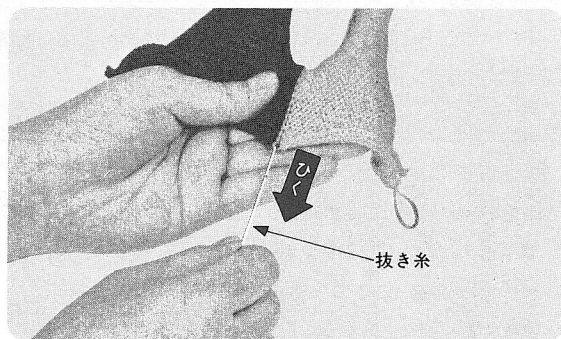
※糸は張るようにして編針にわたします。

5 糸がたるまないように、キャリジをゆっくり動かして4~5段編みます。



※編出しができたなら、左右のスレッドレバーを〈ひらあみ〉に戻します。

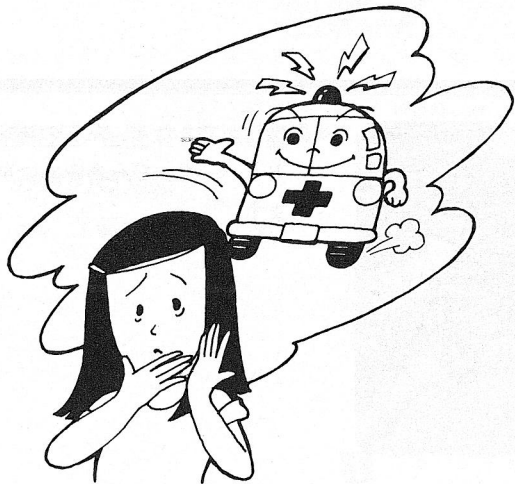
2 地口糸から抜き糸をはずし、作品を編む編糸を糸口に入れて編み始めます。



3 編まれた抜き糸を引き抜けば、捨て編部分は作品からはずれません。

4

こんな
ときには



◆編んでいる途中でキャリジ

が動かなくなったら……

こんなときには無理に動かさず、
キャリジをミゾ板からはずして編
み直します。

◆平編の場合

1

編地押工をはずします。

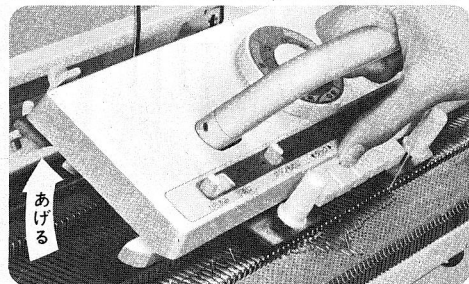
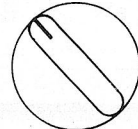
糸口から糸をはずして、編地
押エツマミをゆるめてはずし
ます。

2

キャリジをはずします。

選針切替ツマミを<キャリジ
はずし>に合わせ、キャリジ
をミゾ板からはずします。

●キャリジはずし



◆模様編の場合

1

ストップ
レバーを
<とまる>
にします。

2

編地押工を
はずします。

3

キャリジを
はずします。

4

キャリジをはめ、編地押工
を取り付けます。

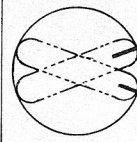
5

編目をフック
に戻します。

糸口の編糸をは
ずし、キャリジ
左右の編地押エ
ツマミをゆるめ
てはずします。

選針切替ツマ
ミを<キャリジ
はずし>に合
わせませ。(平編
の場合参照)

選針切替ツマミを
<もようあみ>また
は<ワンポイント>
に切り替え、進行
方向側のミゾ板の端からはめます。



★ワンポイント
●もようあみ

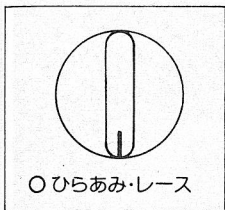
べら越した編
目をフックに戻
し、編針をB位
置にそろえます。
(平編の場合参照)

3

キャリジをはめ、編地押工を取り付けます。

選針切替ツマミをくひらあみ・レースに合わせ、進入側のミゾ板の端からはめます。

正しくはまっているかどうか確認します。

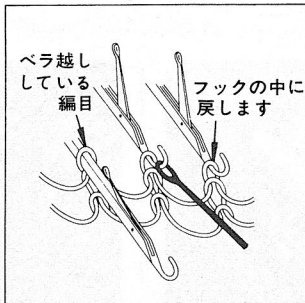


くひらあみ・レース

4

フックに編目を戻し、編針をB位置にそろえます。

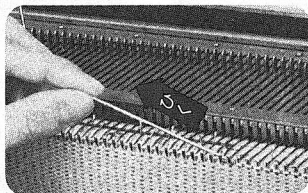
ペラの向こう側にある編目をウツシを使ってフックの中に戻します。



5

編糸をほどきます。

途中まで編んだ編糸を編み方向へクシバの線と平行に引いて編目を引きしぼり、前後に振りながらフックからはすすようにほどきます。
※前の段の編目は、フックにかかります。



6

ニットリーダー・段数計を戻します。

ほどいた段数だけ戻し、糸たるみを直してから編み始めます。

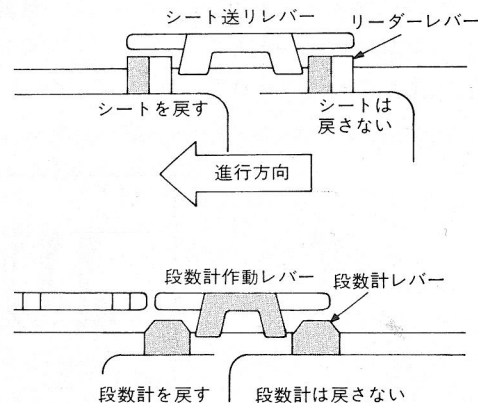
※ニットリーダーを使っている場合

シート送りダイヤルを右に回してシートを戻します。

※段数計を使っている場合

訂正したい桁の段数計ツマミを回して訂正します。

※途中まで編んだ時点で、シートや段数計が送られていないときはもどす必要はありません。



6

編糸をほどきます。

編糸がキャリジの反対側にくると編針をB位置のように、奇数段数分ほどきます。

(平編の場合参照)

7

編針をB位置にそろえます。

不ぞろいになった編針をB位置にそろえます。

8

ニットリーダー・段数計を戻します。

編地をほどいた段数だけ戻します。

9

パンチカードをもどします。

編地をほどいた段数だけ戻します。間欠送り模様ときは右表のように戻します。

10

キャリジを編糸のある側へ操作し、編針を選針させます。

カムボタンのくすべり左右を押して操作します。このとき、リーダーレバー・段数計レバーは上げておきます。

11

糸口に編糸を通し、ストップレバーをくまわるにして編みます。

編糸を糸たるみをなくしてから、カムボタンを各種模様編の状態に押し直し、編みはじめます。

◆間欠送り模様ときのパンチカードの戻し段数

編地をほどいた段数	編み糸のある側 (編地をほどいた後)	
	左側にある場合	右側にある場合
1	0	1
3	1	2
5	2	3
7	3	4
⋮	⋮	⋮
	カムボタンのくすべり左右を押して右から左へ操作して選針します。	カムボタンのくすべり左右を押して左から右へ操作して選針します。

◆編んでいる途中でLキ
ャリジが動かなくなっ
たら……

無理に動かさず、Lキヤリ
ジをミゾ板からはずします。

1

ストップレバーを
〈とまる〉にします。

2

Lキヤリジをはずします。

3

Lキヤリジを進行
側の補助レールに
のせます。

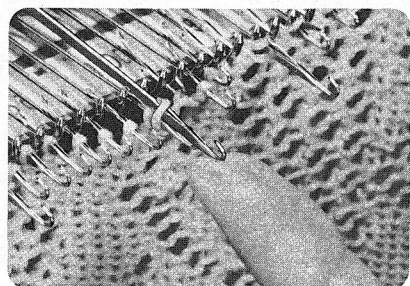
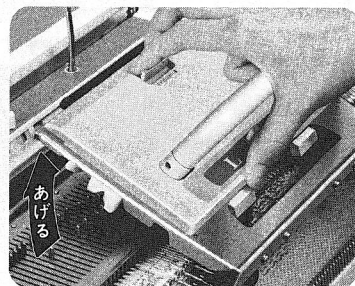
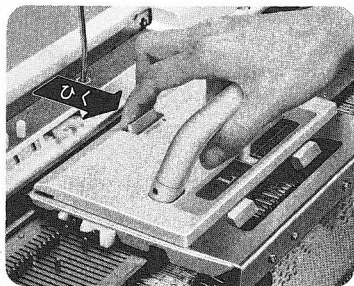
4

編針の重なりを直します。

Lキヤリジの外シボタンを手前に引き、向こ
う側を持ち上げてはずします。
編針が引っかかっているときは、よく見て無
理のないようにはずします。

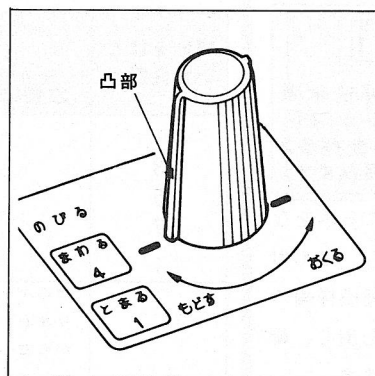
外シボタンを手前に引
いて上へのせます。

2本重なっている編針があったら、
針先を指で持ち上げてはずします。

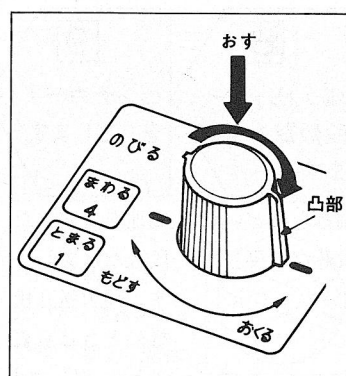


◆正しく選針されている
かどうかを確認したい
ときは……

カード送りつまみを使って
模様の確認をすることがで
きます。



1 カード送りつまみの凸部を、
表示板の「印」に押さずにまわ
して合わせます。



2 合わせた後、送りつまみをい
っぱいに押し下げ、〈もどす〉
方向に180°まわして、反対側の「
印」に合わせます。

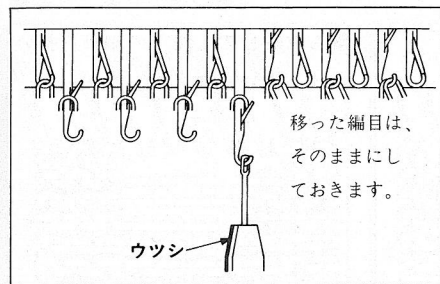
※カードは7段戻されます。

3 カード差込口の上面に見えて
いるカードの穴と対応する編
針が選針されているかどうか確認
してください。

5

編目をフックの中に戻します。

ペラの向こう側にある編目をウツシを使ってフックに戻します。隣に移った編目は、もとの編針にもどさず、そのままにしておいてください。



6

編針をB位置にそろえます。

不ぞろいになっているすべての編針をB位置にそろえます。

7

パンチカードを1段戻します。

カード送りツマミを<もどす>方向にまわします。

8

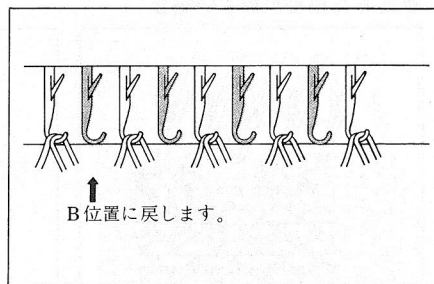
Lキャリジを反対側へ1回操作し選針します。

選針された編針のうち、編目が隣に移っている編針を、B位置に戻します。

9

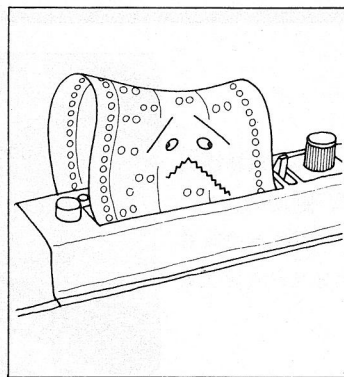
ストップレバーを<まわる>に合わせて編みます。

Lキャリジを、パンチカードの矢印にしたがって操作します。



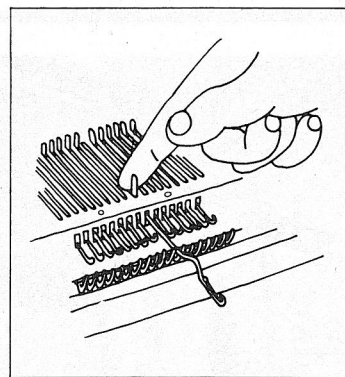
◆編針がまちがって選針されていたら……

こんなときには、次のような原因が考えられます。



◆パンチカードが正しく入っていないとき

カードが斜めに入っていたら、まっすぐに入れ直してください。



◆編針が曲っているとき

まちがって選針されている編針をE位置まで出し、曲がっていたら、付属の編針と取り替えてください。(取り替え方は、76ページ 編針が曲がったときを参照してください。)

☆選針したとき、編針が沈んだままだったら、カード送りボタンを押せば自動的に浮き上がります。

◆キャリジを空送りしたいときは……

編みまちがえたときなどに利用します。編まずにキャリジだけ移動することができます。

1 編針が選針されている場合はB位置まで押し戻します。

編目がペラの後方にあるときは、ウツシを使い、フックに編目を戻してからB位置に下げます。

2 キャリジの段数計レバーとリダーレバーを上げ、カムボタン<すべり左右>を押して、キャリジを動かします。

選針しながら空送りするとき
選針切替ツマミを<もようあみ>または<ワンポイント>に切り替えて操作します。
編針がE位置にあるとき
引返シレバーを<引返し>に合わせて操作します。

◆レース編の編みまちがいを直すには……

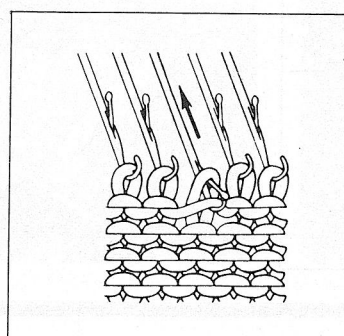
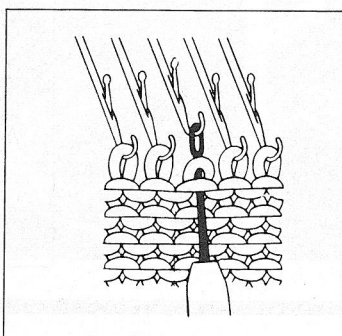
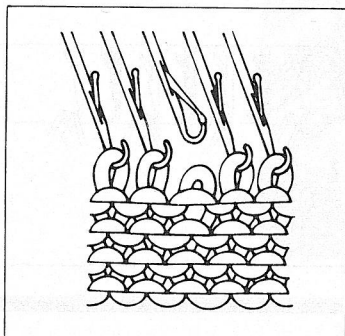
いったんCマークの部分までもどり、編み直します。
(Lキャリジが右側にあり、キャリジで数段編んでしまってから編み間違えたことに気付いた場合)

1
ストップレバーを<とまる>にします。

◆編目が落ちてしまったら…
(編目の拾いかた)

ウツシを使って編目を拾っていきます。

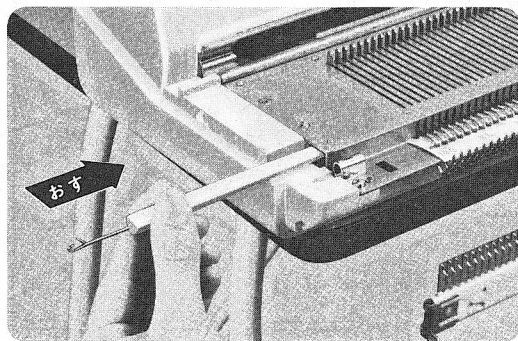
◆落ちた編目が少ない場合



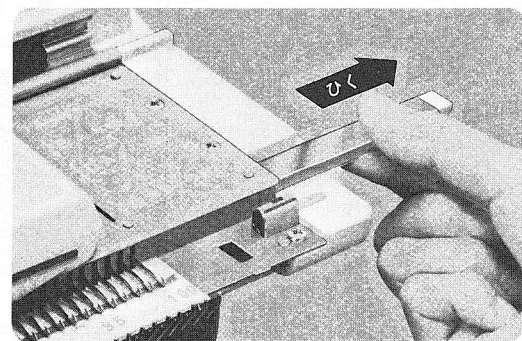
落ちた編目の1段下の編目を拾い上げ、編目を作り直します。

◆編針が曲がったとき

編針が曲がっていたり、折れたり、またキズがついていたりすると、さまざまなトラブルの原因となります。こんな時は、次の順序で編針を取り替えてください。



1 針押エをミゾ板の片端(取り替えたい編針に近い側)から、タッピの柄を使ってミゾ板の中へ押し込みます。



2

編針をB位置にそろえ、Lキャリジを左に置きます。

選針された編針はB位置へ戻します。

3

移った編目を元に戻します。

ウツシを使って、元の編針に戻します。

4

編目を2段、ほどきます。

糸端は右側になっています。

5

パンチカードをもどします。

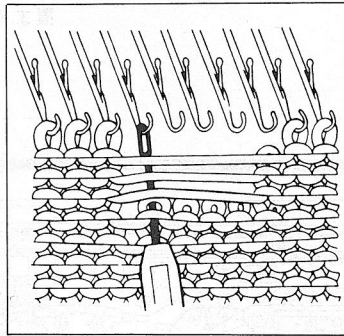
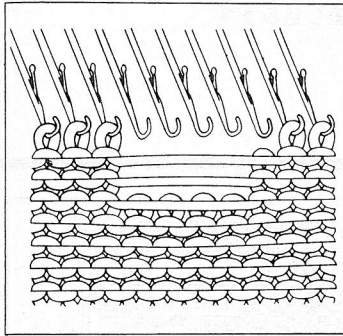
1つ前のCマークまで戻します。
※Cマークをいくつも編みすぎってしまった場合は、3、4を繰り返しCマーク1つにつき、2段ずつ編地をほどいてください。

6

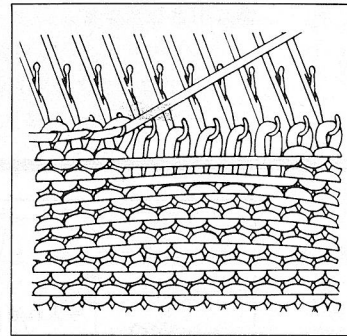
ストップレバーをくまわる>にして編みます。

キャリジでCマーク通りに2段編んでから、Lキャリジをカード通りに操作します。

◆落ちた編目が多い場合

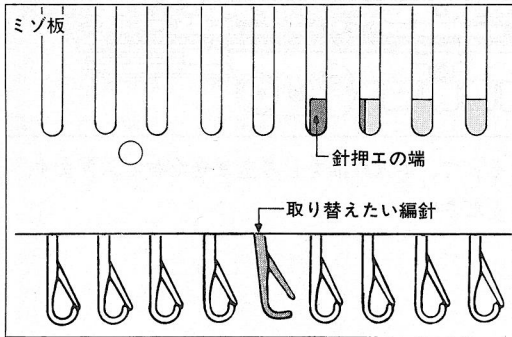


1 落ちた部分から2～3段下の編目を拾って編針にかけます。

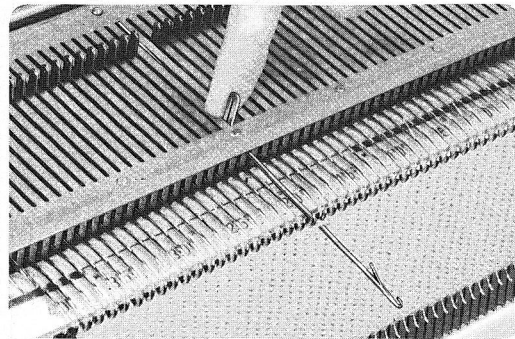


2 かけ終わってから2～3段編地をほどき、正しい状態に戻します。

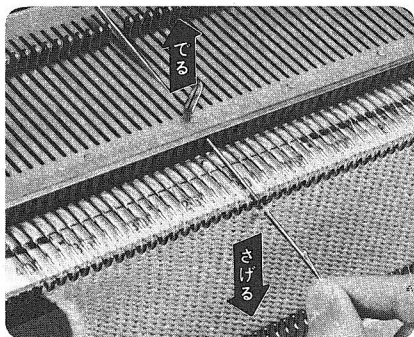
ミノ板



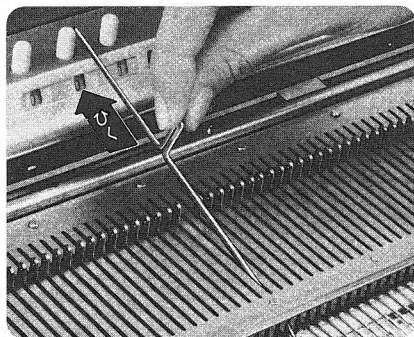
2 反対側に出た針押エを、押し込んだ側の針押エの端が取り替えたい編針を通りすぎるところまで引き抜きます。



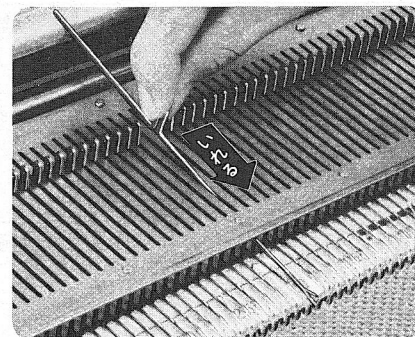
3 取り替えたい編針を、E位置まで出します。



4 E位置に出した編針のフック部分を押し下げます。シャンク部分がミゾ板上に出ます。



5 シャンク部分、又はバット部分を指でつまみ上げるようにして、向こう側に引き抜きます。



7 編針のベラを開いて、フック部分からミゾ板の中に入れ、そのままE位置まで差し込みます。

6 付属の編針を取り出します。

◆編機の手入れ

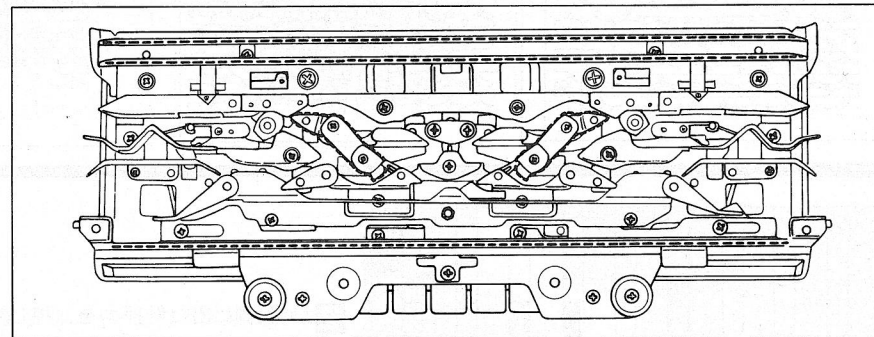
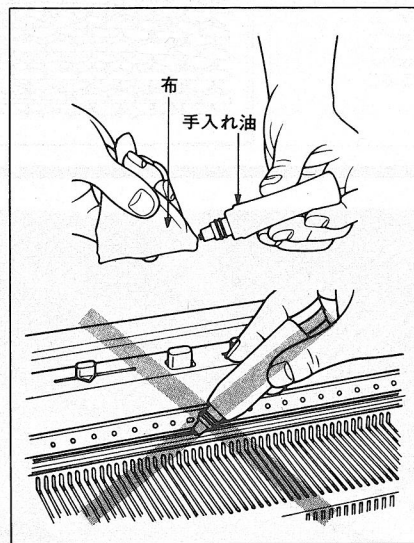
しまうときは、キャリアジ・Lキャリアジを本体からはずし、手バケや布でよくほこりやゴミを取り除き、**金属部分**は付属の手入れ油をしみ込ませた布で、**プラスチック部分**は中性洗剤などをしみ込ませた布でふきます。

※油は、付属の手入れ油をご使用ください。

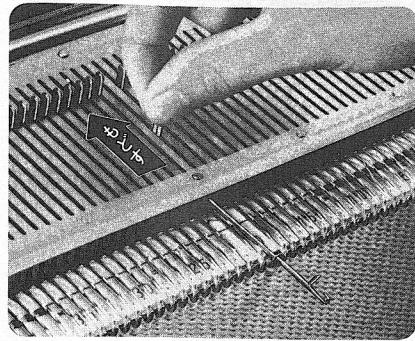
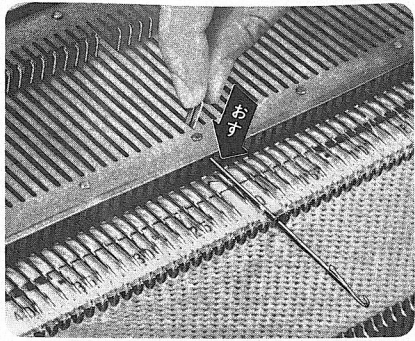
※シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリンなどは使用しないでください。

※機械へ直接注油しないでください。

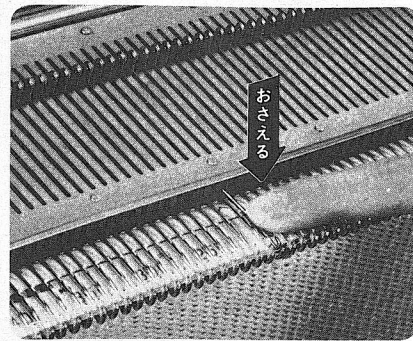
※油をしみ込ませた布でふく前に機械の汚れをよくおとしてください。



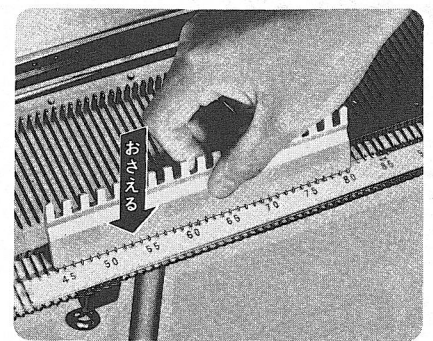
キャリアジの裏側は上図の点線部分にそって、手入れ油をしみ込ませた布でふきます。キャリアジの操作が重いとときもふいてください。



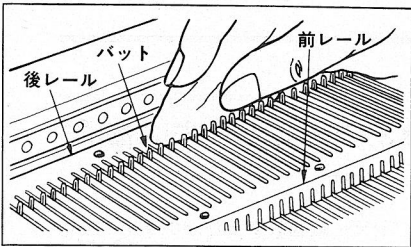
8 バット頭部を指で押し下げ、そのままA位置か、B位置までもどします。



9 編針のフック部分を指で下に押し付けたまま、針押エを押し込みます。
☆編地がかかっている場合は、取り替えた編針の編目が落ちていきますので、76ページの編目が落ちてしまったら…を参照して編目を作り直してください。



※フック部分が浮きあがっている編針が多い場合は、模様板の目盛側を使って押し付ければ、針押エを簡単に押し込むことができます。



ミゾ板の部分は、編針をB位置にそろえ、後レール・前レール・編針のバットを、手入れ油をしみ込ませた布でふきます。

☆ 編機を長く保存しておいて再び使用するときは、一度油をしみ込ませた布でよくふきとってからご使用ください。その後、古い糸で20～30段平編を編めば、古い油がとれ、作品を汚すこともありません。

アフターサービスについて

- ◆この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、販売店でお渡し致しますから、所定事項の記入及び記載内容をご確認いただき大切に保存してください。
- ◆保証期間は、お買上げ日より1年間です。
- 保証書の記載内容により、お買上げの販売店が修理致します。
- その他詳細は、保証書をご覧ください。
- ◆保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店或いは、最寄りのブラザー販売店にご相談ください。

- 修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。
- ◆当社はこの編機の補修用性能部品をお買上げの日から最低5年保有しています。
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ◆保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店又は別記裏表紙の「お客様相談コーナー」へお問い合わせください。

あなたのニットライフ
をより豊かにする
ニットの専門誌

ハロー!ニット
(毎月発行)

ハロー!ニット



あなたも、いますぐお申込み
になりませんか——

ファッション、手づくり、アイデア、
そしてテクニックなど全ページに楽
しいニット的话题を満載した「ハロ
ー/ニット」は、とっておしゃれな
ニットの専門誌。豊富で確かなニ
ット情報を、あみものファンにあな
たのお手もとへ、毎月1回直接お届
けいたします。

プロフィール

- 発行日……毎月1日(毎号郵送)
- 体裁……AB判68ページ(カラー20ページ)
- 年間購読料……3,900円
- 発行……ブラザー編物研究会

昭和56年7月現在

(注)購読料は郵便料の値上げなどにより変わる場合
がありますので、お申込みの際には、最寄の編物
教室またはブラザー販売店でおたずねください。

ご購入の方法

●お申込みは、いつか
らでもできます。

※毎月5日(ブラザー編物研究会到着)
までにお申込みをいただきますと、そ
の翌月号から「ハロー/ニット」を直
接郵送いたします。5日を過ぎてから
お申込みが到着した場合には、その翌
月号からの配本となります。

●「ハロー/ニット」は
年間予約購読制です。

※12ヵ月分をまとめて申し込んでいただく「年
間予約購読制」ですから、1度のお申
込みで、向こう1年間、「ハロー/ニッ
ト」が毎月確実にあなたのお手もとへ
届きます。もちろん、1年後の更新時
期には、前もって「継続手続きのご案内」
をお送りし、お知らせしますので
引き続いての購読お申込みの際にも安
心です。

●お申込み方法は簡単
です。

※ブラザー編物教室またはブラザー販売
店に用意してあります、「ハロー/ニッ
ト購読申込書」に必要事項をご記入の
上、年間購読料を添えて最寄の郵便局
窓口にお出してください。この振替用紙
をお使いになれば、送金手数料は当方
の負担となりますので、お支払いにな
る必要はございません。

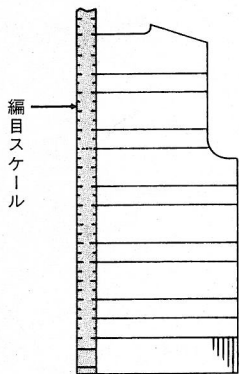
編目スケールを段方向(段数)に使うときの早見表

☆編目スケールの選び方

60段の編ゲージの長さから、右表をごらんいただき、編目スケールを選びます。

例えば、段縞模様を編むとき、60段の長さが11.8(118%)の場合、右表より118を探し、その横方向に対応する<赤17の156~158>の編目スケールを取り出し、段方向にあてて段縞の目盛を製図に書いて下さい。

線に従って糸を交換すればきれいな段縞模様ができます。



ゲージツマミを合わせた位置 (60段の長さ)			使用する編目スケール			ゲージツマミを合わせた位置 (60段の長さ)			使用する編目スケール			ゲージツマミを合わせた位置 (60段の長さ)			使用する編目スケール		
色	番号	数字	色	番号	数字	色	番号	数字	色	番号	数字	色	番号	数字	色	番号	数字
60	*	80~81			99 *			138			92~93			174			116~117
61	*	80~81	青	1	80~81			139			92~93			175			116~117
62	*	82~83			101 *	オレンジ	13	135~137	青	4	92~93			176	黄	10	116~117
63	*	84~85			102 *			141			94~95			177			118~119
64	*	84~85	"	2	84~85			142			94~95			178			118~119
65	*	86~87			103 *			143			94~95			179			118~119
66	*	88~89			104 *			144			96~97			180			120~122
67	*	88~89	"	3	88~89			145			96~97			181			120~122
68	*	90~91			105 *	"	14	141~143			96~97			182			120~122
69	*	92~93			106 *			146	黄緑	5	98~99			183			120~122
70	*	92~93	"	4	92~93			147			98~99			184	"	11	123~125
71	*	94~95			107 *			148			98~99			185			123~125
72	*	96~97			108 *	"	15	147~149			100~101			186			123~125
73	*	96~97	黄緑	5	96~97			149			100~101			187			123~125
74	*	98~99			109 *			150			100~101			188			123~125
75	*	100~101			110 *	"	16	147~149	"	6	102~103			189			126~128
76	*	100~101	"	6	100~101			151			102~103			190			126~128
77	*	102~103			111 *			152			102~103			191			126~128
78	*	104~105			112 *			153			104~105			192			126~128
79	*	104~105	"	7	104~105			154			104~105			193	"	12	129~131
80	*	106~107			113 *	赤	17	155~155	"	7	104~105			194			129~131
81	*	108~109			114 *			156~158			106~107			195			129~131
82	*	108~109	"	8	108~109			157			106~107			196			129~131
83	*	110~111			115 *			158			106~107			197			129~131
84	*	112~113			116 *			159~161			106~107			198			132~134
85	*	112~113	黄	9	112~113	青	1	80~81			108~109			199			132~134
86	*	114~115			117 *			80~81			108~109			200			132~134
87	*	116~117			118 *			82~83			108~109			201			132~134
88	*	116~117	"	10	116~117			82~83			110~111			202	オレンジ	13	135~137
89	*	118~119			119 *			82~83			110~111			203			135~137
90	*	120~121			120 *	"	2	84~85			110~111			204			135~137
91	*	120~122			121			84~85			112~113			205			135~137
92	*	123~125			122			84~85			112~113			206			135~137
93	*	123~125	"	11	123~125			86~87	黄	9	112~113			207			138~140
94	*	123~125			123			86~87			114~115			208	"	14	138~140
95	*	126~128			124			86~87			114~115			209			138~140
96	*	126~128			125	"	3	88~89			114~115						
97	*	129~131			126			88~89									
98	*	129~131			127			90~91									

※*印の場合は60段の内、1段の長さが編目スケールの1目盛分に足りないため、編目スケールの1目盛を2段と読みます。

※この表は、中心基準・左右基準の編目スケールを共用できます。

—お客様相談コーナー—

札幌支店 〒060 札幌市中央区南三条西3-2-2 電話<011> 261-6631
仙台支店 〒980 仙台市一番町2-3-10 電話<0222> 27-8870
~~北関東支店 〒330 大宮市仲町1丁目1-2-4 電話<0486> 42-1271~~
東京支店 〒104 東京都中央区京橋3-3-8 電話<03> 273-0231
~~横浜支店 〒220 横浜市西区楠町9-6 電話<045> 312-8091~~
~~新潟支店 〒950 新潟市東大通1-1-1 電話<0252> 47-7101~~
~~静岡支店 〒420 静岡市御幸町9-1 電話<0542> 54-2601~~
名古屋支店 〒460 名古屋市中区栄3-27-18 電話<052> 261-3271
~~京都支店 〒600 京都市下京区四条通り御幸町角 電話<075> 255-2481~~
大阪支店 〒542 大阪市南区心斎橋筋1-1 電話<06> 252-1797
広島支店 〒730 広島市中区胡町4-2-7 電話<082> 241-9236
高松支店 〒760 高松市寿町1-1-5 電話<0878> 51-7341
福岡支店 〒812 福岡市博多区博多駅前2-20-1 電話<092> 431-6561
~~熊本支店 〒860 熊本市城東町2-2-0 電話<0963> 55-7151~~
沖縄出張所 〒900 那覇市泊3-1-2 電話<0988> 68-4511

◎ブラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記の《お客様相談コーナー》へご連絡下さい。

※上記の電話番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承下さい。

brother®

ブラザー工業株式会社
ブラザー販売株式会社

〒467 名古屋市瑞穂区堀田通9-35
TEL (052)824-2511(代)